

AQUOS sense7

SHG10

User Guide 取扱説明書 詳細版

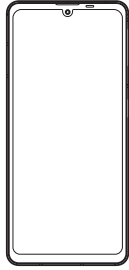
Android 13対応版

ごあいさつ

このたびは、「AQUOS sense7 SHG10」(以下、「SHG10」または「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。「取扱説明書 詳細版 Android 13対応版」はAndroid™ 13へのOSアップデート後の内容について記載しています。OSアップデートをしていない場合、本製品に付属する『クイックスタートガイド』およびauホームページに掲載の「取扱説明書 詳細版」をご参照ください。
<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体

- クイックスイッチアダプター(試供品)
- クイックスタートガイド(Android 13非対応版)

以下のものは同梱されていません。

- SIMカード
- microSDメモリーカード
- ACアダプタ
- イヤホン
- USB Type-C®ケーブル
- 有線LANアダプタ
- Ethernetケーブル

- 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。

◎ 電池は本製品に内蔵されています。

◎ 本文中で使用している本製品のイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

取扱説明書について

■「クイックスタートガイド」

OSアップデート前の必要な情報や注意事項を説明しています。OSアップデート後の操作やさまざまな機能のより詳しい説明については、『オンラインマニュアル Android 13対応版』やauホームページより『取扱説明書 詳細版 Android 13対応版』(本書)をご参照ください。
<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>

■「オンラインマニュアル」

Android 13へのOSアップデート後の操作やさまざまな機能のより詳しい説明を記載した『オンラインマニュアル Android 13対応版』は、本製品から以下の操作でご確認できます。

ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[ツール]→[取扱説明書]

また、『オンラインマニュアル』はauホームページからもご確認できます。
<https://www.au.com/online-manual/shg10/>

■「取扱説明書 詳細版」

Android 13へのOSアップデート後の操作やさまざまな機能のより詳しい説明を記載した『取扱説明書 詳細版 Android 13対応版』(本書)は、auホームページでご確認できます。

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>



■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の取扱説明書が必要な方へ

You can download the English version of the "Quick Start Guide" from the au website.

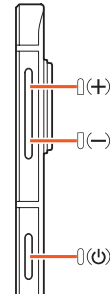
『クイックスタートガイド(英語版)』をauホームページに掲載しています。

Download URL: <https://www.au.com/english/support/manual/>

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



■ 項目/アイコン/キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記	意味
ホーム画面→[アプリ一覧画面]→[設定]→[デバイス情報]	AQUOS Home画面で画面を上をスワイプ※1してアプリ一覧画面に切り替え、次に「 設定」をタップ※2します。続けて「デバイス情報」をタップします。
(3秒以上長押し)	を3秒以上長押しします。

※1 スワイプとは、ディスプレイに軽く触れたまま目的の方向や位置へなぞる動作です。

※2 タップとは、ディスプレイに表示されているキーやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書は特に記載のある場合を除き、auのSIMカードを取り付けた状態の画面表示・操作方法などの説明内容となります。

本書では縦表示の操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目/アイコン/画面上のキーなどが異なる場合があります。

記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。



実際の画面



本書の表記例

◎ 本書では本体カラー「ライトカッパー」の表示を例に説明しています。本書ではAQUOS Homeでの操作を基準に記載しています。「ホーム切替」などでホームアプリを切り替えた場合は、操作が異なる場合があります。

◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

◎ 本書では「microSD™メモリーカード(市販品)」「microSDHC™メモリーカード(市販品)」「microSDXC™メモリーカード(市販品)」の名称を「microSDメモリーカード」もしくは「microSD」と省略しています。

◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、™、®マークを省略している場合があります。

目次

ごあいさつ	1
同梱品一覧	1
取扱説明書について	1
本書の表記方法について	1
目次	2
注意事項	5
注意事項	6
本製品のご利用について	6
安全上のご注意(必ずお守りください)	6
材質一覧	9
取り扱い上のご注意	10
防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意	12
本製品の防水/防塵/耐衝撃性能	12
使用時のご注意	12
防水/防塵性能を維持するために	13
充電時のご注意	13
本製品の洗いかた	13
水抜きのかた	13
Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い	14
Bluetooth®についてのお願い	14
無線LAN(Wi-Fi®)についてのお願い	14
周波数帯について	14
おサイフケータイおよびNFCリーダー/ライターについて	14
電波障害自主規制について	14
各種暗証番号/PINコードについて	15
各種暗証番号について	15
PINコードについて	15
データ通信料についてのご注意	15
通話料についてのご注意	15
アプリケーションについて	15
マナーも携帯する	15
ご利用の準備	17
ご利用の準備	18
各部の名称と機能	18
SIMについて	19
eSIMについて	19
SIMカードについて	19
SIMカードを取り付ける/取り外す	19
SIMカードを取り付ける	19
SIMカードを取り外す	19
充電する	20
充電について	20
指定のACアダプタ(別売)を使って充電する	20
パソコンを使って充電する	20
電源を入れる/切る	21
電源を入れる	21
電源を切る	21
画面をロックする/画面ロックを解除する	21
画面をロックする	21
画面ロックを解除する	21
初期設定を行う	22
データの引き継ぎについて	22
Googleアカウントをセットアップする	22
データを引き継ぐ	22
基本操作	23
基本操作	24
タッチパネルの使いかた	24
ジェスチャー操作	24
ジェスチャー操作について設定する	24
指紋認証機能を利用する	24
指紋認証機能について	24
指紋を登録する	24
指紋を管理する	25
指紋認証を行う	25
顔認証機能を利用する	25
顔認証機能について	25
顔を登録する	25
顔を管理する	25
顔認証を行う	25
AQUOS Homeを利用する	25
AQUOS Homeについて	25
ホーム画面を編集する	26
機能のショートカットを利用する	26
壁紙を設定する	26
ホーム画面を設定する	26
AQUOSかんたんホームを利用する	26
AQUOSかんたんホームへ切り替える	26
楽ともリンクに登録する	26

アプリケーションを起動する	26
本製品の状態を知る	27
アイコンについて	27
お知らせ/ステータスパネルを利用する	27
マナーモードを設定する	28
アプリ使用履歴を利用する	28
アプリの権限を設定する	29
共通の操作を覚える	29
縦横表示を切り替える	29
利用できるメニューを表示する	29
機能の有効/無効を切り替える	29
文字入力	30
ソフトウェアキーボードを切り替える	30
Gboardを利用する	30
電話・連絡帳	31
電話	32
電話をかける	32
電話番号を入力して電話をかける	32
通話中画面の操作	32
履歴を利用して電話をかける	33
お気に入りを利用する	33
連絡先一覧を利用する	34
au電話から海外へかける(au国際電話サービス)	34
電話を受ける	34
電話に出る	34
着信に簡易留守録で応答する	34
着信を拒否する	34
着信を拒否してメッセージ(SMS)を送る	34
通話に関する設定をする	35
通話の設定をする	35
簡易留守録を利用する	35
簡易留守録/通話音声メモを再生する	35
着信拒否の設定をする	35
自分の電話番号を確認する	35
連絡帳	36
連絡帳に登録する	36
連絡帳の一覧を利用する	36
連絡帳一覧画面を表示する	36
連絡帳を設定する	36
連絡帳の登録内容を利用する	36
メール	37
メール	38
メールについて	38
auメール	38
auメールのご利用にあたって	38
auメールを利用する	38
迷惑メールフィルターを設定する	38
UQ mobileメール	39
UQ mobileメールのご利用にあたって	39
迷惑メールフィルターを設定する	39
+メッセージ(SMS)	40
+メッセージのご利用にあたって	40
+メッセージのモードについて	40
+メッセージのご利用方法を確認する	40
連絡先を登録する	40
QRコードによる連絡先登録をする	40
新しい連絡先を登録する	40
公式アカウントを登録する	40
メッセージを送信する	40
グループを作る・グループに送信する	40
+メッセージを設定する	40
ブロックリストを設定する	41
公式アカウントとのやりとりをブロックする	41
Gmail	41
Gmailについて	41
Gmailを送信する	41
Gmailを受信する	41
インターネット	43
インターネット	44
インターネットに接続する	44
データ通信を利用する	44
Google Chrome™	44
Google Chromeを利用する	44
Webページを表示する	44
URL表示欄を利用する	44
Chrome画面のメニューを利用する	44
ブックマーク/履歴を利用する	44
アプリケーション	45
アプリケーション一覧	46

カメラ	47
カメラをご利用になる前に	47
静止画／動画を撮影する	48
静止画を撮影する	48
動画を撮影する	48
撮影画面の見かた	48
撮影モードを切り替える	49
カメラを設定する	49
フォト	50
フォトを利用する	50
データを表示／再生する	50
構図補正した静止画を表示する	51
スロービデオを再生する	51
動画をフォーカス再生する	51
あとからキャプチャーを利用する	51
radiko+FM	52
radiko+FMを利用する	52
NFC／おサイフケータイ®	52
おサイフケータイ®とは	52
おサイフケータイ®のご利用にあたって	52
リーダー／ライターとデータをやりとりする	52
NFC機能を設定する	52
画面ロック連動機能を設定する	52
FeliCa®に対応したサービスを利用する	53
My au	53
My auを利用する	53
My UQ mobile	53
My UQ mobileを設定する	53
あんしんフィルター for au	53
あんしんフィルター for auを利用する	53
管理者情報を登録する	53
管理者ページを利用する	53
Android アプリ	54
Google Playを利用する	54
アプリケーションを検索し、インストールする	54
アプリケーションを管理する	54
提供元不明のアプリケーションをダウンロードする	54
モバイルライト	54
モバイルライトを利用する	54
スクリーンショット	54
スクリーンショットを撮影する	54
画面を録画する	54
Google 検索	54
Google 検索を利用する	54
カレンダー	55
カレンダーを表示する	55
予定を新規登録する	55
カレンダー画面のメニューを利用する	55
時計	55
時計を利用する	55
アラームで指定した時刻をお知らせする	55
世界各地の都市の時刻を確認する	55
タイマーで時間を計る	56
ストップウォッチで時間を計る	56
おやすみ時間モードを利用する	56
からだメイト	56
からだメイトを利用する	56
電卓	57
電卓で計算する	57
エモバー	57
エモバーを設定する	57
ゲーミングメニュー	58
ゲーミングメニューを利用する	58
ファイル管理	59
ファイル管理	60
本製品の保存領域について	60
microSDメモリーカードを利用する	60
microSDメモリーカードについて	60
microSDメモリーカードを取り付ける	60
microSDメモリーカードを取り外す	60
パソコンなどと接続する	60
USBホスト機能を利用する	61
ストレージに関する設定をする	61
ストレージを確認する	61
microSDメモリーカード／USBメモリをフォーマットする	61
Filesを利用する	61
データを表示する	61
本体内のファイルをmicroSDメモリーカードにコピーする	61
データ通信	63
無線LAN(Wi-Fi®)機能	64
無線LAN(Wi-Fi®)機能について	64

無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する	64
無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする	64
Wi-Fi®ネットワークに接続する	64
アクセスポイントとの接続の設定を削除する	64
アクセスポイントとの自動接続を設定する	64
Wi-Fi とモバイルネットワーク設定画面のメニューを利用する	64
Wi-Fi Direct®を利用する	64
Bluetooth®機能	65
Bluetooth®機能の利用について	65
Bluetooth®を利用する	65
Bluetooth®を起動する	65
Bluetooth®機器と接続する	65
Bluetooth®でデータを送受信する	65
Bluetooth®でデータを受信する	65
Bluetooth®でデータを送信する	65
テザリング機能	66
テザリングについて	66
Wi-Fi®テザリング機能を利用する	66
USB テザリング機能を利用する	66
Bluetooth® テザリング機能を利用する	66
イーサネット テザリング機能を利用する	66

端末設定 67

端末設定	68
設定メニューを表示する	68
ネットワークとインターネットに関する設定をする	68
ネットワークとインターネットの設定をする	68
機内モードを有効に設定する	69
接続済みのデバイスに関する設定をする	69
接続済みのデバイスの設定をする	69
接続の設定をする	69
印刷の設定をする	69
アプリの設定をする	69
通知の設定をする	69
バッテリーに関する設定をする	70
バッテリーの設定をする	70
長エネスイッチを利用する	70
着信音とバイブレーションの設定をする	70
ディスプレイの設定をする	70
壁紙とスタイルの設定をする	71
AQUOSトリックに関する設定をする	71
AQUOSトリックの設定をする	71
ロック・ホームフォトシャッフルを設定する	72
Payトリガーの設定をする	72
スクロールオートの設定をする	72
Clip Nowの設定をする	72
テザリングオートの設定をする	73
ユーザー補助の設定をする	73
セキュリティに関する設定をする	73
セキュリティの設定をする	73
セキュリティの詳細設定をする	73
位置情報の設定をする	74
パスワードとアカウントに関する設定をする	74
アカウントを追加する	74
Digital Wellbeing と保護者による使用制限の設定をする	74
システムに関する設定をする	74
システムの設定をする	74
使用する言語や文字入力の設定をする	74
Gboardの設定をする	75
システム ナビゲーションを変更する	75
日付と時刻の設定をする	75
本製品を初期化する	75
デバイス情報の設定をする	75
お困りのときは	75

auネットワークサービス 77

auネットワークサービス	78
auのネットワークサービスについて	78
auのネットワークサービスについて	78
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)	78
着信お知らせサービスについて	78
着信転送サービスを利用する(標準サービス)	78
着信転送サービスについて	78
応答できない電話を転送する(無応答・話中転送)	78
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)	78
着信転送サービスを停止する	78
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)	78
発信番号表示サービスについて	78
電話番号を通知する	78
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)	79
番号通知リクエストサービスについて	79
番号通知リクエストサービスを開始する	79
番号通知リクエストサービスを停止する	79
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)	79
お留守番サービスEXについて	79
お留守番サービス総合案内(141)を利用する	79
応答できない電話を転送する(無応答・話中転送)	79

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)	79
お留守番サービスを停止する	79
電話をかけてきた方が伝言を録音する	79
ボイスメールを録音する	79
伝言お知らせについて	79
伝言・ボイスメールを聞く	80
応答メッセージの録音/確認/変更をする	80
伝言の蓄積を停止する(不在通知)	80
伝言の蓄積停止を解除する	80
お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)	80
英語ガイドランスへ切り替える	80
日本語ガイドランスへ切り替える	80
三者通話サービスを利用する(オプションサービス)	80
割込通話サービスを利用する(オプションサービス)	81
割込通話サービスについて	81
割込通話サービスを開始する	81
割込通話サービスを停止する	81
割込通話を受ける	81
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)	81
迷惑電話撃退サービスについて	81
撃退する電話番号を登録する	81
登録した電話番号を全件削除する	81
通話明細計サービスを利用する(オプションサービス)	81
海外利用	83
海外利用	84
au世界サービスについて	84
海外利用に関する設定を行う	84
データ通信を設定する	84
海外でVoLTEを利用する	84
渡航先で電話をかける	84
渡航先で電話を受ける	84
お問い合わせ方法	85
海外からのお問い合わせ	85
海外でのご利用上のご注意	85
付録・索引	87
付録	88
ソフトウェアを更新する	88
故障とお考えになる前に	88
アフターサービスについて	89
遠隔操作サポートを利用する	90
位置検索サポートを利用する	90
位置検索をご利用いただくにあたって	90
SIMロック解除について	90
周辺機器	90
主な仕様	90
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	91
Regulatory information	91
FCC Notice	92
輸出管理規制	92
知的財産権について	93
索引	95

注意事項

注意事項.....	6
本製品のご利用について.....	6
安全上のご注意(必ずお守りください).....	6
材質一覧.....	9
取り扱い上のご注意.....	10
防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意.....	12
Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能をご使用の場合のお願い.....	14
おサイフケータイおよびNFCリーダー/ライターについて.....	14
電波障害自主規制について.....	14
各種暗証番号/PINコードについて.....	15
データ通信料についてのご注意.....	15
通話料についてのご注意.....	15
アプリケーションについて.....	15
マナーも携帯する.....	15

注意事項

本製品のご利用について

本製品をご利用になる前に、「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、本書の「故障とお考えになる前に」で症状をご確認ください。
または、次のauホームページから「トラブル診断」をご確認ください。
<https://www.au.com/trouble-check/>



- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
 - 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご注意ください。(ただし、5G/LTE/WiMAX 2+/UMTS/GSM方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。)
 - 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、VoLTE(LTEネットワーク)のみ利用できます。
 - 本製品はau世界サービスに対応しておりますが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
 - 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります。その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
 - 「携帯電話の保守」と「移動状況の把握」のために、お客さまが利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
 - 海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
 - 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
 - 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
 - 「取扱説明書」の記載内容を守らないことにより生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
 - 本製品の計測センサーやGPSにより得られる測位などの情報は、あくまで目安となり、高度な信頼性を必要とする目的でのご利用はできません。測位の誤差による損害および逸失利益に関して、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
 - 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害および逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
 - 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益に関して、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
 - 長時間同じ画像を表示させているとディスプレイに残像が発生することがありますが故障ではありません。残像発生防止と消費電力節約のため、画面の点灯時間の設定を短い時間にすることをおすすめします。
 - 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られています。一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
 - 本製品に保存されている静止画/動画データや音楽データは、パソコンやクラウドサービスなどに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
 - 一般のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品(オプション品含む)の回収にご協力ください。au Style/auショップなどで本製品の回収を行っております。
- ※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元: KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元: シャープ株式会社

- ◎ 取扱説明書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- ◎ 取扱説明書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ◎ OSの仕様変更やサービスの変更・終了等により一部機能がご利用いただけなくなる場合があります。
- ◎ 取扱説明書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷*1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷*1を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷*2を負う可能性が想定される場合および物的損害*3の発生が想定される」内容です。

- *1 重傷: 失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- *2 軽傷: 治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
- *3 物的損害: 家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 禁止・強制の絵表示の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、SIMカード、周辺機器共通

危険

- 高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高压容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。防水・防塵性能については以下をご参照ください。▶P.12「防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意」
- 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。また、お風呂場や加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。防水性能については以下をご参照ください。▶P.12「防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意」
- 本製品に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつかけたり、物に挟んだりしないでください。内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。※ご注意ください例
 - ・スポンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
 - ・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
 - ・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
 - ・電車やバスなどの座席シートに挟み込む
- 分解、改造をしないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本製品の内蔵電池を取り外そうとしないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。
- 本製品の外装ケース(背面部)は取り外せません。取り外そうとしないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。



水濡れ
禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさない
ください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.12「防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意」



水濡れ
禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペ
ットの尿など)を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.12「防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意」



指示

オプション品は、auが指定したものを使用してください。
指定以外のものや、製造・販売元・仕様が不明なものを使用す
ると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を
与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)
を接触させたり、ほごりが内部に入ったりしないようにしてく
ださい。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などでおおったり、包んだりしないでく
ださい。
火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中
止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所
に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をして
いる場合は中止してください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となりま
す。



指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示
に従ってください。
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下など
に注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形など
の異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってくだ
さい。
・指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜く。
・本製品の電源を切る。
上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因と
なります。

注意



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置か
ないでください。パイプシート設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はし
ないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.12「防水/防塵/耐衝撃性能に関するご注意」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った
使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児やペットが届く場所に置かないでください。
SIMカード/microSDメモ리카ードトレイ/クイックスイ
ッチアダプター(試供品)などの小さい部品の保管場所には特にご
注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本製品を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなるこ
とがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れ
たり、眠ってしまうなどで、意図せず継続して触れることがな
いようご注意ください。
アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、継続しての使用や充電
中は、本製品や指定の充電用機器(別売)の温度が高くなること
があります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客さま
の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけど
などの原因となりますので、衣類のポケットに入れたり、就寝時
などはご注意ください。

■ 本体について

危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩
いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本製品内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれ
いな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本製品内部の物質の影響により、失明や体調不良などの原因と
なります。

警告



禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させ
ないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してく
ださい。
視力障がいなどの原因となります。また、目がくらんだり驚いた
りしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯、発光し
ないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本製品内のSIMカード/microSDメモ리카ードトレイの挿入
口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、
燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、SIMカードやmicroSDメモ리카ードの挿入場所や向きを
間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因とな
ります。



禁止

近接センサーをのぞきこまないでください。
一時的に視力に影響を与え、事故につながる可能性があります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モード
に設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指
示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となりま
す。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令によ
り罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因とな
ります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が
鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離して
ください。
また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音
楽再生などをやる場合は、適度なボリュームに調節してくださ
い。
ハンズフリーに設定して通話すると、本製品から大きな音が出
ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する
場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障がいの原
因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原
因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に
注意してください。
突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に
悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ご注意ください！電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れた部分や露出した本製品の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂など原因となります。



指示

ペットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

モーションセンサーや地磁気センサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、au Style/auショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」(▶P.9)をご参照ください。



指示

本製品の受話口(レシーバー)部、スピーカー部、カメラ部、パイプリータ部(背面右下)に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分に明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠️ 警告



禁止

指定の充電用機器(別売)のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。
感電などの原因となります。



禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

指定の充電用機器(別売)に変圧器(海外旅行用のトラベルコンバーターなど)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手で指定の充電用機器(別売)のコードや充電端子、電源プラグに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な指定の充電用機器(別売)で充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)



指示

指定の充電用機器(別売)の電源プラグについてほころひは、拭き取ってください。
ほころひが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜く場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタ本体を持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷付き、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。

■ SIMカードについて

⚠️ 注意



SIMカードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

■ クイックスイッチアダプター(試供品)について

⚠️ 警告



本製品につないだ状態で端子をショートさせないでください。
また、端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



本製品にクイックスイッチアダプター(試供品)を抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



本製品にクイックスイッチアダプター(試供品)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れた手でクイックスイッチアダプター(試供品)に触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



端子についたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



クイックスイッチアダプター(試供品)を本製品に差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。
また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



本製品につないだ状態でクイックスイッチアダプター(試供品)に継続して触れないでください。
やけどなどの原因となります。



皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については、「材質一覧」(▶P.9)をご参照ください。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠️ 警告



植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携帯および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■ 本体(SHG10)

使用箇所	使用材質	表面処理
ディスプレイ面	強化ガラス	AFコート
外装(金属部)	アルミニウム	アルマイト処理
外装(樹脂部)	PBT樹脂(ガラス入り)	なし
電源キー	アルミニウム	アルマイト処理
音量UPキー/音量DOWNキー	アルミニウム	アルマイト処理
指紋センサー	エポキシ樹脂	ハードコート
カメラパネル	強化ガラス	AFコート
カメラ飾り部	ABS樹脂+PC樹脂	なし
広角カメラパネル	強化ガラス	AFコート
モバイルライトパネル	PC樹脂	なし
受話口(レシーバー)飾り	PC樹脂	なし
イヤホンマイク端子の周囲(内側側面)	PBT樹脂(ガラス入り)	なし
外部接続端子の周囲(内側側面)	PBT樹脂(ガラス入り)	なし
SIMカード/microSDメモリーカードトレイ(外装部)	アルミニウム	アルマイト処理
SIMカード/microSDメモリーカードトレイ	POM樹脂	なし
SIMカード/microSDメモリーカードトレイのパッキン	シリコンゴム	なし

■ クイックスイッチアダプター(試供品)

使用箇所	使用材質	表面処理
USB Type-Cプラグ(金属部)	ステンレス	ニッケルメッキ
USB Type-Cプラグ(樹脂部)	LCP樹脂	なし
USB Type-A端子(金属部)	SPCC	ニッケルメッキ
USB Type-A端子(樹脂部)	LCP樹脂	なし
本体(金属部)	アルミ合金	アルマイト処理
本体(樹脂部)	PBT樹脂	なし

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、SIMカード、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重いもの下になつたりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損・故障の原因となります。
- また、外部機器を外部接続端子に差し込んだ状態の場合、コネクタ破損・故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水/防塵性能(IPX5、IPX8、IP6X相当)を発揮するために、SIMカード/microSDメモリーカードトレイをしっかりと閉じた状態で、ご使用ください。
- ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に液体や粉塵などの異物を入れたり、充電用機器、オプション品に液体や粉塵などの異物を付着させたりしないでください。雨の中や水滴がついたままSIMカード/microSDメモリーカードトレイの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
- 調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 下記については、極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃~35℃、湿度35%~85%の範囲内でご使用ください。)
 - ・ 本製品本体
 - ・ SIMカード(本製品本体装着状態)お風呂場等のご使用については、「お風呂場でお使いいただく際の注意事項」(▶P.12)をご参照ください。
- 下記については、極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃~35℃、湿度35%~85%の範囲内でご使用ください。)
 - ・ 充電用機器
 - ・ 周辺機器
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷が付く場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障したりする原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなる場合がありますが異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入ったりしないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などでおわれた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やパイプルーラ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。
- 使用中、本製品が温かくなった場合、画面の明るさや一部機能を制限する場合があります。

■ 本体について

- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、au Style/auショップもしくはお客様センターまでお問い合わせください。
- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
- 本製品に固有の認定および準拠マークに関する詳細(認証・認定番号含む)は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。**ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「設定」→「デバイス情報」→「規制ラベル」**
- 本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技術マーク」が本製品内で確認できるようになっております。認証情報については、本製品内の電子認証内容でご確認いただけますよう、お願いいたします。
- 本製品の内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といえます)。このような条件下のご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDメモリーカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリーカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 明るさセンサーを指でふさいだり、明るさセンサーの上にシールなどを貼ったりすると、周囲の明暗に明るさセンサーが反応できず、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し発信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 受話口(レシーバー)、送話口(マイク)、スピーカー、サブマイク、空気抜き部(モバイルライト部)をシールや指などでふさぐと性能を維持できなくなりますので、ご注意ください。
- 髪の毛の上から受話口を当てて通話すると、近接センサーが誤動作することがあります。ディスプレイが点灯されたままとなり、誤ってディスプレイに触れると、通話が切れる場合がありますのでご注意ください。
- ディ스플레이が破損した場合には、直ちにご使用を中止して、au Style/auショップもしくは故障紛争サポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となることがあります。
- ディ스플레이やキーのある面にシールなどを貼ると、誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、本製品が損傷するおそれがあります。
- 本製品に磁気を帯びたものを近づけるとスピーカー部から音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- SIMカード/microSDメモリーカードトレイを強く引っ張ったり、無理な力を加えたりすると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 直射日光下などの明るい場所ではディスプレイが見えにくい場合がありますが故障ではありません。
- 通常はSIMカード/microSDメモリーカードトレイを閉じた状態で使用してください。カードトレイを閉じずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。
- 本製品内のSIMカード/microSDメモリーカードトレイの挿入口に液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口(レシーバー)、送話口(マイク)、スピーカー部、サブマイク、イヤホンマイク端子、外部接続端子などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入したりすると発熱や故障の原因となります。

■ タッチパネルについて

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・手袋をしたままでの操作*
 - ・爪の先での操作
 - ・異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・保護フィルムやシールなどを貼った状態での操作
 - ・ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - ・濡れた指または汗で湿った指での操作
 - ・水中での操作*「グローブモード」(▶P.71)がONの場合、手袋を装着したまま使用できます。
- ディスプレイにシールやシート類(保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない場合があります。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 有機ELディスプレイについて

- 有機ELディスプレイは、同じ画像を長く表示したり、画面の明るさを必要以上に明るい設定にしたり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちたり、色が変わる場合があります。これは、有機ELディスプレイの特性によるもので故障ではありません。
- 有機ELディスプレイは非常に高度な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素などが存在することがあります。また見る方向によってずじ状の色むらや明るさのむら、色の変化が見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- 有機ELディスプレイに直射日光を当てたままにすると故障の原因となります。窓際や屋外に置くとときはご注意ください。

■ 内蔵電池について



(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。)

内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池はご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いときや内蔵電池が膨れているときなど、機能が回復せず劣化している場合には寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、au Style/auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の状態で保管しないでください。
 - ・フル充電状態(充電完了後すぐの状態)
 - ・電池残量なしの状態(本製品の電源が入らない程度消費している状態)
 - ・高温多湿の状態

■ 充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。充電用機器のケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

■ SIMカードについて

- SIMカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる携帯電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、SIMカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- SIMカードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたSIMカードを挿入しないでください。故障の原因となります。
- SIMカードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかけたりする、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ クイックスイッチアダプター(試供品)について

- クイックスイッチアダプター(試供品)を本製品に接続するときは、奥まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、発熱、発火、感電、火災、傷害の原因となります。また、外部接続端子に対して平行になるように抜き差ししてください。故障や動作不具合の原因となります。
- 使用しない場合は、クイックスイッチアダプター(試供品)を本製品から抜いてください。
クイックスイッチアダプター(試供品)を接続したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
- 水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちにクイックスイッチアダプター(試供品)を本製品から抜いてください。
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。
- お手入れの際は、クイックスイッチアダプター(試供品)を本製品から抜いて行ってください。
抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

■ カメラ機能について

- カメラのレンズが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、au Style/auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となることがあります。
- 大切な撮影などをするときには、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、私的使用目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネット・ホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化したりする場合があります。

防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意

正しくお使いいただくために、「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、液体や粉塵が入る原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障の原因となります。

すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、「防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意」に記載されている内容を守らずにご使用になった場合など、お客さまの取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

本製品の防水／防塵／耐衝撃性能

本製品はSIMカード／microSDメモ리카ードトレイをしっかりと閉じた状態で保護等級（JIS C 0920）IPX5相当*1、IPX8相当*2の防水性能およびIP6X相当*3の防塵性能を有しております（当社試験方法による）。また、MIL規格に準拠する試験*4をクリアした耐衝撃構造を採用しています。

- *1 IPX5とは、内容積6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
- *2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところにも本製品を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。
- *3 IP6Xとは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかかはんさせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。
- *4 MIL規格準拠
米国防務省が制定したMIL-STD-810H（耐衝撃落下はMIL-STD-810G）に準拠した独自の試験を実施しています。

試験項目	試験内容
防水（浸漬）	深さ約1.5mの水中に30分間浸漬させる試験
防水（雨滴）	高さ1mから15分間雨滴を落とす試験
耐衝撃（落下）	高さ1.22mから合板（ラワン材）に製品を26方向で落下させる試験
耐振動	上下10Hz～500Hz、加速度1.04G、左右10Hz～500Hz、加速度0.2G、前後10Hz～500Hz、加速度0.74Gでそれぞれ60分の振動試験
防湿	連続10日間（湿度95%RH）の高湿度試験
高温保管（固定）	63℃に固定した72時間の高温保管試験
高温保管（変動）	28℃～58℃までの温度変化において72時間の高温保管試験
高温動作（固定）	55℃に固定した5時間の高温動作試験
高温動作（変動）	28℃～39℃/湿度43%～78%までの変化において72時間の高温動作試験
低温動作	-20℃に固定した5時間の低温動作試験
低温保管	-33℃～-25℃の温度変化において連続72時間の低温保管試験
温度耐久（温度衝撃）	-21℃～50℃の急激な温度変化において連続3時間の温度耐久試験
低圧保管	連続2時間（57.2kPa/高度約4,572m相当）の低圧保管試験
低圧動作	連続2時間（57.2kPa/高度約4,572m相当）の低圧動作試験
氷結（結露）	-10℃で結露や霧を発生させ1時間維持し、25℃、95%RHで動作確認
氷結（氷結）	-10℃環境下で着水した氷の厚さが6mmになるまで氷結させる試験

- 本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての状況での全機能の動作を保証するものではありません。また、すべての衝撃に対して、無破損、無故障を保証するものではありません。

■ 本製品が有する防水／防塵性能でできること

- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水などの水道水以外の水をかかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- 弱めの水流（6リットル／分以下）で常温（5℃～35℃）の水道水を使って本製品を洗うことができます。

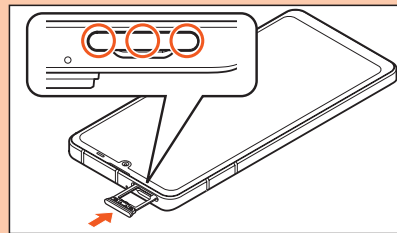
■ 本製品のお取り扱いについて

- SIMカード／microSDメモ리카ードトレイをしっかりと閉じてください。完全に閉まっていることで防水／防塵性能が発揮されます。接触面に微細なゴミ（髪の毛、砂粒、微細な繊維など）が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- SIMカード／microSDメモ리카ードトレイが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用しないで、電源を切り、お近くのau Style/auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品が濡れているときは、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
- 手や本製品が濡れているときや異物がついているときには、SIMカード／microSDメモ리카ードトレイの開閉は絶対に行わないでください。
- 常温（5℃～35℃）の真水・水道水にのみ対応しています。常温の真水・水道水以外の液体をかかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の真水・水道水で洗ってください。
- イヤホンマイク端子、外部接続端子は、濡れていたり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水／防塵性能が損なわれたり、感電や回路のショートなどによる火災、やけど、故障の原因となります。

■ SIMカード／microSDメモ리카ードトレイの閉じかた

SIMカード／microSDメモ리카ードトレイを本体に水平に奥までしっかり差し込んでください。

- ○部分をしっかりと押し、本体とカードトレイに隙間がないことを確認してください。



■ 本製品の防塵性能について

- 本製品の防塵性能はIP6X相当の保護度合いを保証するものであり、砂浜などの砂の上に直接置くなどの利用方法に対して保証するものではありません。
- 塵埃が本製品に付着したときには、直ちに水で洗い流すなどして完全に塵埃を除去してからご使用ください。

■ 使用時のご注意

- 水道水以外の液体（海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など）に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- 万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。
- 乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 砂や泥がきれいに洗い流せていない状態で使用すると、本製品に傷が付いたり、破損するなど故障の原因となります。
- 湯船やプールなどににつけないでください。また、水中で使用しないでください。（キー操作を含む。）
- 本製品は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水（6リットル／分を超える）を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。本製品は耐熱設計ではありません。
- 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かい場所へ移動するときは本製品が常温になってから持ち込んでください。万一、結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
- お風呂場、台所など、湿気が多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- 本製品は水に浮きません。
- 強い雨の中では使用しないでください。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地では凍結するなど、故障の原因となります。
- 受話口（レシーバー）、送話口（マイク）、スピーカーの穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなる場合があります。十分に水抜きと乾燥を行って上でご使用ください。
- 砂浜、砂場などの砂の上や、泥の上に直接置かないでください。受話口（レシーバー）、送話口（マイク）、スピーカー、サブマイク、イヤホンマイク端子、外部接続端子などに砂が入り、音が小さくなったり、本体内に砂などが混入したりすると発熱や故障の原因となります。
- SIMカード／microSDメモ리카ードトレイに劣化、破損があるときは、防水／防塵性能を維持できません。
- 落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。また、受話口（レシーバー）、送話口（マイク）、スピーカー、サブマイクなどをとがったものでつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、防水／防塵性能が損なわれる原因となります。

■ お風呂場でお使いいただく際の注意事項

- 湯船や温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水に浸けたり、かけたりしないでください。故障の原因となります。
- 万が一、水道水以外が付着したり、湯船に落ちてしまった場合は、直ちに所定の方法で洗い流して、水抜きおよび自然乾燥を行ってください。
- お風呂場では、室温は40℃以下、湿度は99%以下、連続2時間以内の範囲でご使用ください。
- その後、必ず所定の方法で水抜きおよび自然乾燥を行ってください。
- なお、全ての機能の連続動作を保証するものではありません。
- 高温のお湯がかからないようにご注意ください。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。
- 寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- また、お風呂場で暖まった本製品に冷たい水をかけないでください。
- 浸水や故障の原因となります。
- カメラのレンズやディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
- お風呂場で、イヤホンマイクや外部機器を接続して使用しないでください。
- お風呂場では、充電を行わないでください。
- お風呂場では、「グローブモード」(▶P.71)をOFFにしてご利用ください。
- ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「設定」→「ディスプレイ」→「グローブモード」と操作して、設定を変更することができます。

防水／防塵性能を維持するために

■ ゴムパッキンについて

SIMカード／microSDメモ리카ードトレイのゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するために重要な部品です。次のことにご注意ください。

- はがしたり、傷付けたりしないでください。
 - SIMカード／microSDメモ리카ードトレイを閉じるときは、ゴムパッキンを挟まないように注意してください。また、SIMカード／microSDメモ리카ードトレイの隙間、イヤホンマイク端子部、外部接続端子部に、先の尖ったものを差し込まないでください。
- ゴムパッキンが傷付き、液体や粉塵が入る原因となることがあります。
- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回部品を交換することをおすすめします(有償)。部品の交換につきましては、お近くのau Style/auショップまでご連絡ください。

■ 充電時のご注意

指定の充電用機器(別売)やオプション品は、防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 本製品に水滴や異物が付着していないか確認してください。異物が付着している場合は、すぐに洗い流してください。濡れている場合や水に濡れた後は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、外部接続端子にUSB Type-Cプラグを差し込んでください。
 - 本製品または充電用機器に水滴や異物が付着している状態では、USB Type-Cプラグを絶対に接続しないでください。
- 本製品は防水／防塵性能を有しておりますが、指定の充電用機器(別売)およびオプション品は防水／防塵性能を有しておりません。濡れたり汚れたりしている状態でUSB Type-Cプラグを挿入すると、本製品やUSB Type-Cプラグに付着した水分や異物などにより、感電や回路のショート、腐食による異常発熱、焼損、火災、やけど、故障の原因となります。
- 濡れた手で指定の充電用機器(別売)に触れないでください。感電の原因となります。
 - 指定の充電用機器(別売)およびオプション品は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電、故障などの原因となります。

■ 本製品の洗いかた

本製品の表面に汚れ、ほこり、砂、清涼飲料水などが付着したときは、汚れを軽く布で除去し、やや弱めの水流(6リットル/分以下)で常温(5℃～35℃)の水道水を使い、乾口やシャワーから約10cm離して洗います。

SIMカード／microSDメモ리카ードトレイが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください。

- SIMカード／microSDメモ리카ードトレイがきちんと閉まっていることを確認してから、洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- イヤホンマイク端子部、外部接続端子部は、特にほこりや砂などの汚れが付着しやすい部位です。汚れを残さないようにしっかりと洗い流してください。また、水洗い後は、十分に乾燥したことを確認した上でご使用ください。砂や水滴が端子部に残ったままの状態でご使用になりますと、故障の原因となります。
- イヤホンマイク端子部、外部接続端子部を洗うときは、綿棒などの道具を使用したり、布を端子内部に押し込んだりしないでください。防水／防塵性能が損なわれるなど火災、やけど、故障の原因となります。
- 乾燥のために電子レンジには絶対入れないでください。内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。また、本製品を発熱・発煙・発火させたり、回路部品を破壊させる原因となります。
- 乾燥のために、ドライヤーの温風をあてたり、高温環境に放置したりしないでください。本製品の变形・変色・故障などの原因となります。

■ 水抜きのしかた

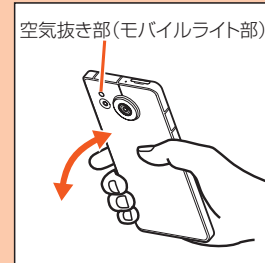
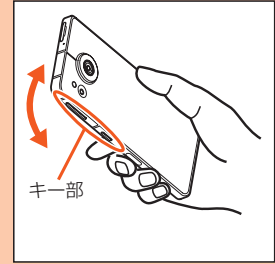
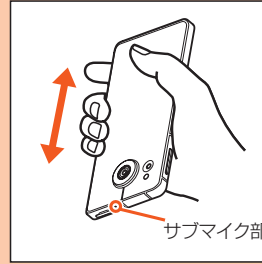
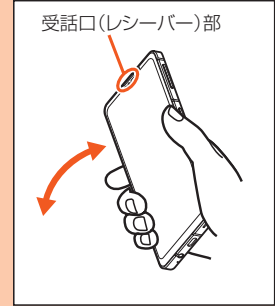
水に濡れた後は、必ずイヤホンマイク端子部、外部接続端子部、受話口(レシーバー)部、送話口(マイク)部、スピーカー部、キー部、サブマイク部、空気抜き部(モバイルライト部)などの水抜きをしてください。

1 本製品表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る



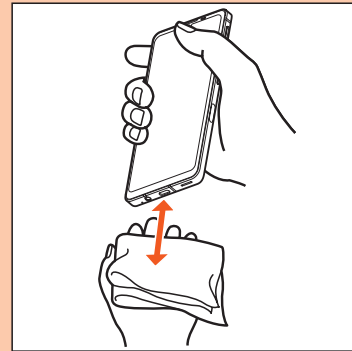
2 本製品をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

周囲の安全を確認して、本製品を落とさないようにしっかりと握って振ってください。



3 各部の隙間に入った水分を、乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当てて拭き取る

各部の穴に水がたまっていることがありますので、開口部に布を当て、軽く叩いて水を出し、水や異物が入っていないことを確認してください。



4 乾いた布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置し、乾燥させる

水を拭き取った後に本製品内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。隙間に溜まった水を、綿棒などで直接拭き取らないでください。

■ 水抜き後のご注意

水滴が付着したまま使用しないでください。

- 通話不良となったり、衣服やかばんなどを濡らしてしまうことがあります。
- イヤホンマイク端子、外部接続端子などがショートし、火災、故障の原因となるおそれがあります。
- 寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。

Bluetooth® / 無線LAN (Wi-Fi®) 機能をご 使用の場合のお願い

Bluetooth® についてのお願い

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国 / 地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国 / 地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN (Wi-Fi®) やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信距離は異なります。

無線LAN (Wi-Fi®) についてのお願い

- 本製品の無線LAN (Wi-Fi®) 機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国 / 地域では無線LAN (Wi-Fi®) 機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国 / 地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります (特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- 近くに複数の無線LAN (Wi-Fi®) アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信距離は異なります。

周波数帯について

本製品のBluetooth®機能および無線LAN (Wi-Fi®) 機能(2.4GHz帯)は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。本製品で以下の操作を行うことで、周波数帯に関する情報をご確認いただくことができます。

ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→【設定】→【デバイス情報】→【規制ラベル】
Bluetooth®機能: 2.4FH4/XX8

2.4FH4/XX8

本製品は2.4GHz帯を使用します。
FH4は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。
XX8はその他方式を採用し、与干渉距離は約80m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

無線LAN (Wi-Fi®) 機能: 2.4DS/OF4

2.4DS/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。
変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。
本製品の2.4GHz帯の無線LAN (Wi-Fi®) で使用できるチャンネルは、1~13です。
利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth®機能ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など (以下「ほかの無線局」と略す) が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止 (電波の発射を停止) してください。
- ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、au Style/auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

2.4GHz帯無線LAN (Wi-Fi®) ご使用上の注意

本製品の無線LAN (Wi-Fi®) 機能の使用周波数は、2.4GHz帯、5GHz帯です。2.4GHzの周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など (以下「ほかの無線局」と略す) が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止 (電波の発射を停止) してください。
- ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、au Style/auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

5GHz帯無線LAN (Wi-Fi®) 機能ご使用上の注意

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz / 5.3GHz / 5.6GHz帯 (W52 / W53 / W56) の3種類のチャンネルを使用することができます。

- W52 (5.2GHz帯 / 36, 40, 44, 48ch)
- W53 (5.3GHz帯 / 52, 56, 60, 64ch)
- W56 (5.6GHz帯 / 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140, 144ch)

5.2GHz / 5.3GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています (5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント / 中継局と通信する場合を除く)。

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®、無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®、無線LAN (Wi-Fi®) 対応機器との動作を保証するものではありません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®、無線LAN (Wi-Fi®) の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®、無線LAN (Wi-Fi®) によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- ◎ 無線LAN (Wi-Fi®) は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客さまの判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ◎ Bluetooth®、無線LAN (Wi-Fi®) 通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ Bluetooth®と無線LAN (Wi-Fi®) は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN (Wi-Fi®) のいずれかの使用を中止してください。

おサイフケータイおよびNFCリーダー／ライターについて

- 本製品のおサイフケータイおよびNFCリーダー／ライター機能は電波法に規定する誘導式読み書き通信設備の型式指定を受けています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のおサイフケータイおよびNFCリーダー／ライター機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。その国 / 地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
- 型式指定は、次の手順でご確認いただけます。
ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→【設定】→【デバイス情報】→【規制ラベル】

電波障害自主規制について

本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電子銘板に表示しています。

電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認ください。ご確認ください。

ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→【設定】→【デバイス情報】→【規制ラベル】

各種暗証番号／PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

なお、初期値は必ずお客さまの独自の番号に変更の上お使いください。

■ 暗証番号

使用例	① お留守番サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客さまが記入した任意の4桁の番号

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるSIMカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力が必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

• お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は「入力不要」に設定されていますが、お客さまの必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は「入力必要」に変更できます。

「入力必要」で使用する場合は、必ずお客さま独自の番号に変更の上ご使用ください。

• 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

• PINロック解除コードは、SIMカードが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。eSIMをご利用の場合、詳しくはauホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/id/pin-code/>

• PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。

• PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、au Style/auショップ・トヨタ au取扱店もしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

◎ PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のため本製品が再起動することがあります。

データ通信料についてのご注意

• 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額/割引サービスへのご加入をおすすめします。

• 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。

通話料についてのご注意

• 通話を終了される際は、通話終了の操作を行って確実に通話が切断されていることをご確認ください。通話の切り忘れにより、通話料が高額になる場合があります。

アプリケーションについて

• アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、他のアプリケーションや本製品全体の動作に影響を及ぼすものもあります。また、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客さまの位置情報や利用履歴、本製品内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。

• 万一、お客さまがインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

• お客さまがインストールを行ったアプリケーションなどによりお客さまご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

• アプリケーションによっては、microSDメモリーカードを取り付けていないと利用できない場合があります。

• アプリケーションの中には動作中に画面が消灯しなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなったりするものがあります。

• 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、「クイックスタートガイド」,[取扱説明書 詳細版 Android 13対応版](本書)に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気が取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使しましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まった際の通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでの通話は、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品を「機内モード」に切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

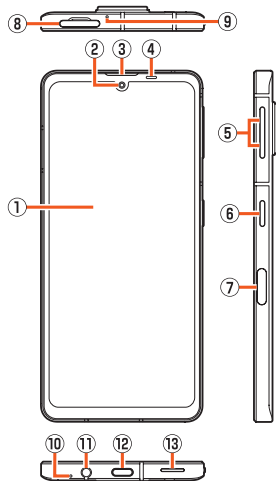
ご利用の準備

ご利用の準備	18
各部の名称と機能	18
SIMについて	19
SIMカードを取り付ける／取り外す	19
充電する	20
電源を入れる／切る	21
画面をロックする／画面ロックを解除する	21
初期設定を行う	22
データを引き継ぐ	22

ご利用の準備

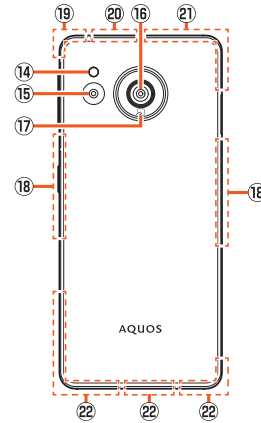
各部の名称と機能

■ 正面／上下右側面



- ① ディスプレイ(タッチパネル)
- ② インカメラ(レンズ部)
- ③ 受話口(レシーバー)^{*1}
通話中の相手の方の声、簡易留守録の再生音などが聞こえます。
- ④ 近接センサー／明るさセンサー
近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。
明るさセンサーは周囲の明るさに合わせて、ディスプレイの明るさを調整します。
- ⑤ [(+)音量UPキー／(-)音量DOWNキー
音量を調節します。
また、マナーモードの設定／解除を切り替えられます。
・詳しくは、「マナーモードを設定する」(▶P.28)をご参照ください。
- ⑥ [(⏻)電源キー
電源を入れる／切るときや、画面を点灯／消灯するときに使います。
・長押しすると、設定したアプリが起動します。起動するアプリは「クイック操作」(▶P.71)の「長押しでアプリ起動」で設定できます。
・[(+)と同時に押すと「電源メニュー」が表示されます。詳しくは、「電源を入れる／切る」(▶P.21)をご参照ください。
- ⑦ 指紋センサー
指紋認証による、ロック画面の解除などに利用します。
・ロック画面の解除後も指紋センサーを押し続けて、設定したアプリを起動することができます。詳しくは、「Payトリガーの設定をする」(▶P.72)をご参照ください。
- ⑧ SIMカード／microSDメモ리카ードトレイ
- ⑨ サブマイク^{*1}
ハンズフリー通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。動画撮影時の録音にも使います。
- ⑩ 送話口(マイク)^{*1}
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。動画撮影時の録音やエモバー利用時の音声認識にも使います。
- ⑪ イヤホンマイク端子
- ⑫ 外部接続端子
クイックスイッチアダプター(試供品)、TypeC共通ACアダプタQ2(別売)、USB Type-Cケーブル(市販品)などの外部機器の接続に使います。
TypeC共通ACアダプタQ2(別売)、USB Type-Cケーブル(市販品)などを接続すると、接続機器の磁気が影響し、本体の地磁気センサーが正常に動作しないことがあります。地磁気センサーを利用する機能やアプリケーションを使用する場合はケーブル類を取り外してください。
- ⑬ スピーカー^{*1}
着信音やアラーム音などが聞こえます。

■ 背面



- ⑭ モバイルライト
周囲の隙間が、性能を保つための空気抜き部^{*1}となっています。
 - ⑮ 広角カメラ(レンズ部)
 - ⑯ 標準カメラ(レンズ部)
 - ⑰ 〻マーク
おサイフケータイ[®]やNFC機能利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざしてください。
 - ⑱ 5G／4Gアンテナ^{*2}
 - ⑲ Wi-Fi[®]／Bluetooth[®]アンテナ^{*2}
 - ⑳ 5G／4G／GPSアンテナ^{*2}
 - ㉑ 5G／4G／UMTSアンテナ^{*2}
 - ㉒ 5G／4G／UMTS／GSMアンテナ^{*2}
- ^{*1} シールや指などでふさぐと性能を維持できなくなりますので、ご注意ください。
^{*2} アンテナは本製品に内蔵されています。通話中や通信中はアンテナを手でおおわないでください。通話／通信品質が悪くなる場合があります。

◎ 本製品の外装ケース(背面部)は取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。

◎ 本製品の電池は内蔵されており、お客さまによる取り外しはできません。画面が動かなくなったときなど、強制的に電源を切る場合は、「強制的に電源を切る」(▶P.21)をご参照ください。

SIMカード／microSDメモ리카ードトレイについて

◎ SIMカード／microSDメモ리카ードトレイを強く引っ張ったり、無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。

近接センサー／明るさセンサーについて

◎ 近接センサー／明るさセンサーの上にシールなどを貼ると、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。

◎ 近接センサーをのぞきこまないでください。

一時的に視力に影響を与え、事故につながる可能性があります。

イヤホンマイク端子について

◎ スイッチ付イヤホンマイクやイヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

SIMについて

本製品はeSIM(ダウンロード型SIM)とnanoSIMカードに対応しています。モバイルデータ通信や音声通話発信、SMSの送信などの操作にどちらのSIMを使うか選択できます。

eSIMについて

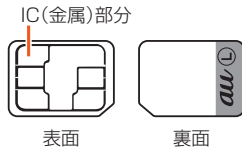
本製品は、お客さまの電話番号などの情報を登録するeSIMに対応しています。eSIMのご利用には設定が必要です。

- eSIMの追加設定につきましては、eSIMの提供元までお問い合わせください。

SIMカードについて

SIMカードにはお客さまの電話番号などが記録されています。本製品にはSIMロックはされておりません。

au Nano IC Card O4 LEの場合



- ◎ SIMカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - SIMカードのIC(金属)部分には触れないでください。
 - 正しい挿入方向をご確認ください。
 - 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- ◎ SIMカードを正しく取り付けしていない場合やSIMカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外したSIMカードはなくさないようにご注意ください。
- ◎ 変換アダプタを取り付けたSIMカードを挿入しないでください。故障の原因となります。
- ◎ SIMカード着脱時は、必ずTypeC共通ACアダプタO2(別売)などのUSB Type-Cプラグを本製品から抜いてください。

SIMカードが挿入されていない場合

SIMカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。

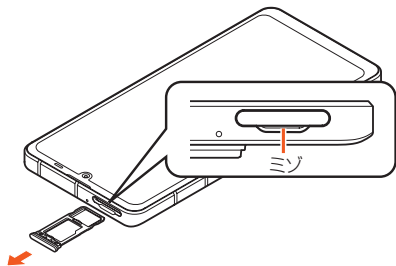
- 電話をかける* / 受ける
 - SMSの送受信
 - +メッセージの送受信
 - auメールの初期設定および送受信
 - SIMカードロック
 - 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認
- 上記以外でも、お客さまの電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。
- * 110番(警察)・119番(消防機関)・118番(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。ただし、海外では緊急通報に限り発信可能な場合があります(なお、緊急通報番号は国によって異なります)。

SIMカードを取り付ける / 取り外す

SIMカードを取り付ける

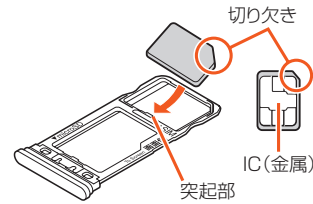
SIMカードの取り付けは、ディスプレイ面を上向きに行ってください。

- 1 ミジに指先をかけて、SIMカード / microSDメモ리카ードトレイを引き出す



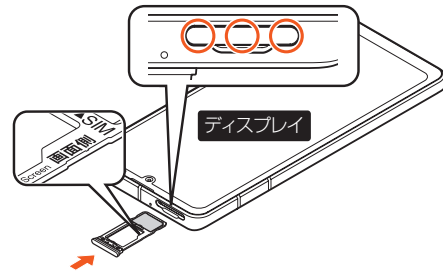
- 2 SIMカードのIC(金属)面を下向きにして、SIMカード / microSDメモ리카ードトレイの突起部に押し当てながら取り付ける

SIMカードの向きに注意して、確実にカードトレイに取り付けてください。SIMカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



- 3 SIMカード / microSDメモ리카ードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

◎ 部分をしっかりと押し、本体とカードトレイに隙間がないことを確認してください。



SIMカード / microSDメモ리카ードトレイの着脱について

- ◎ SIMカードやmicroSDメモ리카ードは、直接本体に差し込まないでください。カードをカードトレイに取り付けた後で、カードトレイごと本体に差し込んでください。
- ◎ 取り外したSIMカード / microSDメモ리카ードトレイは紛失・破損しないようにご注意ください。
- ◎ カードトレイを本体から引き出すときは、ディスプレイ面を上向きにしてゆっくりと水平に引き出してください。
 - カードトレイを強く引き出したり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。
 - ディスプレイ面を下向きにしたり、本体を立てた状態でカードトレイを引き出すと、カードトレイに取り付けられているSIMカードやmicroSDメモ리카ードが外れ、紛失する可能性があります。
- ◎ カードトレイを本体に取り付けるときは、ディスプレイ面を上向きにしてゆっくり差し込み、本体とカードトレイに隙間がないことを確認してください。
 - カードトレイは「画面側」の刻印を上向きにして、差し込んでください。
 - カードトレイを裏表逆に差し込まないでください。裏表逆に差し込むと、カードトレイが破損するおそれがあります。
 - カードトレイの差し込みが不十分な場合は、防水 / 防塵性能が損なわれたり、正常に動作しないことがあります。
 - カードトレイの閉じかたについては、詳しくは、「SIMカード / microSDメモ리카ードトレイの閉じかた」(▶P.12)をご参照ください。

IMEI情報(端末識別番号)について

- ◎ SIMカード / microSDメモ리카ードトレイにIMEI情報が刻印されています。修理依頼やアフターサービスなどで、IMEI情報が必要となる場合にご確認ください。
- ◎ 本製品を操作してIMEI情報を確認することもできます。ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[デバイス情報]→[IMEI(SIM スロット1)] / [IMEI(SIM スロット2)]

SIMカードを取り外す

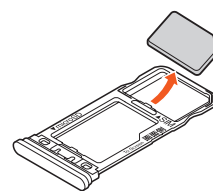
SIMカードの取り外しは、ディスプレイ面を上向きに行ってください。

- SIMカード / microSDメモ리카ードトレイの着脱について詳しくは、「SIMカードを取り付ける」(▶P.19)をご参照ください。

- 1 ミジに指先をかけて、SIMカード / microSDメモ리카ードトレイを引き出す

引き出すときに、SIMカードがカードトレイから外れて、紛失したりしないようにご注意ください。

- 2 SIMカードをSIMカード / microSDメモ리카ードトレイから取り外す



- 3 SIMカード / microSDメモ리카ードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

充電する

充電について

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

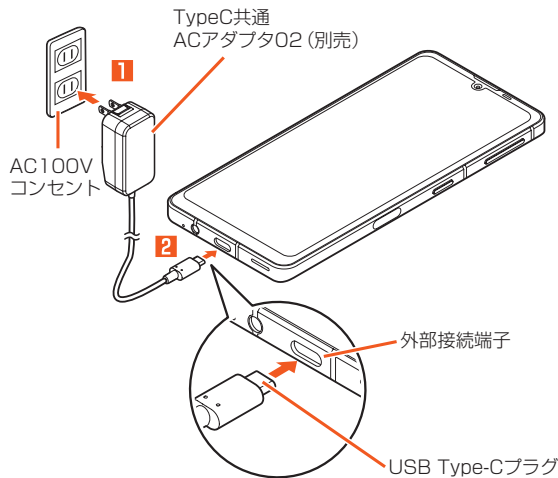
- 充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合は内蔵電池の寿命の可能性がります。ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「設定」→「デバイス情報」→「電池の状態」と操作すると、内蔵電池の充電能力を確認できます。
- 充電中は電池マークに🔋が重なって表示されます。充電完了（電池残量100%表示）後も、AC100Vコンセントやパソコンに接続したままの状態では、🔋を表示し続けます。

- 充電中、本製品が温かくなる場合がありますが異常ではありません。
- 操作方法や使用環境によっては、本製品の内部温度が高くなり、熱くなる場合があります。その際、安全のため充電が停止することがあります。
- カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間が長くなる場合があります。
- 指定の充電用機器（別売）を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電/放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、内蔵電池の寿命が短くなります。
- 連続通話時間および連続待受時間（▶P.90）は、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用可能時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。
 - 📶（圏外）が表示される場所での使用が多い場合
 - Wi-Fi®機能、Bluetooth®機能、メール機能、カメラ機能、位置情報などの使用
 - アプリケーションなどで画面が消灯しないように設定されている場合
 - バックグラウンドで動作するアプリケーションを使用した場合

指定のACアダプタ（別売）を使って充電する

TypeC共通ACアダプタ02（別売）を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ（別売）について詳しくは、「周辺機器」（▶P.90）をご参照ください。

- 1 TypeC共通ACアダプタ02（別売）の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む
- 2 TypeC共通ACアダプタ02（別売）のUSB Type-Cプラグを、本製品の外部接続端子に矢印の方向に差し込む



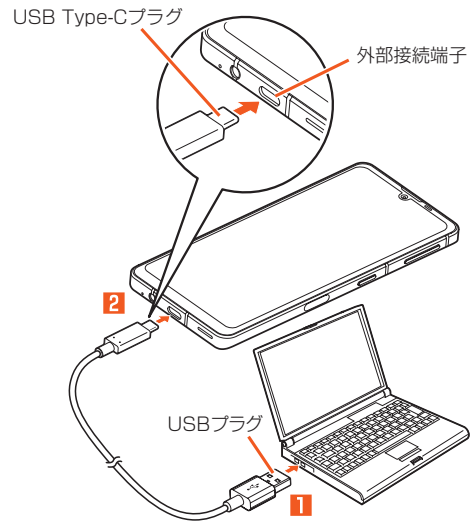
- 3 充電が終わったら、本製品の外部接続端子からTypeC共通ACアダプタ02（別売）のUSB Type-Cプラグをまっすぐ引き抜く
- 4 TypeC共通ACアダプタ02（別売）の電源プラグをコンセントから抜く

○ 本製品の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。

パソコンを使って充電する

本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

- 1 パソコンが完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル（市販品）をパソコンのUSBポートに接続
- 2 USB Type-Cケーブル（市販品）を本製品に接続



- USB充電を行った場合、指定のACアダプタ（別売）での充電と比べて時間が長くなる場合があります。
 - 電池が切れた状態で充電する場合は、指定のACアダプタ（別売）を使用して充電してください。
- 接続した機器がロールスワップ機能に対応している機器の場合**
ロールスワップ機能に対応している機器同士で接続すると、電力を供給する役割と受給する役割を入れ替えることができます。
- USB Type-Cケーブル（市販品）を本製品に接続したときに表示されるUSBの設定画面で「接続デバイスの充電」をONに設定すると、本製品が給電する役割となり接続した機器を充電することができます。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源が切れた状態で $\text{⓪}+\text{ⓧ}$ (3秒以上長押し)

- ◎ 電源を入れてから「AQUOS」の表示が終了するまでの間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
- ◎ 初期状態で、初めて本製品の電源を入れたときや、出荷時リセットを実行後は、自動的に初期設定画面が表示されます。詳しくは、「初期設定を行う」(▶P.22)をご参照ください。

電源を切る

1 $\text{⓪}+\text{ⓧ}+\text{ⓧ}$ (同時押し)

2 [電源を切る]

■再起動する

本製品の電源をいったん切り、再度起動します。

1 $\text{⓪}+\text{ⓧ}+\text{ⓧ}$ (同時押し)

2 [再起動]

電源メニューについて

- ◎ 「緊急通報」をタップすると緊急通報発信画面が表示されます。
- ◎ 「故障かな?と思ったら」については「セルフチェック」(▶P.75)をご参照ください。
- ◎ 「ロックダウン」をタップすると画面をロックし、解除するまでの間は、Smart Lockや指紋認証によるロック解除、ロック画面上の通知を無効にすることができます。
 - ・「画面ロック」(▶P.73)を「パターン」/「PIN」/「パスワード」に設定している場合にのみ表示されます。

■強制的に電源を切る

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切ることができます。

1 $\text{⓪}+\text{ⓧ}+\text{ⓧ}$ (8秒以上長押し)

- ◎ 強制的に電源を切ると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

■セーフモードで起動する

本製品の電源をいったん切り、OSアップデート直後に近い状態で起動します。本製品の動作が不安定になった場合、インストールしたアプリケーションが原因の可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合、インストールしたアプリケーションをアンインストールすると症状が改善されることがあります。

1 $\text{⓪}+\text{ⓧ}+\text{ⓧ}$ (同時押し)

2 「電源を切る」または「再起動」をロングタッチ→[OK]

セーフモードで起動すると、画面下部に「セーフモード」と表示されます。セーフモードを終了するには再起動してください。

- ◎ 電源が切れているときは、 $\text{⓪}+\text{ⓧ}$ (3秒以上長押し)で電源を入れ、AQUOSロゴが表示されてからロック画面が表示されるまで $\text{⓪}+\text{ⓧ}$ を押し続けると、セーフモードで起動することができます。
- ◎ セーフモードで起動する前に本製品のデータをバックアップすることをおすすめします。
- ◎ お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
- ◎ セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合はセーフモードを終了してください。

画面をロックする／画面ロックを解除する

画面をロックする

画面消灯中はキーやタッチパネルの誤動作を防止できます。

1 画面点灯中に ⓪

「画面消灯(スリープ)」(▶P.71)で設定した時間が経過しても画面が消灯します。

- ◎ ポケットやかばんなどに入れる際は、画面を消灯してください。画面を点灯させたまま入ると、誤動作の原因となります。

画面ロックを解除する

画面を点灯させるとロック画面が表示されます。

1 画面消灯中に ⓪

2 ロック画面を上をスワイプ

- ◎ 「画面ロック」(▶P.73)で解除方法を設定している場合は、設定した方法で画面ロックを解除してください。解除方法を「なし」に設定している場合は、ロック画面は表示されません。
- ◎ 指紋認証機能を利用して、指紋センサーにタッチするだけで画面ロックを解除することができます。詳しくは、「指紋認証機能を利用する」(▶P.24)をご参照ください。
- ◎ 顔認証機能を利用して、顔をインカメラに向けるだけで画面ロックを解除することができます。詳しくは、「顔認証機能を利用する」(▶P.25)をご参照ください。

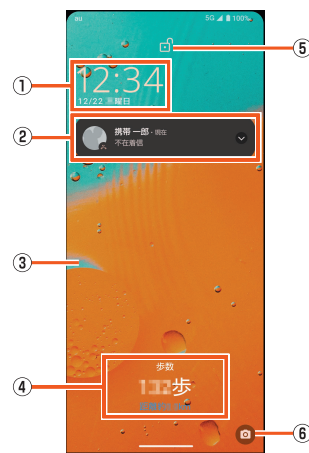
■持つと画面点灯について

「持つと画面点灯」が設定されている場合は、本製品を持ち上げて静止すると、画面が点灯します。(初期状態では、この機能は有効になっていません。)設定方法については、「Bright Keep」(▶P.72)の「持つと画面点灯」をご参照ください。

- ◎ 次の場合などでは、点灯しないことがあります。

- ・ 本製品を持ったまま動いている(歩行中や乗車中などの場合)
- ・ 持ち上げる前やその後本製品を動かして続けている場合
- ・ 垂直または水平に持ち上げた場合

■ロック画面について



《ロック画面》

1 時計

現在の時刻と日付などが表示されます。

2 お知らせエリア

不在着信／新着メール／新着SMSなどの通知が表示されます。通知をタップすると対応した画面が表示されます。お知らせエリアを下にドラッグすると、通知の一覧が表示され、通知をタップすると対応した画面が表示されます。音楽などを再生中は、メディア操作キーが表示されます。メディア操作キーは音楽などを再生するアプリケーションを起動中に表示されます。アプリケーションによっては表示されない場合もあります。

3 壁紙

壁紙の設定については、「壁紙とスタイルの設定をする」(▶P.71)をご参照ください。

- ・ 「ロックフォトシャッフル」をONに設定している場合、ロック画面の壁紙がランダムで切り替わります。詳しくは、「ロック・ホームフォトシャッフルを設定する」(▶P.72)をご参照ください。

4 エモバーエリア

「エモバー」をONに設定している場合、エモバーがお伝えするさまざまな情報が表示されます。

- ・ 情報によってはダブルタップすると、関連情報や詳細を確認できます。

5 画面ロック

画面ロックの状態が表示されます。

- ・ 「 ⓪ 」が表示されている場合は、画面を上をスワイプすると画面ロックを解除できます。
- ・ 「 ⓧ 」が表示されている場合は、画面を上をスワイプして「画面ロック」(▶P.73)で設定したパスワードなどを入力します。

6 カメラ起動

「 ⓷ 」をスワイプすると「カメラ」アプリを起動します。

- ◎ 「ロック画面」(▶P.70)の「ロック画面にテキストを追加」を設定している場合は、ロック画面に設定したテキストが表示されます。
- ◎ 「エモバーメモ」がONのときは、ロック画面でエモバーメモが利用できません。エモバーについて詳しくは、「エモバーを設定する」(▶P.57)をご参照ください。

初期設定を行う

初めて本製品の電源を入れたときや、出荷時リセットを実行後は、自動的に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って、各機能の設定を行います。設定する機能は、操作する条件などにより異なる場合があります。

1 言語を選択→[開始]

eSIMの使用について確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。モバイルデータ通信や音声通話発信、SMSの送信などの操作にどちらのSIMを使うか選択できます。

2 Wi-Fi®接続を設定

Wi-Fi®接続の設定について詳しくは、「無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する」(▶P.64)をご参照ください。

3 セットアップ方法を選択

以前に使用していたスマートフォンからデータを引き継ぐことができます。「次へ」をタップし、画面の指示に従って操作してください。(▶P.22「データの引き継ぎについて」)

4 Google™アカウントを設定

5 Google サービスなどの内容を確認/設定

6 端末のロックを設定

7 Google アシスタント™、Google Pay™について確認/設定

8 ソフトウェア更新について確認

9 その他の項目について確認/設定

◎ セットアップ中断の確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

データの引き継ぎについて

付属のクイックスイッチアダプター(試供品)を本製品の外部接続端子に接続することで、以前のスマートフォンと本製品をケーブルで接続して、簡単にデータを引き継ぐことができます。

- ・ はじめて本製品の電源を入れたときや、出荷時リセットを実行後に表示される初期設定画面の「アプリとデータのコピー」で、画面の指示に従ってスマートフォン同士を接続し、データの引き継ぎを行ってください。
- ・ あらかじめ無線LAN(Wi-Fi®)またはモバイルネットワークに接続しておいてください。
- ・ 初期設定の完了後にデータの引き継ぎを行う方法などクイックスイッチアダプター(試供品)を利用したデータ引き継ぎについて詳しくは、次のサイトをご確認ください。

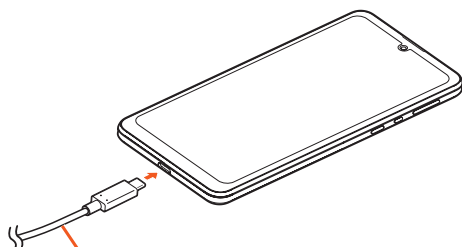
http://k-tai.sharp.co.jp/support/datacopy/pdf/easy_data_copy.pdf



クイックスイッチアダプターの接続方法

1 以前のスマートフォンで使用していたケーブルを、以前のスマートフォンに接続

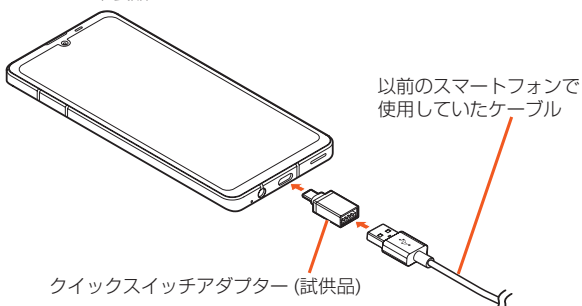
以前のスマートフォン
(Android搭載デバイスまたはiPhone)



以前のスマートフォンで使用していたケーブル

2 ケーブルのもう一方のプラグを本製品の外部接続端子に接続 もう一方のプラグがUSB Type-A端子の場合は、クイックスイッチアダプター(試供品)をご使用ください。

本製品



以前のスマートフォンで使用していたケーブル

クイックスイッチアダプター(試供品)

- ◎ クイックスイッチアダプター(試供品)は、データの引き継ぎ以外の用途(充電など)には使用しないでください。
- ◎ すべてのデータが移行できるものではありません。

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントのセットアップ画面は、Googleアカウントが設定されていない状態でGoogleアカウントが必要なアプリケーションを起動したときなどに表示されます。

1 Googleアカウントのセットアップ画面→メールアドレスまたは電話番号を入力/[アカウントを作成]

Googleアカウントをすでにお持ちの場合はGmail™のメールアドレスまたは電話番号を入力→[次へ]→パスワードを入力→[次へ]と操作し、画面の指示に従って設定してください。

Googleアカウントをお持ちではない場合は「アカウントを作成」をタップし、画面の指示に従って登録してください。

- ◎ Googleアカウントを設定しない場合でも本製品をお使いになれますが、Gmail、Google Play™などのGoogleサービスがご利用になれません。
- ◎ Googleアカウントは、ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[パスワードとアカウント]→[アカウントを追加]→[Google]と操作しても設定できます。

データを引き継ぐ

microSDメモリーカードを利用して、これまでお使いの携帯電話/スマートフォンのバックアップデータを本製品の本体メモリーに取り込むことができます。本製品にデータを引き継ぐ場合は、あらかじめ、バックアップデータを保存したmicroSDメモリーカードを本体に取り付けしておいてください。また、これまでお使いのスマートフォンがBluetooth®対応の場合は、Bluetooth®機能を利用して連絡帳データを取り込むこともできます。

- ・ 電話帳(連絡帳)、スケジュール、メモ帳、ユーザー辞書/学習辞書(S-Shoin)、エモパーの登録内容を引き継ぐことができます。
- ・ これまでお使いの携帯電話/スマートフォンの操作については、これまでお使いの携帯電話/スマートフォンの取扱説明書をご参照ください。

■ microSDメモリーカードに保存したバックアップデータを取り込む

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[システム]→[データ引継]→[データ取り込み]

[ヘルプ]をタップすると、ヘルプを表示します。

2 [従来の携帯電話]→[取り込む]

取り込むことができるデータカテゴリが一覧表示されます。

3 取り込むデータカテゴリを選択

バックアップデータが一覧表示されます。

すべてのカテゴリを選択/解除したい場合、「全選択」/「全解除」をタップします。バックアップデータは最新のものが選択されます。

4 取り込むバックアップデータを選択

確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

5 [追加登録]/[削除して登録]

機内モードが無効になっている場合は、手動で機内モードを有効にするポップアップが表示されます。画面に従って操作してください。

アカウントの選択画面が表示された場合は、登録先を選択してください。

6 [完了]

- ◎ 電池残量が少ないときは取り込みできません。
- ◎ 「削除して登録」を実行中に操作がキャンセルされた場合は、既存のデータは削除され、キャンセルする直前までのバックアップデータが登録されます。
- ◎ ユーザー辞書/学習辞書(S-Shoin)、エモパーは追加登録を行った場合でも削除して登録されます。

■ スマートフォンからBluetooth®機能を利用して連絡帳データを取り込む

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[システム]→[データ引継]→[データ取り込み]

2 [スマートフォン]→[次へ]

3 これまでお使いのスマートフォンのBluetooth®機能を有効にする→[次へ]

4 これまでお使いのスマートフォンを選択→[開始]

リクエスト画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

「連絡先と通話履歴へのアクセスを許可する」を有効に設定するなど、相手側の機器で操作が必要な場合は行ってください。

5 [次へ]

6 [追加登録]/[削除して登録]→[OK]

アカウントの選択画面が表示された場合は、登録先を選択してください。

確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

7 [OK]

基本操作

基本操作	24
タッチパネルの使いかた	24
ジェスチャー操作	24
指紋認証機能を利用する	24
顔認証機能を利用する	25
AQUOS Homeを利用する	25
AQUOSかんたんホームを利用する	26
アプリケーションを起動する	26
本製品の状態を知る	27
マナーモードを設定する	28
アプリ使用履歴を利用する	28
アプリの権限を設定する	29
共通の操作を覚える	29
文字入力	30
ソフトウェアキーボードを切り替える	30
Gboardを利用する	30

基本操作

タッチパネルの使いかた

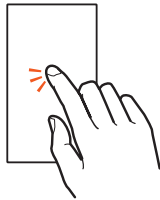
本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- ・ 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - ・ 手袋をしたままでの操作*
 - ・ 爪の先での操作
 - ・ 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - ・ 保護フィルムやシールなどを貼った操作
 - ・ ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - ・ 濡れた指または汗で湿った指での操作
 - ・ 水中での操作
- *「グローブモード」(▶P.71)がONの場合、手袋を装着したまま使用できます。

■ タップ / ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

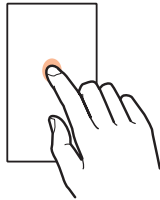
- ・ 画面に表示された項目やアイコンを選択します。静止画表示中やWebページ閲覧中などにダブルタップすると、画面を拡大 / 縮小します。



■ ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。

- ・ 項目によっては、利用できるメニューが表示されます。



■ スライド / スワイプ / ドラッグ

画面に軽く触れたまま、目的の方向や位置へなぞります。

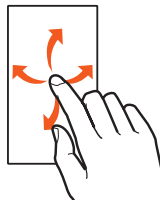
- ・ 目的の方向へなぞって画面のスクロールやページの切り替えを行います。また、音量や明るさの調整時にバーの操作に使用します(スライド / スワイプ)。
- ・ 項目やアイコンを目的の位置まで移動します(ドラッグ)。



■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

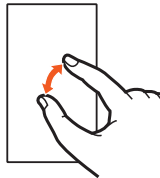
- ・ ページの切り替えや文字のフリック入力などを行います。



■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり(ピンチアウト)、閉じたり(ピンチイン)します。

- ・ Webページなどで画面を拡大 / 縮小します。



ジェスチャー操作

本製品は画面をスワイプして、ホーム画面の表示やアプリの切り替えなどの操作を行います。

動作	操作
ホーム画面の表示	画面下端から上にスワイプ
1つ前の画面に戻る	画面右端 / 画面左端から画面中央へ向けてスワイプし、画面に《 》が表示されたら指を離す
アプリ使用履歴画面の表示	画面下端から上にスワイプし、指を止めた後離す
アシスタントアプリの起動*	画面右下 / 左下から画面中央へ向けてスワイプ
1つ前に使用していたアプリを表示	画面下端から右にスワイプ

* 初期状態ではこの機能は無効になっています。詳しくは、「ジェスチャー操作について設定する」(▶P.24)をご参照ください。

ジェスチャー操作について設定する

1 ホーム画面→「**アプリ一覧画面**」を表示→[設定]→[システム]→[ジェスチャー]→[システム ナビゲーション]

2 「ジェスチャー ナビゲーション」の「」をタップ

3	スワイプしてアシスタントを起動	画面右下 / 左下から画面中央へ向けてスワイプしてアシスタントアプリを起動するかどうかを設定します。
左の端	1つ前の画面に戻るジェスチャーについて、画面左端のジェスチャー感度を設定します。	
右の端	1つ前の画面に戻るジェスチャーについて、画面右端のジェスチャー感度を設定します。	

◎ アシスタント アプリとして起動するアプリは、「デフォルトのアプリ」(▶P.69)の「デジタル アシスタント アプリ」で設定することができます。

指紋認証機能を利用する

指紋認証機能について

■ 指紋認証利用時のご注意

指紋認証は、指紋画像の特徴情報を利用して認証を行います。指紋画像の特徴情報が少ないお客さまの場合は、指紋認証を利用できないことがあります。認証性能(指紋センサーを正しく指でタップした際に指紋が認証される性能)はお客さまの使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客さまの指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。

- ・ お風呂上がりなどで指がふやけている
- ・ 指が乾燥している
- ・ 指に汗や脂が多く、指紋の溝が埋まっている
- ・ 指が泥や油で汚れている
- ・ 指が汗などで濡れている
- ・ 手荒れや、指に損傷(切傷やたれなど)がある
- ・ 指の表面が磨耗して指紋が薄い
- ・ 太ったりやせたりして指紋が変化した
- ・ 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる

指紋認証技術は、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では、本製品を第三者に使用されたこと、または使用できなかったことによる生じる損害および逸失利益に関して、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時のご注意

- ・ ぶつかけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となる場合があります。また、センサー表面を引っかいたり、ボールペンやピンなど先の尖ったものでつついたりしないでください。
- ・ 指紋センサー表面にシールなどを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ・ ほこりや皮脂などの汚れが付着すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
- ・ 指を離すのが早すぎると、正常に認識できないことがあります。指紋が認証されたから、指を離してください。
- ・ 指紋センサーに指を触れたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離し、再度操作してください。

指紋を登録する

指紋認証に使う指の指紋を登録します。

- ・ 指紋は5件まで登録できます。

1 ホーム画面→「**アプリ一覧画面**」を表示→[設定]→[セキュリティ]→[指紋]

ホーム画面→「**アプリ一覧画面**」を表示→[設定]→[AQUOSトリック]→[指紋センサーとPayトリガー]→[指紋登録]と操作しても指紋を登録できます。

2 予備のロック解除方法 / 通知を設定

「画面ロック」(▶P.73)を「なし」/「スワイプ」以外に設定している場合は、設定している方法でロックを解除します。

3 [同意する]→[次へ]

4 指紋センサーに指の腹で触れる

指を指紋センサーに当て、振動したら離します。指紋の登録が完了するまで繰り返し行ってください。

5 [完了]

続けて別の指紋を登録する場合は、「別の指紋を登録」を選択してください。

◎「画面ロック」(▶P.73)を「なし」/「スワイプ」に設定すると、登録した指紋が削除されますので、ご注意ください。

指紋を管理する

指紋の追加や登録名の変更、削除ができます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[セキュリティ]→[指紋]

ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[AQUOSトリック]→[指紋センサーとPayトリガー]→[指紋登録]と操作しても指紋を管理できます。

2 ロックを解除

■ 指紋を追加登録する場合

3 [指紋を追加]→画面の指示に従って操作

指紋の登録について詳しくは、「指紋を登録する」(▶P.24)をご参照ください。

■ 登録した指紋の名前を変更する場合

3 登録済みの指紋を選択

4 名前を入力→[OK]

■ 登録した指紋を削除する場合

3 登録済みの指紋の[削除]

4 [削除]

指紋認証を行う

1 画面消灯中/ロック画面表示中/指紋認証画面表示中に、指紋センサーを指の腹で触れる

画面消灯中に操作すると、画面のロックが解除され、画面が点灯します。正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、再度操作してください。

顔認証機能を利用する

顔認証機能について

■ 顔認証利用時のご注意

顔認証は他のロック解除方法(パターン、PIN、パスワードなど)より安全性が低くなります。

認証性能(顔をインカメラに向けた際に顔が認証される性能)はお客さまの使用状況により異なります。

顔認証を最適な形で実現するために、顔の登録時に次の点にご確認ください。

- 明るい場所で顔を登録してください。ただし、逆光となる場所では顔を登録しないでください。
- 衣類、髪の毛、サングラス、マスクなどで顔を覆わないようにしてください。
- 顔を正面に向け、普通の表情で、顔全体を登録エリアの枠内に入れた状態で撮影し、顔を動かしたり、目を閉じたりしないようにしてください。

ロック画面で顔認証を行う際は、以下の点にご確認ください。

- 極端に暗い場所や明るい場所、逆光となる場所では、顔認証の成功率が下がります。
 - 衣類、髪の毛、サングラス、マスク*などで顔の全体、あるいは一部が覆われると、顔認証の成功率が下がります。
 - 顔の角度が大きすぎると、顔認証の成功率が下がります。
 - 自分に似た人や物でもロック解除されてしまう場合があります。
- *「マスクをしたままでも顔認証」が有効の場合、マスクを着用している顔で顔認証を行うことができます。

顔を登録する

顔認証に使う顔を登録します。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[セキュリティ]→[顔認証]

2 予備のロック解除方法/通知を設定

「画面ロック」(▶P.73)を「なし」/「スワイプ」以外に設定している場合は、設定している方法でロックを解除します。

3 [次へ]

「持ち上げると画面点灯する機能を有効にする」を有効にすると、「持つと画面点灯」(▶P.21)が有効になります。

4 内容を確認→[OK]

5 インカメラに顔を向ける

マスクを着用して顔を登録することはできません。顔の登録が完了すると手順6へ進みます。

6 [有効にする]/[スキップ]

「マスクをしたままでも顔認証」を有効にすると、マスクを着用している顔でも認証することができます。

7 [見るだけですぐ]/[画面の表示(時計や通知など)を見てから]→[OK]

顔を管理する

顔の削除や、顔認証のタイミングなどが設定できます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[セキュリティ]→[顔認証]

2 ロックを解除

顔データの削除/顔データの登録	登録した顔を削除します。削除した場合は「顔データの登録」が表示され、タップすると顔の登録をすることができます。(▶P.25)
マスクをしたままでも顔認証	マスクを着用している顔でも認証するかどうかを設定します。
見るだけですぐ/画面の表示(時計や通知など)を見てから	ロック画面で顔認証を行うタイミングを設定します。

顔認証を行う

1 画面点灯時/ロック画面表示中に、インカメラに顔を向ける

正しく認証されない場合は、顔の角度や距離を変更してください。

AQUOS Homeを利用する

AQUOS Homeについて

AQUOS Homeは、ホーム画面(デスクトップシート/お気に入りトレイ)とアプリ一覧画面で構成されたホームアプリです。

ホーム画面のデスクトップシートにはアプリ/機能のショートカット/ウィジェットを登録できます。お気に入りトレイにはアプリ/機能のショートカットを登録したり、おすすめアプリを表示することができます。

アプリ一覧画面にはインストールされているアプリやおすすめアプリが表示されます。

■ AQUOS Homeの見かた

ホーム画面を上にはスワイプするとアプリ一覧画面に切り替わります。アプリ一覧画面を下にはスワイプすると、ホーム画面に切り替わります。



- ステータスバー
- ウィジェット
時計エモバーウィジェットでは、日付や時刻、天気とあわせて、コメントが表示されます。タップするとエモバーを起動できます。
- デスクトップシート
複数のページがある場合、左右にフリックするとページを切り替えることができます。
- フォルダ
フォルダをタップ→フォルダ名を選択すると、フォルダ名を変更できます。フォルダ名が未設定のときは、「名前を編集」をタップしてフォルダ名を設定できます。
フォルダをタップしてインジケータが表示されている場合は、左右にフリックするとページを切り替えることができます。
- お気に入りトレイ
お気に入りのアプリや機能のショートカットを登録して、すばやく起動させることができます。
- Google検索バー
Google™ 検索やGoogle Lens™を利用できます。
• Google 検索について詳しくは、「Google 検索を利用する」(▶P.54)をご参照ください。
- アプリ

- ⑧ **アプリを検索**
インストールされているアプリの検索などができます。
・「他のアプリを検索」をタップすると、Google Playで検索できます。
Google Playの利用方法について詳しくは、「Google Playを利用する」
(▶P.54)をご参照ください。
- ⑨ **おすすめアプリ**
本製品の使用状況などに応じて、おすすめのアプリを表示します。

ホーム画面を編集する

■ アプリ／ウィジェット／フォルダを移動する

- 1 ホーム画面／アプリ一覧画面→アプリ／ウィジェット／フォルダをロングタッチ**
- 2 移動する位置にドラッグして、指を離す**
各デスクトップシートの左右端までドラッグすると、ページを移動できます。また、最終ページの右端にドラッグすると、新しいページを追加できます。ホーム画面のアプリ／ウィジェット／フォルダを「削除」までドラッグするとホーム画面から削除できます。ホーム画面／アプリ一覧画面のアプリを「アンインストール」までドラッグするとアンインストールできます。

- ◎ ホーム画面のアプリを削除してもアプリはアンインストールされません。
- ◎ アプリ一覧画面のアプリをロングタッチして「ホーム画面に追加」までドラッグすると、ホーム画面にアプリを登録できます。

■ ウィジェットを登録する

- 1 ホーム画面の空いているスペースをロングタッチ→[ウィジェット]**
- 2 追加するウィジェットのアプリを選択→ウィジェットをロングタッチ**
ホーム画面が表示されます。
- 3 追加する位置にドラッグして、指を離す**

■ 機能のショートカットを利用する

- 1 ホーム画面／アプリ一覧画面→アプリをロングタッチして、指を離す**
- 2 機能のショートカットを選択**
利用できる機能のショートカットはアプリによって異なります。機能のショートカットをロングタッチ→移動する位置にドラッグして、指を離すとホーム画面に機能のショートカットを登録できます。

■ 壁紙を設定する

- 1 ホーム画面の空いているスペースをロングタッチ→[壁紙とスタイル]**
壁紙とスタイル設定画面が表示され、壁紙や本製品のテーマなどについて設定できます。詳しくは、「壁紙とスタイルの設定をする」(▶P.71)をご参照ください。
- 2 [画像を選択]**
- 3 表示された画像やアプリから壁紙を選択→画面の指示に従って操作**

- ◎ 「ホームフォトシャッフル」をONに設定すると、ホーム画面の壁紙がランダムで切り替わります。詳しくは、「ロック・ホームフォトシャッフルを設定する」(▶P.72)をご参照ください。

■ ホーム画面を設定する

- 1 ホーム画面の空いているスペースをロングタッチ→[ホームの設定]**
- | | |
|-------------------|--|
| ホーム画面グリッド | ホーム画面・アプリ一覧画面に表示するアプリアイコンの数を設定します。 |
| 通知ドット | 通知がある場合に、アプリアイコンの上に通知ドットを表示するかどうかなど、通知について設定します。
・詳しくは、「通知の設定をする」(▶P.69)をご参照ください。 |
| 通知ドットに件数表示 | 通知ドットを利用している場合に件数を表示するかどうかを設定します。 |
| ホーム画面にアプリのアイコンを追加 | 新しいアプリをダウンロードしたときにホーム画面にアプリアイコンを追加するかどうかを設定します。 |
| おすすめアプリを表示 | アプリ一覧画面、お気に入りトレイにおすすめアプリを表示するかどうかを設定します。
・お気に入りトレイに空いているスペースがある場合に表示されます。 |
| Google アプリの表示 | ホーム画面の左端のシートを右にスワイプしたときに、Googleアプリを表示するかどうかを設定します。 |
| Google検索の表示 | お気に入りトレイの下にGoogle検索バーを表示するかどうかを設定します。 |
| ホーム画面の回転を許可 | AQUOS Homeを横表示でも利用するかどうかを設定します。 |

AQUOSかんたんホームを利用する

AQUOSかんたんホームは、ホーム画面(デスクトップシート)とアプリ一覧画面で構成されたホームアプリです。アイコンが大きく表示されます。「アプリ」またはホーム画面の空いているスペースをロングタッチすると、壁紙の設定やウィジェットの追加、AQUOSかんたんホームの設定を行うことができます。



〈AQUOSかんたんホーム画面〉

■ AQUOSかんたんホームへ切り替える

- 1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]**
- 2 [ホーム切替]→[AQUOSかんたんホーム]**

- ◎ AQUOS Homeに戻すには、ホーム画面→[アプリ]→[設定]→[ホーム切替]→[AQUOS Home]と操作します。

■ 楽ともリンクに登録する

AQUOSかんたんホーム画面下部の①／②／③(楽ともリンク)に、よく連絡する相手を登録しておく、簡単な操作で電話をかけたり、EメールやSMSを作成したりすることができます。
・あらかじめ、登録する相手の電話番号とメールアドレスを連絡帳に登録しておいてください。
・登録後は、ボタンの下に登録した相手の名前が表示されるようになります。

- 1 ホーム画面→[①]／[②]／[③]→[はい]→登録する相手を選択→[次へ]**
- 2 アイコンを選択**
楽ともリンクに登録されます。
プリセットから選ぶ場合は、[プリセットから選ぶ]→アイコンを選択→[はい]と操作します。

■ アプリケーションを起動する

アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

- 1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→アプリケーションをタップ**

本製品の状態を知る

アイコンについて

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせするお知らせアイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

- お知らせアイコンやステータスアイコンが複数あり、表示範囲内に表示できない場合は が表示されます。

■ 主なお知らせアイコン

アイコン	概要
	時刻
	電池残量が約20%以下
	不在着信あり
	新着auメールあり
	新着+メッセージあり/新着SMSあり
	新着Gmailあり
	アラーム情報あり
	カレンダーの予定通知あり
	radiko+FMで番組を受信中
	発信中、着信中
	通話中
	保留中
	簡易留守録情報あり
	本体メモリの空き容量低下
	Bluetooth®ファイル受信リクエストあり
	データのアップロード/ダウンロード、送受信など ↑: データのアップロード・送信時 ↓: データのダウンロード・受信時
	利用可能なアップデートあり
	ソフトウェア更新情報あり
	「グローブモード」をONに設定中

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
	電池レベル状態 ◻~◻: 残量表示 ◻~◻: 約15%以下 • 充電中は電池マークに が重なって表示されます。 充電完了(電池残量100%表示)後も、AC100Vコンセントやパソコンに接続したままの状態では、 を表示し続けます。 • 電池マークの右に電池残量を%で表示することができます。(▶P.70)
	機内モードを有効に設定中
	電波の強さ(受信電界) ◻~◻: レベル表示 ◻: 圏外 • 接続中のネットワーク*1を示すアイコンが左に表示されます。 5G ◻: 5G使用可能 4G ◻: 4G使用可能*2 • 通信中は が重なって表示されます。 • SIMカード、eSIMの2種類をご使用の場合、それぞれのSIMに対して表示されます。左側がSIMカード、右側がeSIMに関する表示です。
	音声サービス利用不可能
	ローミング中
	マナーモード状態 🔇: マナーモード(パイプ) 🗑️: マナーモード(ミュート) • 🔇をステータスバーに表示するかどうかを設定できます。(▶P.70)
	「サイレントモード」をONに設定中
	ハンズフリーで通話中
	通話中のマイクを「ミュート」に設定中
	Wi-Fi®の電波の強さ ◻~◻: レベル表示 • 通信中は が重なって表示されます。
	Bluetooth®通信中
	位置情報をGPSで測定中
	Wi-Fi®テザリング利用中

*1 「5G」エリア外では「4G」のネットワークをご利用いただけます。

*2 「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況等に応じ、より混雑が少ない当社が判断したネットワークに接続します。

お知らせ/ステータスパネルを利用する

お知らせ/ステータスパネルでは、お知らせアイコンとステータスアイコンの確認や対応するアプリケーションの起動ができます。また、マナーモードや機内モードなどを設定できます。

■ お知らせパネルを表示する場合

1 ステータスバーを下にスライド

ホーム画面では、ステータスバー以外の位置から下にスライドしてもお知らせパネルを表示できます。



■ ステータスパネルを表示する場合

1 ステータスバーを2本の指で下にスライド

■ お知らせ/ステータスパネルの見かた



《お知らせパネル》

《ステータスパネル》

- 機能ボタン**
よく使う機能の設定を変更することができます。操作方法は機能によって異なります。
• ステータスパネルでは、左右にフリックすると、ページを切り替えることができます。
- お知らせ**
本製品の状態や通知の内容を確認できます。通知をタップすると対応するアプリケーションを起動できます。
• 通知を左右にフリックすると削除できます。ただし、通知によっては削除できない場合もあります。
• 表示範囲を上をスライドすると、隠れているお知らせを表示できます。
• 「」/「」をタップして詳細表示と簡易表示を切り替えられます。詳細表示では、表示されるメニューから直接メッセージの返信などを行うことができます。
• 通知をロングタッチすると、アプリの通知を設定できます。
- 管理**
通知について設定します。
• 詳しくは、「通知の設定をする」(▶P.69)をご参照ください。
- すべて消去**
通知をすべて消去します。ただし、通知によっては削除できない場合もあります。
- 明るさ調整バー**
バーを左右にスライドして明るさを設定します。
- 編集**
表示する機能ボタンを変更したり並べ替えたりできます。
- 設定**
本製品について、各種設定を行います。
• 詳しくは、「設定メニューを表示する」(▶P.68)をご参照ください。
- 電源メニュー**
電源メニューを表示します。
• 詳しくは、「電源を入れる/切る」(▶P.21)をご参照ください。

◎ 画面を上下にスライドすると、お知らせパネル/ステータスパネルを切り替われます。

◎ 通知を表示して実行中のアプリがある場合は、ステータスパネルの画面下部に「XX個のアプリが実行中です」が表示されます。タップして「停止」が表示されている場合は、選択したアプリを停止し、関連する通知を削除することができます。

■ 表示する機能ボタンを変更する

- 1 ステータスパネルを表示→[]
- 2 機能ボタンをロングタッチ→ドラッグして指を離す
機能ボタンを並べ替えます。
「タイトルを追加するには長押ししてドラッグ」より下にドラッグすると非表示に、上にドラッグするとお知らせ/ステータスパネルに表示できます。
- 3 []
編集が確定します。

■ マナーモードを設定する

公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定します。
設定できるモードは次の通りです。

バイブ	着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータが動作します。アラーム音、メディア音は設定されている音量で鳴ります。
ミュート	着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。アラーム音、メディア音は設定されている音量で鳴ります。
サイレントモード	特定の連絡先からの着信、設定した時間帯での通知動作などについて設定します。 ・詳しくは、「サイレントモードを設定する」(▶P.28)をご参照ください。

- 1 ステータスパネルを表示→[**マナーモード**]
タップするたびにマナーモードOFF/バイブ/ミュートが切り替わります。

- 簡易留守録設定が「マナーモード連動」に設定されている場合、マナーモードが設定されているときは簡易留守録が有効になり、簡易留守録の設定に従って動作します。
- マナーモードを設定すると、機能ボタンの表示が変更されます。
- []/[]を押して音量バーを表示させた後、「マナーOFF」/「バイブ」/「ミュート」をタップしてもマナーモードを設定できます。
・サイレントモードの設定を行う場合は[]→[設定]→[サイレントモード]と操作します。
- マナーモード中でもカメラのシャッター音や撮影開始/終了音は鳴動します。また、「バイブレーションとハプティクス」(▶P.70)の設定によっては、バイブレータが振動します。

■ サイレントモードを設定する

- 1 ステータスパネルを表示→[**マナーモード**]をロングタッチ
- 2 [**サイレントモード**]
「今すぐ ON にする」/「今すぐ OFF にする」をタップすると、設定した内容にかかわらずサイレントモードのON/OFFを切り替えられます。

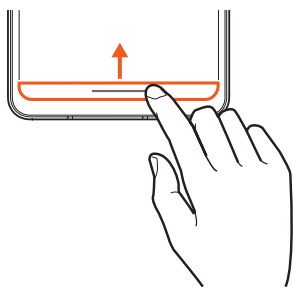
- 3

人物	着信やメッセージの通知を許可する連絡先を設定します。
アプリ	通知を許可するアプリを設定します。アプリの通知を許可していても、「人物」で設定した連絡先からの通知は届きます。
アラームとその他の割り込み	音を出す動作を設定します。
スケジュール	「サイレントモード」のON/OFFが自動的に切り替わるスケジュールを設定します。
クイック設定の持続時間	「サイレントモード」がOFFになるまでの時間を設定します。
通知の表示オプション	制限する通知の動作を設定します。

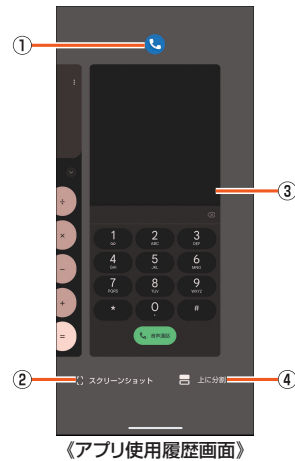
■ アプリ使用履歴を利用する

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。

- 1 画面下端から上にスワイプし、指を止めた後離す



■ アプリ使用履歴画面の見かた



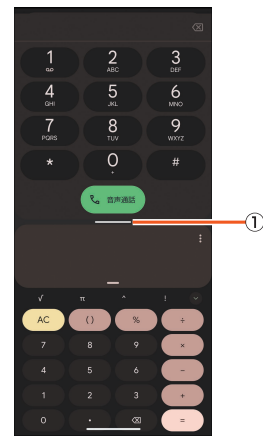
- 1 **アプリアイコン**
アプリ情報の確認と分割画面でのアプリ起動ができます。
- 2 **スクリーンショット**
表示しているアプリの使用履歴を画像として撮影できます。
- 3 **アプリの使用履歴**
アプリを起動できます。
・上にフリックすると使用履歴を削除できます。
・履歴を右にフリックし、「すべてクリア」をタップすると、アプリの使用履歴をすべて削除できます。
- 4 **上に分割**
表示しているアプリを分割画面で起動します。
・詳しくは、「2つのアプリを同時に表示する(分割画面)」(▶P.28)をご参照ください。

- アプリによっては履歴に表示されない場合があります。
- 上に分割について**
- 分割画面が利用できないアプリの履歴には表示されません。

■ 2つのアプリを同時に表示する(分割画面)

画面を上下に分割し、2つのアプリをそれぞれ操作することができます。

- 1 **アプリ使用履歴画面中央に、分割画面上部で利用するアプリを表示→[上に分割]**
アプリ使用履歴画面で、分割画面上部に表示するアプリのアイコンをタップ→[上に分割]でも同様に操作できます。
- 2 **アプリ使用履歴から分割画面下部に表示するアプリを起動**



- 1 **セパレータ**
上下にフリックして上下の画面サイズを変更することができます。
画面上端/下端までフリックすると、画面上部/下部のアプリが通常表示され、分割画面は終了します。
- 3 **表示されたアプリを利用**
- 4 **セパレータを画面上端/下端までフリック**
通常表示に戻ります。

- 利用するアプリによっては、分割画面表示に切り替わらない場合があります。
- 利用するアプリによっては、分割画面表示では利用できない機能などがあります。
- 分割画面表示中に画面下端から上にスワイプしてホーム画面を表示した場合は、アプリ使用履歴に分割画面の状態が表示されます。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ/機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。

- アプリ/機能によって、表示される確認画面の種類や内容は異なります。

例：+メッセージを起動した場合

1 アクセス権限の許可をリクエストする確認画面→[許可]/[許可しない]

通常は機能の利用を許可してください。
利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

■ 利用する機能について設定する

利用する機能について、次の手順で設定することもできます。

■ アプリごとに利用する機能を設定する

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[アプリ]

2 [XX 個のアプリをすべて表示]→アプリを選択→[権限]

3 機能を選択

4 許可するかどうかを選択

■ 機能ごとに利用するアプリを設定する

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[プライバシー]→[権限マネージャー]


2 機能を選択



3 アプリを選択

4 許可するかどうかを選択

- 許可をしないとアプリ/機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- アプリ/機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面に従って操作してください。
- 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

■ アクセスを確認する

カメラ・マイクへアプリがアクセスすると、ステータスバーに  が表示されます。

- お知らせ/ステータスパネルを表示して、「」/「」をタップするとカメラ・マイクへアクセスしているアプリの権限を設定できます。

共通の操作を覚える

縦横表示を切り替える


本製品の向きに合わせて、縦横表示を切り替えます。

例：縦(横)表示から左(右)に回転した場合




(横表示)

(縦表示)

- 本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。
- 縦横表示を切り替えるかどうかは、ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[ディスプレイ]→[画面の自動回転]で設定できます。
 - 「画面の自動回転」が無効に設定されていてもアプリケーションによっては、本製品が回転すると  が表示され、タップすると画面表示を本製品の向きに合わせて回転させることができます。
- アプリケーションによっては、本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

利用できるメニューを表示する

 などをタップすると、メニューを表示することができます。

例：ダイヤル画面で  をタップした場合



■ 各項目やデータのメニューについて

各項目やデータをロングタッチすると利用できるメニューが表示されます。


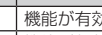
例：連絡先詳細画面で電話番号をロングタッチした場合



機能の有効/無効を切り替える

設定項目の横にチェックボックスやトグルスイッチが表示されているときは、チェックボックスやトグルスイッチをタップすることで機能の有効/無効を切り替えることができます。

また、データの選択移動や選択保存、選択削除などをする際は、チェックボックスをタップすることで項目の選択/選択解除を切り替えることができます。


アイコン例	説明
	機能が有効に設定されている状態です。
	機能が無効に設定されている状態です。

- 「壁紙とスタイル」で設定した本製品のテーマによっては、表示されるアイコンの形状や色などが異なる場合があります。詳しくは、「壁紙とスタイルの設定をする」(▶P.71)をご参照ください。

文字入力

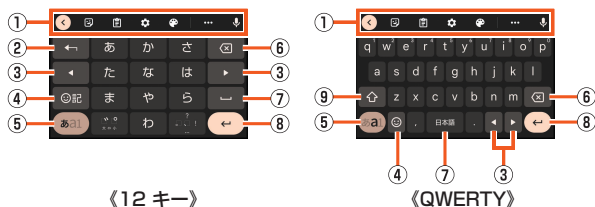
ソフトウェアキーボードを切り替える

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄を選択すると表示されます。

- 複数のソフトウェアキーボードをインストールしている場合は、文字入力時に画面下部のをタップして使用するソフトウェアキーボードを設定することができます。

Gboardを利用する

ここでは、「12キー」と「QWERTY」の基本的な操作について説明します。操作方法などは、Gboardのアップデートにより、本書の内容から変更されることがあります。



※各キーは設定や状況に応じて表示が切り替わります。

- ① ツールバー
クリップボードを利用したり、文字入力に関する設定などができます。
- ② 逆トグルキー／戻すキー
入力した文字から逆回しで文字を入力したり、直前に確定した文字を未確定状態に戻したりできます。
- ③ カーソルキー
カーソルを移動したり、変換する文字の区切りを変更したりできます。
- ④ 絵文字キー
絵文字や記号などを表示します。
- ⑤ 入力モード切替キー
入力モードを変更します。
- ⑥ 削除キー
文字を削除します。
- ⑦ スペースキー
スペースを入力します。
- ⑧ 確定キー／改行キー
入力中の文字の確定や、カーソル位置での改行を行います。
- ⑨ シフトキー
大文字／小文字を切り替えます。

電話・連絡帳

電話	32
電話をかける.....	32
電話を受ける.....	34
通話に関する設定をする.....	35
自分の電話番号を確認する.....	35
連絡帳	36
連絡帳に登録する.....	36
連絡帳の一覧を利用する.....	36
連絡帳の登録内容を利用する.....	36

電話

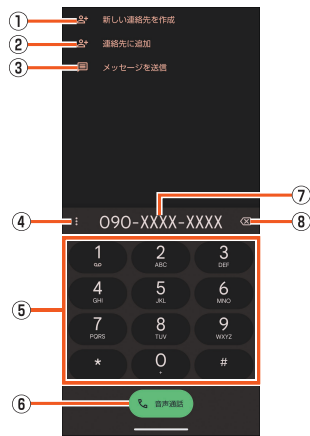
電話をかける

電話番号を入力して電話をかける

- 1 ホーム画面→[☎]→[☎]**
ダイヤル画面が表示されます。
- 2 電話番号を入力**
一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。
- 3 [音声通話]→通話**
通話中画面が表示されます。
通話中に[+] / [-] を押し、通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節できます。
- 4 [🔴]**
通話が終了します。

- お知らせパネルの通知に「通話中」と表示されている場合でも、相手の方が電話を受けていないことがあります。相手の方が受けていることを確認してからお話しください。
- 発信中/通話中に顔などによって近接センサーをおおうと、誤動作を防止するため画面が消灯します。
- 送話口(マイク)をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
- 「機内モード」を有効に設定中でも、緊急通報番号(110、119、118)へは電話をかけることができます。
- 通話中に他のアプリケーションを起動した場合に、通話中画面を表示したいときは、ステータスバーを下にスライドして「通話中」をタップしてください。

ダイヤル画面の見かた



《ダイヤル画面》

- 1 新しい連絡先を作成**
入力した電話番号を連絡帳に新規登録します。
- 2 連絡先に追加**
入力した電話番号を連絡帳に追加登録します。
- 3 メッセージを送信**
入力した電話番号を宛先にしてメッセージを作成します。
- 4 メニュー**
2秒間の停止や待機を追加できます。
- 5 キーボード**
- 6 音声通話**
電話をかけます。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力の際にタップすると最新の発信履歴が入力されます。
- 7 電話番号入力欄**
- 8 削除**
最後に入力した数字を1桁削除します。ロングタッチすると、すべての数字を削除します。
・電話番号入力欄を選択してカーソルを表示した場合は、カーソル左側の数字を1桁削除します。

- 入力した電話番号が連絡帳に登録されている番号と一致する場合は、連絡帳に登録されている名前が表示されます。「☎」をタップすると発信します。

緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

- 警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、VoLTE(LTEネットワーク)のみ利用できます。
- 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- 日本国内の緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客さまの現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- 緊急通報受理機関への緊急通報の際には、必ずお客さまの所在地をご確認の上、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
- 着信拒否を設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、着信拒否設定は自動的に約2時間解除されます。緊急通報後、次の操作で解除された着信拒否設定を元に戻すことができます。
ホーム画面→[☎]→[🔴]→[設定]→[ブロック中の電話番号]→[再度有効にする]

通話中画面の操作

・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

ミュート	相手の方にごちらの声が聞こえないようにするかどうかを設定します。タップするたびにミュート(🔴) / ミュート解除(🔵)が切り替わります。
キーボード	キーボードを表示します。プッシュ信号の送信ができます。
スピーカー	ハンズフリーで通話するかどうかを設定します。タップするたびにスピーカーON(🔊) / OFF(🔇)が切り替わります。 ・Bluetooth®機器と接続状態のときは接続機器の名称が表示され、タップすると音声の入力/出力先を設定できます。Bluetooth®機器との接続について詳しくは、「Bluetooth®機器と接続する」(▶P.65)をご参照ください。
電話	音声の入力/出力先を本製品に設定します。 ・ヘッドセットと接続状態のときに設定できます。ヘッドセットとの接続について詳しくは、「Bluetooth®機器と接続する」(▶P.65)をご参照ください。
通話を追加	通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。
統合	三者通話を行います。 ・詳しくは、「三者通話サービスを利用する(オプションサービス)」(▶P.80)をご参照ください。
管理	三者通話を行っている相手の方を確認します。
切り替え	通話の相手を切り替えます。 ・それまで通話していた相手との電話は保留になります。
保留	▶P.32「通話中に保留する」
🔴	通話音声メモ 通話中の相手の方の音声と自分の音声を録音します。 ・録音できるのは、1件あたり約60分間で、50件までです。本体メモリの空き容量が不足した場合、録音できない場合があります。50件を超えると古いものから順に削除されますが、すべて保護されている場合は録音できません。 ・録音した通話音声メモの再生について詳しくは、「簡易留守録/通話音声メモを再生する」(▶P.35)をご参照ください。 電話帳からトーン送信 連絡帳を参照してプッシュトーンを送信します。 通話履歴からトーン送信 通話履歴を参照してプッシュトーンを送信します。

- SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合、通話中画面に利用しているSIMが表示されます。

通話中に保留する

保留中は、通話先にガイダンスが流れます。

1 通話中画面→[保留]

保留が開始され、通話先にガイダンスが流れます。
保留中に再度「保留」をタップすると保留を解除します。

履歴を利用して電話をかける

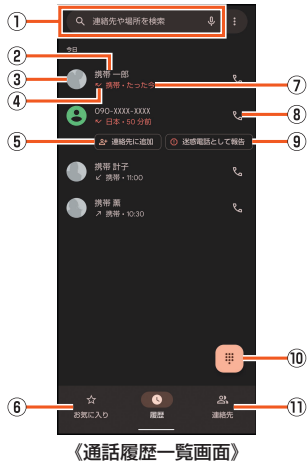
1 ホーム画面→[📞]→[履歴]

通話履歴一覧画面が表示されます。

2 電話をかける履歴の「📞」をタップ

◎ 通話履歴は最大500件まで保存され、500件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。

通話履歴一覧画面の見かた



《通話履歴一覧画面》

① 検索欄

連絡先や周辺のスポットを検索できます。

- 周辺のスポットについて詳しくは、「周辺のスポット」(▶P.35)をご参照ください。
- 「🔍」をタップすると、音声検索もできます。

② 電話番号／名前／非通知着信の理由

タップすると、連絡帳への登録やメッセージの送信、通話履歴の詳細の確認などを行うことができます。
ロングタッチすると、番号のコピーや番号を編集して発信することができます。

③ 連絡帳に登録している写真

タップすると連絡帳に登録している内容が表示されます。

④ 発信状態アイコン

- 📞: 発信
- 📞: 着信
- 📞: 不在着信／着信拒否

⑤ 連絡先に追加

⑥ お気に入り

タップするとお気に入り一覧画面を表示します。

⑦ 発信日時

⑧ 発信アイコン

タップすると発信します。

⑨ 迷惑電話として報告

タップすると着信をブロックすることができます。
• ブロックした電話番号は「ブロック中の電話番号」に追加されます。ブロックについて詳しくは、「着信拒否の設定をする」(▶P.35)をご参照ください。
• 設定後に電話番号を再度タップすると、ブロックを解除したり迷惑電話として識別しないように設定を変更することができます。

⑩ ダイヤルアイコン

タップするとダイヤル画面を表示します。

⑪ 連絡先

タップすると連絡先一覧画面を表示します。

◎ SIMカード／eSIMの2種類をご使用の場合、各履歴に使用したSIMが表示されます。

通話履歴一覧画面のメニューを利用する

1 通話履歴一覧画面→[☰]

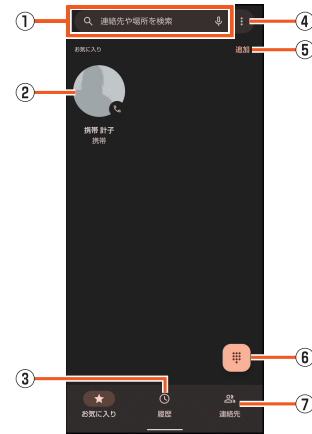
通話履歴	通話履歴の詳細画面を表示します。 • 通話履歴の全件削除や、不在着信の確認などを行うことができます。
設定	通話に関する設定をします。 • 詳しくは、「通話に関する設定をする」(▶P.35)をご参照ください。
ヘルプとフィードバック	「電話」アプリに関するヘルプを表示したり、フィードバックを送信します。

お気に入りを利用する

連絡帳でお気に入りに登録した連絡先を一覧表示して利用できます。

1 ホーム画面→[📞]→[お気に入り]

お気に入り一覧画面の見かた



《お気に入り一覧画面》

① 検索欄

連絡先や周辺のスポットを検索できます。

- 周辺のスポットについて詳しくは、「周辺のスポット」(▶P.35)をご参照ください。
- 「🔍」をタップすると、音声検索もできます。

② 連絡帳に登録している写真

タップすると発信します。

- ロングタッチするとメッセージの送信やお気に入りの登録解除、連絡帳に登録している内容の確認ができます。

③ 履歴

タップすると通話履歴一覧画面を表示します。

④ メニュー

通話履歴一覧画面と同じメニューが利用できます。
詳しくは、「通話履歴一覧画面のメニューを利用する」(▶P.33)をご参照ください。

⑤ 追加

連絡帳からお気に入りに登録する連絡先を追加できます。

⑥ ダイヤルアイコン

タップするとダイヤル画面を表示します。

⑦ 連絡先

タップすると連絡先一覧画面を表示します。

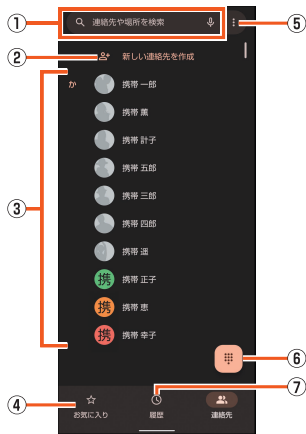
連絡先一覧を利用する

連絡先に登録した内容を確認できます。

1 ホーム画面→[📞]→[連絡先]

連絡先を選択して、電話番号欄をタップすると発信できます。

■ 連絡先一覧画面の見かた



《連絡先一覧画面》

① 検索欄

連絡先や周辺のスポットを検索できます。

- 周辺のスポットについて詳しくは、「周辺のスポット」(▶P.35)をご参照ください。
- 「🔍」をタップすると、音声検索もできます。

② 新しい連絡先を作成

③ 連絡先一覧

タップすると連絡先に登録している内容が表示されます。

④ お気に入り

タップするとお気に入り一覧画面を表示します。

⑤ メニュー

通話履歴一覧画面と同じメニューが利用できます。

詳しくは、「通話履歴一覧画面のメニューを利用する」(▶P.33)をご参照ください。

⑥ ダイヤルアイコン

タップするとダイヤル画面を表示します。

⑦ 履歴

タップすると通話履歴一覧画面を表示します。

au電話から海外へかける (au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 ホーム画面→[📞]→[📞]

2 国際アクセスコード「010」を入力

「0」をロングタッチすると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。

3 アメリカの国番号「1」を入力

4 市外局番「212」を入力

市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部例外もあります)。

5 相手の方の電話番号「123XXXX」を入力→[音声通話]

- au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
- ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
- 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
- ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
au電話から(局番なし) 157番(通話料無料)
一般電話から ☎ 0077-7-111(通話料無料)
受付時間 毎日9:00~20:00

電話を受ける

電話に出る

着信すると次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、ディスプレイに電話番号が表示されます。連絡先に登録されている場合は、名前と電話番号が表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、ディスプレイに理由が表示されます。「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」
※ 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

1 着信中に[📞]を上へスワイプ→通話

画面点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信があった場合は、「応答する」をタップします。

2 [📞]

通話が終了します。

○ 5G NET、5G NET for DATAをご契約いただけない場合、ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIM]と操作し、「モバイルデータ」※を無効にしてご利用ください。
※ SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合は、設定するSIMを選択してください。

○ かかってきた電話に出なかった場合はステータスバーに[📞]が表示されます。ステータスバーを下にスライドしてお知らせパネルを開くと、着信のあった電話番号、または連絡先に登録されている名前などが表示されます。

○ 着信音が鳴っているときに[📞(+)]/[📞(-)]を押すと、着信音を消音にしたり、バイブレータを停止することができます。

着信に簡易留守録で応答する

簡易留守録のメッセージで応答し、相手の方の伝言を録音します。

1 着信中に[📞]→[簡易留守録]

画面点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信があった場合は、画面上部の着信通知をタップ→[📞]→[簡易留守録]と操作します。

○ 簡易留守録を録音中に「受話音声」をタップすると、相手の方の音声のON/OFFを切り替えられます。

着信を拒否する

着信を拒否すると、かかってきた電話が切れます。相手の方には「おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせします。

1 着信中に[📞]を下へスワイプ

画面点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信があった場合は、「拒否する」をタップします。

着信を拒否してメッセージ(SMS)を送る

クイック返信すると、かかってきた電話が切れます。相手の方には「おかけになった電話をお呼びしましたが、お出になりません。」と音声ガイダンスでお知らせし、メッセージを送信します。

1 着信中に[返信]

画面点灯中(ロック画面表示中を除く)に着信があった場合は、画面上部の着信通知をタップ→[返信]と操作します。

2 送信するメッセージを選択

- 送信するメッセージで「カスタム返信を作成...」をタップすると、SMSを作成してメッセージを送ることができます。
- 送信するメッセージを、あらかじめ「通話に関する設定をする」(▶P.35)の「クイック返信」で編集することができます。
- 相手の方の電話番号が通知されない場合はクイック返信できません。また、通信環境によってはクイック返信できない場合があります。
- 送信するメッセージを選択するまでは、相手の方には呼出音が流れます。SMSを送信する前に簡易留守録が応答する場合があります。

通話に関する設定をする

1 ホーム画面→[📶]→[📱]→[設定]

2 発信情報 / 迷惑電話	連絡先を登録していない相手の名前や会社名を表示したり、迷惑電話をブロックしたりできます。
ダイヤル アシスト	渡航先から電話をかける際、国コードの候補を自動的に追加するかどうかを設定します。
ブロック中の電話番号	▶P.35「着信拒否の設定をする」
通話アカウント	▶P.35「通話の設定をする」
表示オプション	「電話」アプリのモードを設定します。
周辺のスポット	周辺のスポットの検索について設定します。 ・周辺のスポットの検索には位置情報へのアクセス許可が必要です。「位置情報権限が拒否されています」をタップして設定してください。
クイック返信	着信画面で送信するSMSのメッセージを編集します。 ・編集するメッセージを選択→メッセージを編集→[OK]と操作すると、メッセージを編集できます。
音とバイブレーション	本製品の音やバイブレータなどについて設定します。 ・詳しくは、「着信音とバイブレーションの設定をする」(▶P.70)をご参照ください。
留守番電話	留守番電話について設定します。
発信者番号の通知	着信時に発信者の電話番号を読み上げるかどうかを設定します。 ・連絡帳に登録されている場合は、登録されている名前を読み上げます。 ・ヘッドセットを使用している場合のみ読み上げるように設定することもできます。
ふせるだけでサイレントモード	着信音が鳴っているときに本製品のディスプレイ画面を下向きにしてふせるだけで、着信音を消音にしたり、バイブレータを停止させるかどうかを設定します。

通話の設定をする

1 ホーム画面→[📶]→[📱]→[設定]→[通話アカウント]

通話アカウント画面が表示されます。

2 通話アカウントを選択

3 着信転送	着信転送サービスについて設定します。 ・詳しくは、「着信転送サービスについて」(▶P.78)をご参照ください。
その他の設定	発信者番号 ▶P.78「発信番号表示サービスについて」 通話中着信 通話中に電話を受けるかどうかを設定します。
留守伝言再生	▶P.80「伝言・ボイスメールを聞く」

◎ SIMカード / eSIMの2種類をご使用の場合、通話アカウント画面→[発信先]と操作して、発信に使用するSIMを設定できます。

簡易留守録を利用する

簡易留守録を設定すると、お留守番サービスEXを契約していない場合でも、電話に応答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声を録音することができます。

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[簡易留守録]

ホーム画面→[📶]→[📱]→[設定]→[通話アカウント]→[簡易留守録]と操作しても簡易留守録を設定することができます。

2 [設定]→[簡易留守録設定]

3 [マナーモード連動] / [ON]

◎ 録音された簡易留守録がある場合は、ステータスバーに📞が表示されます。ステータスバーを下にスライドし、簡易留守録の通知をタップすると、簡易留守録リスト画面が表示され、録音された簡易留守録を確認できます。

◎ 録音できるのは、1件あたり約60分間で、50件までです。本体メモリの空き容量が不足した場合、録音できない場合があります。50件録音されている場合は、再生済みで保護されていない簡易留守録が、古いものから順に削除されます。すべて未再生または保護されている場合、簡易留守録で応答しません。

◎ 録音した簡易留守録の再生や削除について詳しくは、「簡易留守録 / 通話音声メモを再生する」(▶P.35)をご参照ください。

■ 空き容量を確認する

簡易留守録 / 通話音声メモの残り録音可能容量と件数を確認します。

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[簡易留守録]

2 [設定]→[空き容量確認]

■ 応答メッセージを確認する

簡易留守録で応答したときに流れるメッセージを確認します。

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[簡易留守録]

2 [設定]→[応答メッセージ確認]

項目をロングタッチ→[再生]と操作すると、メッセージを再生します。

■ 応答時間を設定する

簡易留守録で応答するまでの時間を設定します。

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[簡易留守録]

2 [設定]→[応答時間設定]

3 応答時間を設定→[設定]

■ 簡易留守録 / 通話音声メモを再生する

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[簡易留守録]

2 [簡易留守録] / [通話音声メモ]

簡易留守録リスト画面 / 通話音声メモリスト画面が表示されます。
・簡易留守録 / 通話音声メモをロングタッチすると件名の編集や音声ファイルのエクスポート、削除などができます。

3 再生する簡易留守録 / 通話音声メモを選択

簡易留守録 / 通話音声メモが再生されます。

■ 簡易留守録リスト画面の見かた



《簡易留守録リスト画面》

① シークバー

ドラッグすると再生位置を変更できます。

② 再生 / 一時停止

未再生の簡易留守録は🔊が表示されます。

保護された簡易留守録はアイコンが🔒に変更されます。

④ スピーカーON / OFF

⑤ 相手の方の名前 / 電話番号 / 非通知設定の着信

⑥ 簡易留守録が録音された日時

■ 着信拒否の設定をする

指定した電話番号からの着信 / SMSなどを拒否することができます。

1 ホーム画面→[📶]→[📱]→[設定]→[ブロック中の電話番号]

2 不明な発信者	不明な発信者からの着信をブロックするかどうかを設定します。
番号を追加	指定した電話番号からの着信とSMSを拒否します。 ・登録済みの電話番号の[×]→[ブロックを解除]と操作すると、登録済みの番号を解除できます。 ・+メッセージをブロックするには、+メッセージアプリで設定する必要があります。詳しくは「ブロックリストを設定する」(▶P.41)をご参照ください。

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]

「電話番号」の下部に自分の電話番号が表示されます。

連絡帳

連絡帳に登録する

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[連絡帳]→[連絡先]
- 2 [●]
「保存先」欄が表示されている場合は、「☑」をタップして登録するアカウントを選択してください。
- 3 必要な項目を入力
- 4 [保存]

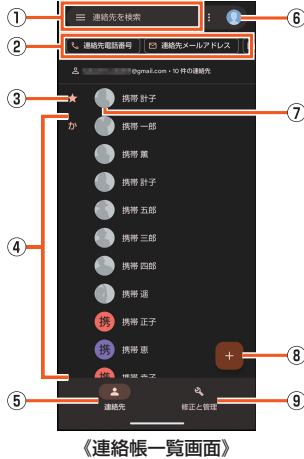
- 「その他の項目」をタップすると表示されていない入力項目が表示されます。
- 「✕」をタップすると入力中や入力済みの項目を削除できます。
- 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
- 項目によっては種別を変更できる場合があります。種別の右側に表示されている「▼」をタップして種別を選択してください。種別変更時に「カスタム」をタップすると、入力した文字列を種別として登録できます。
- 連絡帳に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および過失利益に関して、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

連絡帳の一覧を利用する

連絡帳一覧画面を表示する

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[連絡帳]→[連絡先]

■ 連絡帳一覧画面の見かた



《連絡帳一覧画面》

- 1 検索
連絡先を検索できます。
- 2 絞り込み機能
電話番号やメールアドレスが登録されている連絡先のみ表示したり、登録されている会社情報から連絡先を絞り込んで表示します。
- 3 お気に入り
お気に入りに登録した連絡先が表示されます。
- 4 登録されている連絡先
登録されている連絡先が表示されます。
- 5 連絡先
連絡帳一覧画面を表示します。
- 6 アカウント設定
連絡帳で利用するアカウントや「連絡帳」アプリについて設定できます。
- 7 写真
新しい連絡先を作成
- 8 新しい連絡先を作成
- 9 修正と管理
連絡先のインポート/エクスポートや着信拒否の設定、「連絡帳」アプリの設定などを行うことができます。
・着信拒否について詳しくは、「着信拒否の設定をする」(▶P.35)をご参照ください。

連絡帳を設定する

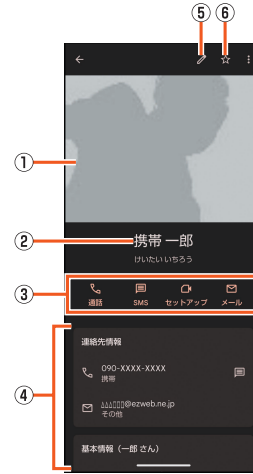
- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[連絡帳]→[修正と管理]→[設定]
- 2

Google コンタクトの同期設定	連絡先のバックアップと同期について設定します。
自分の情報	お客様の情報を入力します。
アカウント	アカウントの追加や確認、同期などを行います。 ・詳しくは、「アカウントを追加する」(▶P.74)をご参照ください。
モード	「連絡帳」アプリのモードを設定します。
新しい連絡先のデフォルト アカウント	連絡先を登録するアカウントを設定します。
よみがな	連絡帳の登録/編集時のよみがな欄について設定します。
変更を元に戻す	連絡先の登録内容を、指定した時点の状態に戻します。

連絡帳の登録内容を利用する

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[連絡帳]→[連絡先]→連絡先を選択

■ 連絡帳詳細画面の見かた



《連絡帳詳細画面》

- 1 写真
- 2 名前
- 3 アクションアイコン
登録内容に応じた機能を利用できます。
- 4 登録内容
登録内容を確認/利用できます。
- 5 連絡先を編集
- 6 お気に入り登録/解除

■ 連絡帳詳細画面のメニューを利用する

- 1 連絡帳詳細画面→[☰]

- 2 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

通話 SIM を設定*	発信に使用するSIMを設定できます。
削除	連絡先を削除します。
共有	Bluetooth®やメール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスにアップロードしたりできます。 ・共有する項目を選択→[続行]と操作すると、選択した項目のみ共有することができます。
ホーム画面に追加	連絡先をホーム画面に表示します。
着信音を設定	選択した連絡先から電話を受けたときの着信音を設定します。
別のアカウントに移動	連絡先を別のアカウントに移動します。
電話番号をブロック/複数の電話番号のブロックを解除	指定した電話番号からの着信とSMSを拒否します。 ・詳しくは、「着信拒否の設定をする」(▶P.35)をご参照ください。 ・【複数の電話番号のブロックを解除】→【ブロックを解除】と操作すると、拒否設定を解除できます。
ヘルプとフィードバック	「連絡帳」アプリに関するヘルプを表示したり、フィードバックを送信します。

※ SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合に表示されます。

○相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信音を設定」は動作しません。

メール

メール	38
メールについて	38
auメール	38
auメールのご利用にあたって	38
auメールを利用する	38
迷惑メールフィルターを設定する	38
UQ mobileメール	39
UQ mobileメールのご利用にあたって	39
迷惑メールフィルターを設定する	39
+メッセージ(SMS)	40
+メッセージのご利用にあたって	40
+メッセージのご利用方法を確認する.....	40
連絡先を登録する	40
公式アカウントを登録する	40
メッセージを送信する.....	40
グループを作る・グループに送信する	40
+メッセージを設定する	40
ブロックリストを設定する	41
Gmail	41
Gmailについて.....	41
Gmailを送信する.....	41
Gmailを受信する.....	41

メール

メールについて

本製品では、次のメールが利用できます。

■ auメール

auメールのアドレスを利用してメールを送受信できるauのサービスです(▶P.38)。

■ UQ mobileメール

UQ mobileメールをご利用のお客さまは、メールアプリとしてCosmoSiaを利用することができます(▶P.39)。

- ◎ アプリ表示名称は、「メール(CS)」です。
- ◎ UQ mobileのEメールサービスは、有料サービスにつき、別途お申し込みが必要です。詳細はUQ mobileお客さまセンターまたはUQ mobileホームページをご確認ください。

■ +メッセージ(SMS)

電話番号でメッセージのやりとりができるアプリです。auの電話番号宛だけでなく、国内他事業者にもメッセージを送信できます(▶P.40)。

■ Gmail

Googleが提供するメールサービスです。Gmailのアカウントだけでなく、PCメールのアカウントも設定できます(▶P.41)。

auメール

auメールのご利用にあたって

- auメールを利用するには、5G NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、au Style/auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- auメールサービスの詳細については、auホームページをご参照ください。<https://www.au.com/support/service/mobile/email/>
- 操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。

■ auメールの初期設定について

- 「auメール」アプリを利用するには、あらかじめ初期設定が必要です。初回起動時に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 初期設定を行うと自動的にauメールアドレスが決まります。初期設定時に決まったauメールアドレスは変更できます。
 - ・機種変更の場合は、今までお使いのauメールアドレスが表示されます。
- 初期設定は、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行くと、正しく設定されない場合があります。Wi-Fi®通信やVPN接続では初期設定ができません。
- 時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。「Eメールアドレスの設定中です。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。

- ◎ auメールの送受信には、データ量に応じて変わるデータ通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、auホームページをご参照ください。
- ◎ 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、auメールの送受信に時間がかかることがあります。

auメールを利用する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[auサービス]→[auメール]

auメールのトップ画面が表示されます。

■ auメールの利用方法を確認する

auメールの「アプリ操作ガイド」で利用方法を確認できます。

1 auメールのトップ画面→[≡]→[アプリ操作ガイド]

「auメール」アプリの操作説明がブラウザで表示されます。

2 確認する利用方法をタップ

「動画で確認する」で動画による説明も確認できます。

■ auメールアドレスを変更する

1 auメールのトップ画面→[≡]→[アドレス変更/迷惑メール設定]

確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 [メールアドレスの変更へ]→暗証番号を入力→[送信]

3 内容を確認→[承諾する]

4 auメールアドレスを入力→[送信]

「以前利用していたメールアドレスに戻す」が表示されている場合は「以前利用していたメールアドレスに戻す」→[送信]と操作してご希望のメールアドレスを選択してください。

5 [OK]→[閉じる]

■ auメールアドレスを確認する

1 auメールのトップ画面→[≡]→[Eメール情報]

Eメールアドレス欄にお客さまのauメールアドレスが表示されます。

- ◎ 「データセーバー」(▶P.68)設定中の場合、メールを受信するときは、auメールのトップ画面を下方向にスワイプしてください。
- ◎ auメールの利用方法確認には、データ通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、auホームページをご参照ください。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のメールを受信/拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるメールを拒否する機能があります。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[auサービス]→[auメール]→[≡]→[アドレス変更/迷惑メール設定]

確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

■ おすすめの設定にする場合

2 [オススメの設定はこちら]→[OK]

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルターの設定/確認へ]→暗証番号を入力→[送信]

迷惑メールフィルター画面が表示されます。

3	ヘルプ	迷惑メールフィルターの各種機能の説明を表示します。
	オススメ設定をする	とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
	受信リストに登録/アドレス帳受信設定をする	個別に指定したメールアドレスやドメイン、[@]より前の文字列を含むメールを優先受信します。 <ul style="list-style-type: none">・受信リストに登録したメールアドレス以外のメールをすべてブロックする場合は、「携帯/PHS以外からのメールを拒否する」で「設定する」に設定し、「携帯/PHS等の事業者毎に受信/拒否設定する場合はコチラの「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。 ※「必ず受信」を有効にすることにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。ただし、ご自身のauメールアドレスまたはその一部(@au.com/@ezweb.ne.jp)などを設定する場合は、「必ず受信」を無効にしてください。
	拒否リストに登録する	個別に指定したメールアドレスやドメイン、[@]より前の文字列を含むメールの受信を拒否します。
	携帯/PHS以外からのメールを拒否する	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯/PHS事業者ごとにメールを一括で受信/拒否します。
	その他の詳細設定をする	迷惑メールおまかせ規制 メールサーバーで受信したメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 なりすまし規制 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(低)の2つの設定を選択いただけます。 ※以前ご利用の携帯電話で(中)を設定されている場合も(高)(低)のみ選択可能です。 ※「受信リスト設定」の「必ず受信」を有効にして登録すると「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。 HTMLメール規制 メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 URLリンク規制 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 ウィルスメール規制 添付ファイルがウィルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。
	全ての設定を一括解除する	迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。

※ 最新の設定機能およびパソコンからの迷惑メールフィルター設定は、auのホームページでご確認ください。

- ◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- ◎ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。

UQ mobileメール

UQ mobileメールのご利用にあたって

- UQ mobileメールは有料サービスにつき、別途お申し込みが必要です。UQ mobileメールの詳細については、UQ mobileホームページをご参照ください。
<https://www.uqwimax.jp/mobile/plan/option/mail/>
- UQ mobileメールのご利用にはCosmoSiaアプリが必要です。Google Playからアプリケーションをダウンロードしてご利用ください。
- 操作方法や画面表示は予告なく変更される場合があります。

■ UQ mobileメールの初期設定について

- UQ mobileメールを利用するには、あらかじめCosmoSiaアプリの初期設定が必要です。
- 初期設定は、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行くと、正しく設定されない場合があります。Wi-Fi®通信では初期設定ができません。
- 操作中に確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 初期設定の詳細については、UQ mobileホームページをご参照ください。
<https://www.uqwimax.jp/mobile/support/guide/mail/>

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[メール(CS)]
サービス一覧画面が表示されます。

2 [UQ mobile メール]

3 デフォルトのSMSアプリを[メール(CS)]に変更
メール設定が完了するとメールアドレスが表示されます。
メールアドレスを変更することもできます。

- ◎メールの送受信には、データ量に応じて変わるデータ通信料がかかります。
- ◎添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、メールの送受信に時間がかかることがあります。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のメールを受信/拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるメールを拒否する機能があります。

**1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[メール(CS)]→[?]
→[メール設定画面]→[メールアドレス変更・迷惑メールフィルター・自動転送]**
確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

■ おすすめの設定にする場合

2 [オススメの設定はこちら]→[OK]
なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルターの設定/確認へ]→暗証番号を入力→[送信]
迷惑メールフィルター画面が表示されます。

3	ヘルプ	迷惑メールフィルターの各種機能の説明を表示します。
	オススメ設定をする	とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
	受信リストに登録する	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の文字列を含むメールを優先受信します。 ・受信リストに登録したメールアドレス以外のメールをすべてブロックする場合は、「携帯/PHS以外からのメールを拒否する」で「設定する」に設定し、「携帯/PHS等の事業者毎に受信/拒否設定する場合はコチラ」の「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。
	拒否リストに登録する	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の文字列を含むメールの受信を拒否します。
	携帯/PHS以外からのメールを拒否する	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯/PHS事業者ごとにメールを一括で受信/拒否します。

その他の詳細設定をする	迷惑メールおまかせ規制 メールサーバーで受信したメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 なりすまし規制 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(低)の2つの設定を選択いただけます。 HTMLメール規制 メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 URLリンク規制 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 ウイルスメール規制 添付ファイルがウイルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。
全ての設定を一括解除する	迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。

- ◎暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- ◎迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。

+メッセージ(SMS)

+メッセージのご利用にあたって

「+メッセージ(SMS)」アプリは、電話番号でメッセージのやりとりができるアプリです。

auの電話番号宛だけでなく、国内他事業者(NTTドコモ、ソフトバンクなど)にもメッセージが送れ、企業の公式アカウントとメッセージのやりとりができます。

初めて起動したときは許可画面や利用規約などの確認画面が表示されます。内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

+メッセージのモードについて

+メッセージは、相手は+メッセージを利用している場合、スタンプや写真、動画などのコンテンツを送ることができます。

相手が+メッセージを利用していない場合は、SMSとしてテキスト文のみを送ることができます。

+メッセージのご利用方法を確認する

1 ホーム画面→[🏠]

2 [マイページ]→[ヘルプ]

以下の内容をブラウザなどで確認できます。ご希望の操作説明をご確認ください。

- チュートリアルが表示
 - よくあるご質問
 - 使い方ガイド
- ※なるホーの使い方練習(下記QRコードにアクセスすると、基本的な使い方を実際に体験できます。)



連絡先を登録する

QRコードによる連絡先登録をする

+メッセージ利用者同士であれば、+メッセージ専用QRコードを読み込むことで、連絡先として登録できます。

1 ホーム画面→[🏠]

2 [連絡先]→[+]→[QRコードで追加]

◎専用のQRコードを表示するには、ホーム画面→[🏠]→[マイページ]→[QRコード]と操作します。

新しい連絡先を登録する

1 ホーム画面→[🏠]

2 [連絡先]→[+]→[新しい連絡先]

連絡帳の連絡先新規登録画面が表示されます。新規連絡先を登録できます。

公式アカウントを登録する

1 ホーム画面→[🏠]

2 [連絡先]→[公式アカウントを探す]→[ホーム]／[カテゴリ]

ホーム画面→[🏠]→[公式アカウント]→[ホーム]／[カテゴリ]と操作しても公式アカウントを登録できます。

おすすめやカテゴリごとに分けられた公式アカウントが表示されます。登録した公式アカウントは「利用中」に表示されます。

メッセージを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字のメッセージ(メール本文)に加え、スタンプや写真、動画などのコンテンツを送信できます。

1 ホーム画面→[🏠]

[連絡先]をタップすると、連絡先一覧画面が表示されます。
[メッセージ]をタップすると、メッセージ一覧画面が表示されます。

2 [メッセージ]→[+]→[新しいメッセージ]

メッセージの作成画面が表示されます。
同じ相手にメッセージを送信するときは、メッセージ一覧画面で相手を選択してもメッセージを作成できます。

3 連絡先一覧から相手先を選択

- 「名前や電話番号を入力」欄に、名前を入力すると連絡先一覧から相手先を検索できます。
- 「名前や電話番号を入力」欄に、相手先電話番号を直接入力することもできます。
- SMSを海外に送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。

[010]+「国番号」+「相手先電話番号」

※相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。

4 「メッセージを入力」欄に本文を入力

- 本文は、相手先が+メッセージを利用している場合、2,730文字相当まで入力できます。
- SMSモード利用の場合、全角最大670／半角最大1,530文字まで入力できます。

5 [📧]

メッセージが送信されます。
送信したメッセージをロングタッチするとコピーや転送、削除ができます。

グループを作る・グループに送信する

1 ホーム画面→[🏠]

2 [メッセージ]→[+]→[新しいグループメッセージ]

宛先の選択画面が表示されます。

3 連絡先一覧から相手先を選択

- 「名前や電話番号を入力」欄に、名前を入力すると連絡先一覧から相手先を検索できます。
 - 「名前や電話番号を入力」欄に、相手先電話番号を直接入力することもできます。
- ※グループは100人まで選択できます。

4 [OK]

5 「グループ名(入力スキップ可)」欄に任意の名称を入力

[📷]をタップしてグループのプロフィール写真を設定することもできます。

6 [OK]

7 メッセージを入力し、送信

メッセージの送信方法について詳しくは、「メッセージを送信する」(▶P.40)をご参照ください。

+メッセージを設定する

1 ホーム画面→[🏠]

2 [マイページ]→[設定]

+メッセージの設定メニューが表示されます。

3	メッセージ	バックアップや連絡先未登録者フィルタリングなどの設定を行うことができます。
	公式アカウント	公式アカウントの通知音設定を行うことができます。
	写真や動画	写真や動画のダウンロード設定、サイズ設定などを行うことができます。
	テーマカラー・背景	テーマカラーや背景設定を行うことができます。
	通知	メッセージ着信時の通知関連の設定を行うことができます。
	プライバシー	パスワード、ブロックリストなどの設定を行うことができます。
	その他	ユーザー情報引き継ぎ設定、初期化などの設定を行うことができます。

ブロックリストを設定する

相手とのやりとりをブロックすることができます。ブロック/ブロック解除の設定ができます。

- 1 ホーム画面→[📍]
- 2 [マイページ]→[設定]→[プライバシー]→[ブロックリスト]
- 3 [ブロックリスト編集]
- 4 [⊕]
ブロックしたい相手を以下の方法から選択します。
 - ・「名前や電話番号を入力」欄にブロックしたい電話番号を入力し、電話番号を選択します。
 - ・「名前や電話番号を入力」欄にブロックしたい相手の名前を入力し、連絡先を選択します。
 - ・連絡先一覧に表示されている連絡先からブロックしたい相手を選択します。

公式アカウントとのやりとりをブロックする

- 1 ホーム画面→[📍]
- 2 [メッセージ]
ブロックしたい公式アカウントを選択します。
- 3 公式アカウントのメッセージ画面→[☰]
- 4 [ブロック]

© 公式アカウントをブロックすると、同時に利用を停止されます。また「利用中」から削除されます。

Gmail

Gmailについて

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailとPCメールの確認・送受信などができます。

- ・ Gmailの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「初期設定を行う」(▶P.22)をご参照ください。
- ・ Gmailの連絡先は、本体メモリ内の連絡帳と同期することができます。
- ・ 利用方法などの詳細については、Googleのサイトや、メイン画面→[☰]→[ヘルプとフィードバック]と操作してヘルプをご参照ください。
- ・ PCメールをご利用になるには、Gmailの画面からPCメールのアカウントを設定します。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Google]→[Gmail]
アカウントを登録している場合は、メイン画面が表示されます。初回起動時にアプリについての説明画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

Gmailを送信する

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Google]→[Gmail]
- 2 [作成]→宛先を入力
宛先入力欄に宛先や連絡先の名前を入力すると、連絡帳などから自動的に検索して宛先の候補を表示します。宛先の候補を選択すると宛先に設定されます。宛先設定後、続けて宛先を入力して追加することもできます。
- 3 件名を入力
- 4 本文を入力
- 5 [➤]

Gmailを受信する

- 1 Gmailを受信
Gmailを受信するとステータスバーに✉が表示され、メール受信音が鳴ります。
- 2 ステータスバーを下にスライド
- 3 受信したGmailの通知をタップ

インターネット

インターネット.....	44
インターネットに接続する.....	44
Google Chrome™.....	44
Google Chromeを利用する.....	44

インターネット

インターネットに接続する

データ通信または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。

◎ 5G NETまたは5G NET for DATAに加入していない場合は、データ通信を利用することができません。

データ通信を利用する

本製品は、「5G NET」や「5G NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してデータ通信を行うことができます。本製品にはあらかじめ5G NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。

5G NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「設定」→「ネットワークとインターネット」→「SIM」→「アクセス ポイント名」※→「5G NET for DATA」と操作してください。

※ SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合は、設定するSIMを選択してください。

◎ 5G NET、5G NET for DATA、データ通信料定額/割引サービスについての最新情報は、auのホームページをご参照ください。

データ通信ご利用上のご注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとデータ通信料が高額となるため、データ通信料定額/割引サービスの加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

ご利用データ通信料のご確認方法について

ご利用データ通信料は、次のURLでご照会いただけます。

<https://www.au.com/support/>

Google Chrome™

Google Chromeを利用する

Webページを表示する

ChromeのブックマークはGoogleアカウントでログインすることで、ブックマークを引き継ぐことができます。詳しくは、「初期設定を行う」(▶P.22)をご参照ください。

1 ホーム画面→[🏠]

Chrome画面が表示されます。

初回起動時は利用規約やログイン画面などが表示されます。内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

- 「🏠」をタップするとChromeのトップページが表示されます。「🏠」をロングタッチ→「ホームページを編集」と操作すると、Chromeのトップページについて設定できます。

◎ 非常に大きなWebページをChromeで表示した場合は、アプリケーションが自動的に終了することがあります。

URL表示欄を利用する

Chrome画面の上部に表示されるURL表示欄にキーワードを入力して、ウェブサイトの情報を検索できます。また、URLを直接入力してサイトを表示できます。

1 ホーム画面→[🏠]→URL表示欄を選択

2 キーワード/URLを入力

入力した文字を含む検索候補などがURL表示欄の下に一覧表示されます。URL表示欄にテキストが入力されていないときに「👉」をタップするとGoogle 音声検索™が利用できます。送話口(マイク)に向かってキーワードを話してください。

3 一覧表示から項目を選択/[👉]

検索結果が表示されます。

◎ Chrome画面→[🏠]→「設定」→「検索エンジン」と操作すると、キーワード入力時の検索エンジンを変更できます。

Chrome画面のメニューを利用する

1 ホーム画面→[🏠]→[☰]

2 • メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

👉	1つ先のページへ進みます。 • 進むWebページがある場合に操作できます。
☆/★	表示中のページをブックマークに保存/編集できます。
📄	表示中のページをダウンロードします。
📄	Webページの情報が表示されます。
🔄/✕	表示中のページの再読み込み/読み込み中止を行います。
新しいタブ	新しいタブを表示します。
新しいシークレットタブ	新しいシークレットタブを表示します。
履歴	▶P.44「履歴を利用する」
ダウンロード	ダウンロードしたページや画像などの一覧を表示します。
ブックマーク	▶P.44「ブックマークを利用する」
最近使ったタブ	同じGoogleアカウントを登録したデバイスで使用した履歴を利用できます。
共有...	表示しているページのURLをメールやBluetooth®などで送信できます。
ページ内検索	表示しているページ内でテキストを検索します。
翻訳...	表示中のページを選択した言語に翻訳します。
ホーム画面に追加	表示しているページを表示するショートカットをホーム画面に作成します。
PC版サイト	PC版のページを表示するかどうかを設定します。
設定	Chromeの各項目を設定します。
ヘルプとフィードバック	Chromeのヘルプを表示したり、フィードバックを送信します。

◎ リンクや画像をロングタッチすると、ダウンロードやコピーなどの操作が行えます。

ブックマーク/履歴を利用する

ブックマークを利用する

1 ホーム画面→[🏠]→[☰]→[ブックマーク]

2 ブックマークを選択

- ブックマークフォルダをロングタッチすると、ブックマークフォルダの編集や削除などができます。
- ブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集や削除などができます。

履歴を利用する

1 ホーム画面→[🏠]→[☰]→[履歴]

2 履歴を選択

- 「🔍」をタップすると履歴から検索できます。
- 「✕」をタップすると履歴を削除できます。
- 「閲覧履歴データを削除...」をタップすると履歴やキャッシュなどを削除できます。

アプリケーション

アプリケーション一覧.....	46
カメラ.....	47
カメラをご利用になる前に.....	47
静止画／動画を撮影する.....	48
カメラを設定する.....	49
フォト.....	50
フォトを利用する.....	50
radiko+FM.....	52
radiko+FMを利用する.....	52
NFC／おサイフケータイ®.....	52
おサイフケータイ®とは.....	52
FeliCa®に対応したサービスを利用する.....	53
My au.....	53
My auを利用する.....	53
My UQ mobile.....	53
My UQ mobileを設定する.....	53
あんしんフィルター for au.....	53
あんしんフィルター for auを利用する.....	53
Android アプリ.....	54
Google Playを利用する.....	54
アプリケーションを管理する.....	54
モバイルライト.....	54
モバイルライトを利用する.....	54
スクリーンショット.....	54
スクリーンショットを撮影する.....	54
画面を録画する.....	54
Google 検索.....	54
Google 検索を利用する.....	54
カレンダー.....	55
カレンダーを表示する.....	55
予定を新規登録する.....	55
カレンダー画面のメニューを利用する.....	55
時計.....	55
時計を利用する.....	55
からだメイト.....	56
からだメイトを利用する.....	56
電卓.....	57
電卓で計算する.....	57
エモパー.....	57
エモパーを設定する.....	57
ゲーミングメニュー.....	58
ゲーミングメニューを利用する.....	58

アプリケーション一覧

アプリケーションを名前順(数字/アルファベット→五十音順)に記載しています。

アプリケーション	概要
Amazon ショッピング	Amazonショッピングアプリは、「探す」「比べる」「買う」「受け取る」を簡単、便利にする機能で、お客様のお買い物をサポートします。
Apple Music	9,000万曲以上聴き放題。au・UQ mobileからApple Musicにご加入で6カ月間無料。
au 5G チャンネル	「au 5Gチャンネル」はドラマ・アニメ・映画、音楽などのエンタメ情報や生活に根差したお役立ち情報、かわいいう動物達の癒し動画や話題のおもしろ動画など、様々なトレンド動画を情報料無料で楽しみたいだけできます。 また、5Gマップにてお客さまの生活圏が5Gエリアかどうかを確認でき、5Gエリア化された際にお知らせする機能もご利用いただけます。
au PAY	au PAY コード支払い、au PAY プリペイドカード、au PAY カードをより便利に使いこなすためのアプリです。 au PAY決済のご利用、au PAY カード情報確認、au PAY 残高へのチャージ、チャージ残高、保有ポイント数、利用履歴、使えるお店・ポイントアップ店の確認などを、スマートフォンに最適化した画面でご利用いただけます。
au PAY マーケット	商品点数4,000万品以上の多種多様な品揃え。Pontaポイントがすんごくたまっただけつかえる「au PAY マーケット」は、au公式の総合ショッピングサイトです。
au Wi-Fiアクセス	カフェなどにある全てのauのWi-Fiスポットについて、位置情報対応マップでのご案内と自動接続を提供します。 auスマートパスプレミアムご登録の場合、フリーWi-Fi®も安心して使えるVPN機能もご利用いただけます。
auじぶん銀行	スマートフォンならではのタッチパネル操作で、快適にお取引いただけます。
auスマートパス	「auスマートパスプレミアム」/「auスマートパス」を最大限活用するためのアプリです。 おトクで、楽しく、あんしんなスマホライフを提供します。
auセルフケア	お客さまの端末における設定状態の確認や設定の変更を支援するアプリです。
auメール	auメールのアドレスを利用してメールを送受信できます。(▶P.38)
Chrome	Google Chromeを利用して、Webページを閲覧できます。(▶P.44)
Facebook	友達や家族などの親しい人々や、同じ興味・関心を持つ人々とのコミュニティとつながることができる無料の「实名制」コミュニケーションアプリです。
Files	本体メモリやmicroSDメモ리카ードの画像・動画・音声・ダウンロードしたデータなどのコンテンツを管理することができるアプリです。(▶P.61)
Gmail	GmailやGmail以外のPCメールを利用できます。(▶P.41)
Google	ウェブサイトの情報を検索できます。(▶P.54)
Google One	Google ドライブ™、Gmail、Google フォト™の共通ストレージの管理や設定などを行うことができます。
Google Pay	Googleの支払いサービスを利用できます。
Google TV	映画をレンタルしたり、視聴したりすることができます。
Home	Google Home™は、さまざまな対応スマートホームデバイス(照明、カメラ、サーモスタットなど)の設定や管理、操作をすることができます。
Instagram	写真や動画などのビジュアルを通して、友達や家族などの親しい人々やお気に入りのクリエイター、同じ興味・関心を持つ世界中の人たちとつながることができる無料のアプリです。
Meet	ビデオ通話やオンライン会議を行うことができるアプリです。
Messenger	家族や友達、知り合いと、いつでも、どこでも、どんなデバイスからでもメッセージをカスタマイズして自分の気持ちを表現したり、コンテンツやその瞬間の体験を相手とシェアできるアプリです。
My AQUOS	AQUOSスマートフォン/タブレットを使いこなすための各種情報やコンテンツを紹介するアプリです。
My au	毎月のご請求額や、データ通信量(ギガ)、ご契約情報、ポイントなどが簡単に確認できるアプリです。各種お手続き、お問い合わせもスムーズに行えます。(▶P.53)
My UQ mobile	データ残量(ギガ)や月々のご請求額が確認できるUQ mobileご契約者様専用アプリです。データ消費せずに通信できる節約モードへの切り替えもワンタッチです。
Netflix	世界最大級の動画配信サービス。各種受賞作を含む幅広いジャンルの作品や、Netflixでしか観られないオリジナル作品が完全見放題！

アプリケーション	概要
Photoshop Express	すばやくパワフルかつ簡単に写真を編集したりカラー校正を作成したりできる無料のモバイルアプリです。
Play ストア	Google Playからアプリケーションをダウンロード・インストールして利用できます。(▶P.54)
Podcasts	世界中のポッドキャストを検索して再生できるポッドキャストプレイヤーです。
Prime Video	映画、TV番組、アニメ、おすすめのタイトルを視聴しましょう。Amazon限定配信オリジナル作品や、世界のオリジナル作品を配信しています。 © Copyright 2023 Amazon.com and its affiliates.
radiko+FM	インターネット経由で今いるエリアで放送しているラジオ番組を聴くことができるアプリです。 また、インターネットラジオからアナログFMラジオに切り替えることもできます。(▶P.52)
Smart home HUB*1	Smart home HUBを利用すると、スマートフォンで家の中や外出先からシャープ製のスマート家電を簡単に操作することができます。
TELASA	テレビ朝の人気番組をはじめとする、ドラマ、バラエティ、アニメ、映画、特撮に加え、ドキュメンタリー、海外ドラマ、韓国ドラマ&音楽番組・タイドラマ&バラエティなど、豊富なラインナップをお届けします。
TikTok	TikTokは、世界中の動画を楽しめるショートムービープラットフォームです。おもしろ動画、グルメ、癒されペット、ためになる動画など豊富なジャンル、自分の好きな動画がさっと見つかります。
YouTube	YouTube™を利用できます。
YT Music*2	音楽を再生します。
アシスタント	Google アシスタントを利用して、用事を管理したり調べ物をしたりできます。
あんしんフィルター for au	お子さまがスマートフォン/タブレットなどを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。(▶P.53)
ウイルスブロック	不正なアプリのインストールを防止したり、不適切なサイトへのアクセスをブロックしたりできるアプリです。
エモバー	あらかじめ登録したお客さまの情報やお客さまの日常の行動に基づき、エモバーはロック画面やエモバーアプリ画面でさまざまな情報を設定に基づいてお伝えします。(▶P.57)
遠隔操作サポート	「スマートフォン/タブレット」などの操作で困ったとき、お客さまの端末の画面を共有し、お客さまの操作をサポートするアプリです。
おサイフケータイ	おサイフケータイ®対応サービスを利用できます。(▶P.52)
カメラ	静止画/動画を撮影するカメラアプリです。(▶P.47)
からだメイト	からだメイトを利用できます。(▶P.56)
カレンダー	カレンダーを利用できます。(▶P.55)
簡易留守録	簡易留守録/通話音声メモの確認や、設定を行います。(▶P.35)
緊急情報	緊急事態の共有を使ってリアルタイムの位置情報を共有したり、定期的に安全確認ができます。
サービスToday	ニュース、天気、乗換案内などももちろん、プレゼントやクーポン、スマートフォンを楽しむためのおトクで便利な情報をお届け。
設定	設定メニューから各種機能を設定、管理します。(▶P.68)
使い方サポート	【お困りごと解決のサポート】 スマートフォンの初期設定やデータ移行、スマートフォンにまつわる様々な機器のお困りごとを解決します。コールセンターへのお電話やメッセージでのお問い合わせ、電話でのご予約もかんたんに行えます。 【お知らせ通知】 お客さまにぴったりな各種情報をお知らせ機能から随時ご提供します。 【かんたん診断機能】 タップ一つで気軽にスマートフォンの健康診断ができます。(▶P.88) 【ネットワークスピードチェック】 現在使用しているWi-Fi®やモバイルデータ通信の通信速度が遅いと感じたとき、ネットワークのスピードをチェックし、改善につながる方法をご提案します。
データお引っ越し	機種変更時などに写真やアドレス帳などのデータの移行を行うアプリです。
デジラアプリ	データ容量の残量が分かる、データ容量がなくなったらデータチャージ(データ容量の購入)が簡単にできるアプリです。
電卓	電卓を利用できます。(▶P.57)
電話	電話をかけたり、履歴を確認できます。(▶P.32)
時計	アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチ、おやすみ時間モードを利用できます。(▶P.55)
ドライブ	ファイルをGoogle ドライブに保存したり、共有したりすることができます。
取扱説明書	本製品の詳しい操作・設定方法をWebページ上でかんたんに閲覧することができます。

アプリケーション	概要
ニュース	Google ニュース™は、あなたの関心に合わせて、世界中の出来事を整理してお届けするスマートなニュースアプリです。
フォト	静止画や動画を表示・編集したり、Googleのオンラインストレージにバックアップすることができます。(▶P.50)
+メッセージ (SMS)	電話番号でメッセージのやりとりをしたり、写真や動画などのコンテンツを送信したりできるアプリです。(▶P.40)
マップ	Google マップ™を利用して、現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。
迷惑メッセージ・電話ブロック	迷惑SMS・電話からお客さまを守るサービスです。架空請求などの迷惑SMSや迷惑電話を自動検知し、スマートフォンの画面に警告画面を表示したり、迷惑メッセージフォルダに自動振り分けをします。また、公共施設や企業などからの着信時には、アドレス帳になくても発信元を自動表示します。
メッセージ	電話番号を宛先としてSMSを送受信できます。
レンズ	Google Lensでかざした対象物について調べたりQRコードを読み取ることができます。また、選択した写真から調べることができます。
連絡帳	連絡帳に連絡先を登録したり、登録内容を利用できます。(▶P.36)

- ※1 Smart home HUBについて詳しくは、次のサイトをご確認ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/smarthomehub/pdf/smarthomehub.pdf>
- ※2 本製品はハイレゾオーディオの再生に対応しています。ハイレゾ音源を再生するには、ハイレゾに対応した市販のヘッドセットやスピーカーが必要です(イヤホンマイク端子からの出力に対応しています)。

- ◎ 本製品はQualcomm® aptX™ HD audioおよびQualcomm® aptX™ Adaptive Audio、LDAC™に対応しています。
- ◎ ご利用のSIMカードによって、表示されるアプリケーションが異なる場合があります。
- ◎ アプリケーションアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
- ◎ アプリケーションのバージョンアップなどによって、本製品に搭載されるアプリケーションやアイコンなどのデザインが本書の記載と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ◎ 表に記載のアプリケーション以外にも、機種変更前にご利用・ご契約いただいたアプリケーションがアプリ一覧に表示される場合があります。

カメラ

カメラをご利用になる前に

- ・レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- ・カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- ・レンズ部に直射日光等の強い光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して静止画／動画が変色することがあります。
- ・本製品を暖かい場所に長時間置いた後に静止画／動画を撮影したり、保存したりすると、静止画／動画が劣化することがあります。
- ・太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようすると、静止画／動画が暗くなったり、静止画／動画が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- ・次の場合は、カメラを使用できないことがあります。
 - ・長時間の使用により本体の温度が上昇した場合
 - ・冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合
 - ・他のアプリケーションを起動している場合
- ・電池残量が少ない場合は、動画を撮影できません。カメラを使用する場合は事前に十分な充電を行ってください。
- ・カメラ起動時など、カメラ動作中に微かな音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で、異常ではありません。
- ・本製品のカメラで撮影した静止画／動画は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線のあたり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりする場合があります。また、被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・撮影時にはレンズ部やモバイルライトに指や髪などがかからないようにご注意ください。
- ・蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー(人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき)を感知してしまい、画面に薄いしま模様が出る場合がありますが、故障ではありません。
- ・室内で撮影すると画面が黄色くなる場合があります。そのときは、ホワイトバランスの設定を変更して撮影すると改善されます。
- ・白熱電球下などで撮影すると画面が赤くなる場合があります。そのときは、ホワイトバランスの設定を変更して撮影すると改善されます。
- ・お客さまが本製品のカメラ機能を利用して公衆に善しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- ・マナーモード設定中でも静止画撮影のシャッター音や動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。音量は変更できません。
- ・モバイルライトを点灯して撮影したときに、レンズ周辺に指やカバーなどがあるとモバイルライトの光が反射して、撮影した写真や動画が白っぽくなる場合があります。
- ・動画を撮影する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、撮影時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- ・不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- ・被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、静止画がぶれる原因となります。
- ・カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- ・次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - ・無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - ・強い逆光のもとにある被写体
 - ・光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ・ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - ・カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - ・暗い場所にある被写体
 - ・動きが速い被写体
- ・モバイルライトを目に近付けて点灯させないでください。モバイルライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- ・動いている被写体を撮影するときや、明るい所から暗い所に移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- ・暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた静止画などになる可能性があります。
- ・カメラの切り替え、カメラの設定変更などの直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- ・カメラの設定や撮影環境によっては、本製品の内部温度が高くなり、撮影が停止する場合があります。
- ・microSDメモリーカードへ保存中に他のアプリからmicroSDメモリーカードを利用した場合、保存に失敗することがあります。
- ・カメラ利用中にスクリーンレコードで動画を撮影すると正常に撮影できない場合があります。

静止画／動画を撮影する

静止画を撮影する

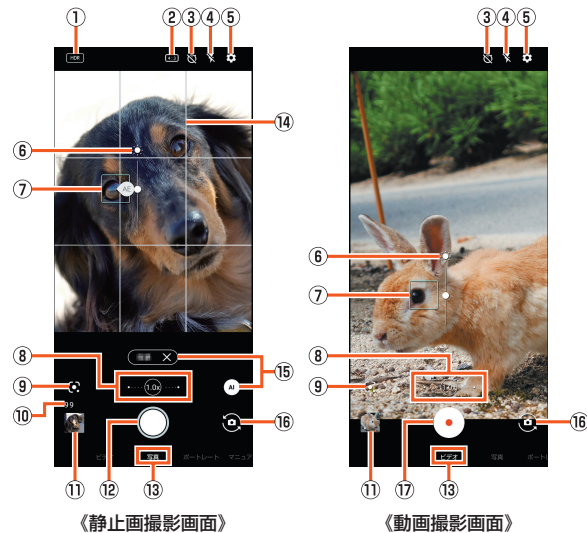
- 1 ホーム画面→[📷]
- 2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを「写真」／「マニュアル写真」に切り替える
- 3 本製品のアウトカメラを被写体に向ける
 - ・撮影画面の操作について詳しくは、「撮影画面の見かた」(▶P.48)をご参照ください。
 - ・標準カメラ利用時は被写体をタップすると、フォーカスを合わせることができます。
 - ・フォーカスマーク以外をタップすると解除されタップした被写体にフォーカスを合わせます。
 - ・利用するカメラによっては、被写体をロングタッチするとフォーカスや露出をロックできます。
 - ・利用するカメラによっては、被写体にフォーカスを合わせた後で「📷」をドラッグした箇所に合わせて露出を調整できます。
 - ・標準カメラ利用時は、QRコード・バーコードを検出できます。
 - ・「QRコード・バーコード認識」(▶P.49)をONに設定しておいてください。
- 4 [○]／[⏎]／[⏪]／[⏩]
 - ・「連写撮影」(▶P.49)をONに設定している場合は、「○」をロングタッチまたは[⏎]／[⏪]／[⏩]を1秒以上押し、静止画を連続撮影できます。
 - ・連続撮影した静止画は、「保存先設定」(▶P.50)を「SDカード」に設定している場合でも本体メモリに保存されます。

◎ カメラのフォーカスは、主に被写体の色をもとに対象を検出します。そのため被写体の色が薄かったり、背景の色と似ていたりするときは、正しく検出できないことがあります。

動画を撮影する

- 1 ホーム画面→[📷]
- 2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを「ビデオ」／「マニュアルビデオ」に切り替える
 - ・「マニュアルビデオ」は、「その他」に切り替えると選択できます。
- 3 本製品のアウトカメラを被写体に向ける
 - ・撮影画面の操作について詳しくは、「撮影画面の見かた」(▶P.48)をご参照ください。
- 4 [📷]
 - ・「AIライブシャッター」(▶P.50)をONに設定して動画撮影した場合は、自動で静止画を撮影します。
 - ・動画撮影中画面に「📷」をタップ、または[⏎]／[⏪]／[⏩]を押すと静止画の撮影ができます。
 - ・被写体をタップすると、フォーカスを合わせることができます。
 - ・フォーカスマーク以外をタップすると解除されタップした被写体にフォーカスを合わせます。
 - ・利用するカメラによっては、被写体をロングタッチするとフォーカスや露出をロックできます。
 - ・撮影モードを「マニュアルビデオ」に設定している場合は、被写体にフォーカスを合わせた後で「📷」をドラッグした箇所に合わせて露出を調整できます。
- 5 [📷]

撮影画面の見かた



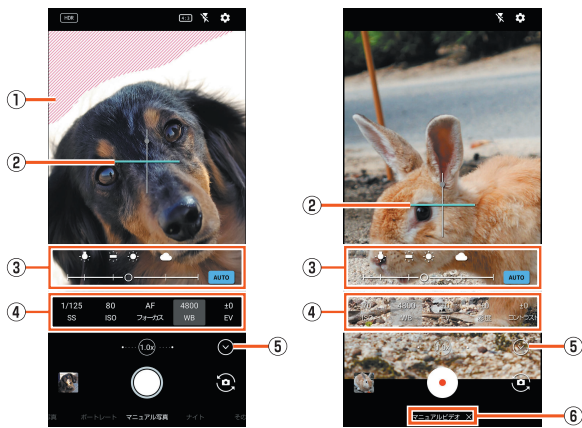
- 1 HDR
「オートHDR」をONに設定している場合で、HDR機能が動作中に表示されます。
- 2 写真サイズ
静止画の撮影サイズを切り替えます。
- 3 セルフタイマー
「セルフタイマー表示」をONに設定していると表示されます。タップするたびにセルフタイマーが5秒／10秒／OFFに設定されます。インカメラで撮影時はタップするたびにセルフタイマーが3秒／5秒／OFFに設定されます。
- 4 フラッシュ
モバイルライトを点灯して撮影できます。静止画撮影時には撮影の瞬間に点灯するように設定することもできます。インカメラで撮影時はフラッシュとして画面全体が発光します。
- 5 設定
- 6 明るさ調整
被写体をタップすると、調整バーが表示され明るさを調整できます。
- 7 フォーカスマーク
撮影モードによっては、検出した顔に合わせて表示されます。
- 8 ズーム倍率
左端／中央／右端の白丸をタップすることで、ズーム倍率を切り替えることができます。
ズーム倍率をタップすると、ズーム倍率の調整バーが表示されます。調整バーをタップしたり左右にスライドしたりすることで、倍率を調整できます。
 - ・撮影画面をピンチアウト／ピンチインしても、ズーム倍率を調整できません。
 - ・ズーム倍率に合わせて、広角カメラ／標準カメラが自動で切り替わります。
- 9 Google Lens
Google Lensを起動します。
- 10 撮影可能枚数
撮影可能枚数が99枚以下になると表示されます。
- 11 直前に撮影したデータ
直前に撮影したデータのサムネイルを表示します。タップするとデータの確認などができます。
- 12 静止画撮影
静止画を撮影します。
- 13 撮影モード
左右にスライドすると撮影モードを切り替えることができます(モードチェンジャー)。
- 14 ガイド線
設定したガイド線が表示されます。
- 15 被写体認識機能
撮影モードを「写真」に設定している場合に表示されます。アイコンをタップすると、機能の有効(📷)／無効(🚫)を切り替えます。
機能が有効の場合、認識したシーンや被写体の内容が表示され、最適な画質やシャッタースピードで撮影します。
白板／黒板を認識した状態で撮影した場合は確認画面が表示され、「補正する」をタップすると正面から見たような写真へ補正します。
- 16 イン／アウトカメラ切替
- 17 動画撮影開始
動画を撮影します。

カメラ切替について

- ◎ 撮影モードや撮影サイズによっては、使用できるカメラやズーム倍率、機能が制限されます。
- ◎ 広角カメラは、無限遠を含む広い範囲でフォーカスが合うように設計されています。近距離での撮影はピントが合いにくくなります。
近距離で撮影するときは、標準カメラを使用してください。

■ 撮影画面(マニュアル)の見かた

操作方法は撮影画面と同様です。ここでは、撮影画面と異なる操作について説明します。



《静止画撮影画面(マニュアル)》

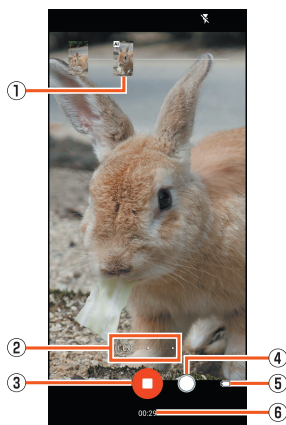
《動画撮影画面(マニュアル)》

- ① 白とび・黒つぶれ表示
白とびや黒つぶれが起こる部分にしみ模様を表示します。
- ② 水準器
撮影画面の傾きを確認できます。
- ③ 調整バー
各マニュアル設定項目をタップすると表示され、調整バーをドラッグしてマニュアル設定・補正を行うことができます。
・マニュアル設定を行った場合は、「MANUAL」/「☺」をタップして自動調整に切り替えることができます。
- ④ マニュアル設定項目
シャッター速度やISO感度、ホワイトバランスなどの設定値が表示されます。項目をタップすると調整バーが表示され、マニュアル設定・補正を行うことができます。
・マニュアル設定中の項目には、「M」が表示されます。
・利用中の撮影モードによって、表示される設定項目は異なります。
・隠れている設定項目がある場合は、左右にスライドすると表示する設定項目を切り替えることができます。
- ⑤ マニュアル設定の表示 / 非表示
マニュアル設定項目、調整バーの表示 / 非表示を切り替えます。
- ⑥ 撮影モード
撮影モードを「その他」に切り替えて選択した場合は、「X」をタップして他の撮影モードに切り替えます。

ISO感度について

- ◎ 高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ぶれや手ぶれが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、画質は粗くなります。

■ 動画撮影中画面の見かた



《動画撮影中画面(AIライブシャッターを有効)》

- ① 撮影した静止画
動画撮影中に静止画撮影すると表示されます。
・AIライブシャッターが自動で撮影した場合は、「AI」と表示されます。
- ② ズーム倍率
左端 / 中央 / 右端の白丸をタップすることで、ズーム倍率を切り替えることができます。
ズーム倍率をタップすると、ズーム倍率の調整バーが表示されます。調整バーをタップしたり左右にスライドしたりすることで、倍率を調整できます。
・撮影中画面をピンチアウト / ピンチインしても、ズーム倍率を調整できます。
・撮影中はズーム倍率を変えても、広角カメラ / 標準カメラは切り替わりません。
- ③ 動画撮影停止
- ④ 静止画撮影
- ⑤ 電池残量
- ⑥ 撮影時間

■ 撮影モードを切り替える

撮影モードを切り替えることでシーンに合わせた設定で撮影できます。

- 1 ホーム画面 → [📷]
- 2 画面下部を左右にスライドして撮影モードを切り替える

3	ビデオ	通常の動画を撮影します。撮影設定は自動で調整されます。
	写真	通常の静止画を撮影します。撮影設定は自動で調整されます。
	ポートレート	近くの被写体にピントを合わせ、背景をぼかした静止画を撮影します。また、被写体の顔を補正することもできます。
	マニュアル写真	通常の静止画を撮影します。撮影設定を手動で調整することができます。
	ナイト	夜景を撮影するのに適した撮影モードです。
	タイムラプス*	時間の流れを早回しして、時間を凝縮した動画を撮影します。
	スロービデオ*	スロービデオを撮影します。撮影した動画は、フォトで確認することができます。 ・スロービデオについて詳しくは、「スロービデオを再生する」(▶P.51)をご参照ください。
	マニュアルビデオ*	通常の動画を撮影します。撮影設定を手動で調整することができます。

※「その他」に切り替えると選択できます。

- ◎ ポートレートとナイト、スロービデオは、標準カメラで撮影します。カメラの切り替えはできません。
- ◎ ポートレートの写真サイズは、他の撮影モードで設定した写真サイズと連動しません。

■ カメラを設定する

- 1 ホーム画面 → [📷]
- 2 [📷]
- 静止画撮影の設定をする
- 3 [写真]
- 4

- ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合やグレースアウトされる場合があります。グレースアウトしている機能は、設定できません。

写真サイズ	静止画の撮影サイズを切り替えます。
連写撮影	連写撮影を有効にするかどうかを設定します。
オートHDR	逆光などコントラストが強いシーンで、白とび・黒つぶれを軽減して撮影するHDR機能を自動で有効にするかどうかを設定します。
インテリジェントフレーミング	静止画撮影した被写体や背景の位置または角度などにより、構図補正を自動的に行うかどうかを設定します。 ・補正が必要ない場合は、機能は動作しません。 ・補正された場合は、補正前と補正後の2枚の静止画を保存します。確認方法について詳しくは、「構図補正した静止画を表示する」(▶P.51)をご参照ください。
ガイド線	撮影画面にガイドを表示できます。 ・標準カメラで表示することができます。
マルチフォーカス表示	複数の小さなフォーカスマークを表示することで、フォーカスが合っている被写体を分かりやすく確認できるようにするかどうかを設定します。
ヒストグラム表示	ヒストグラムを表示してファインダー内の明るさの分布を確認できるようにするかどうかを設定します。
白とび・黒つぶれ表示	撮影モードを「マニュアル写真」に設定している場合に、白とびや黒つぶれが起こる部分にしみ模様を表示するかどうかを設定します。
QRコード・バーコード認識	QRコード・バーコードを検出し、対応したアプリを起動する通知を表示するかどうかを設定します。

- ◎ 機能によっては、同時に設定できない場合があります。
- ◎ ポートレートの写真サイズは、他の撮影モードで設定した写真サイズと連動しません。

■ 動画撮影の設定をする

3 【動画】

- 4 ・メニューの項目は、グレーアウトされる場合があります。グレーアウトしている機能は、設定できません。

動画サイズ	動画の撮影サイズを切り替えます。
フレームレート	フレームレートを切り替えます。
画質とデータ量	動画圧縮規格を切り替えます。動画圧縮規格によって画質とデータ量が異なります。
手ブレ補正	手ぶれを補正するかどうかを設定します。
音声の録音	音声を録音するかどうかを設定します。
風切り音低減	風切り音を低減するかどうかを設定します。
AIライブシャッター	有効にすると、動画撮影中にAIが人物や動物などを認識したり、構図を判断して、自動で静止画を撮影します。

◎ 機能によっては、同時に設定できない場合があります。

■ 静止画／動画撮影共通の設定をする

3 【共通】

- 4 ・メニューの項目は、グレーアウトされる場合があります。グレーアウトしている機能は、設定できません。

フラッシュ表示	フラッシュアイコンを撮影画面の上部に表示するかどうかを設定します。
セルフタイマー表示	セルフタイマーアイコンを撮影画面の上部に表示するかどうかを設定します。
位置情報付加	位置情報を付加するかどうかを設定します。
保存先設定	microSDメモリカードを取り付けている場合、撮影したデータの保存先を設定します。
すばやく起動	[(O)]を2回押して「カメラ」アプリを起動するかどうかを設定します。
カメラスタンバイ	「カメラ」アプリの起動中に画面が消灯した場合、次に画面を点灯したときにロック画面ではなく「カメラ」アプリの画面を表示するかどうかを設定します。
省エネファインダー	一定時間何も操作しないと、自動的に待機画面になります。待機画面をタップすると、再度「カメラ」アプリが表示されます。
カメラモード保持	前回使用した撮影モードでカメラを起動するかどうかを設定します。 ・OFFに設定した場合は、「写真」で起動します。
撮影画面の明るさを上げる	「カメラ」アプリ起動中の画面の明るさをさらに明るくするかどうかを設定します。
ちらつき防止(編模様を軽減)	有効に設定すると、蛍光灯によるちらつきを補正します。テレビやパソコンの画面などを撮影する際に有効な設定です。「OFF」に設定した場合は、被写体ぶれや手ぶれの補正を優先します。 ・「オート」に設定してもちらつきが補正されない場合は、お使いの地域(東日本:50Hz、西日本:60Hz)に応じて周波数を設定してください。
水準器表示	水準器を表示するかどうかを設定します。
設定リセット	カメラの設定を初期化します。

フォト

フォトを利用する

■ データを表示／再生する

静止画や動画を表示・編集したり、Googleのオンラインストレージにバックアップすることができます。

- ・機能やメニューによっては、Googleアカウントを設定しないと使用できないものがあります。

1 ホーム画面→[📷]

本体メモリやmicroSDメモリカード、Googleのオンラインストレージに保存されている静止画／動画の一覧が表示されます。

ピンチアウト／ピンチインすると、サムネイルのサイズを変更できます。

2 データを選択

1件表示画面が表示されます。

「📷」をタップ、または画面を上にはずすと、利用できるメニューや保存日時などの情報が表示されます。

- ・「▶」／「⏸」をタップすると、動画の再生／一時停止を切り替えることができます。
- ・「共有」をタップすると、データをGoogle フォトやBluetooth®などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスなどにアップロードしたりできます。
- ・「編集」をタップすると、色味の調整や表示の回転など、データを編集できます。
・「その他」を選択すると、「フォト」アプリ以外の編集機能を利用できます。
- ・「レンズ」をタップすると、写っている対象について調べることができます。文字の場合は、テキストのコピーや翻訳などができます。
- ・「削除」をタップすると、データを削除します。

◎ 「フォト」アプリはGoogle Playより更新することができ、最新バージョンでは操作方法が変わることがあります。更新された場合は、フォト画面でアカウント設定のアイコンをタップ→[ヘルプとフィードバック]と操作し、内容をご確認ください。

◎ 削除したデータは、一定期間ゴミ箱に保存されています。「ライブラリ」から「ゴミ箱」を表示すると、データをゴミ箱からも削除したり、データを復元したりできます。

◎ 「動画サイズ」を「フルHD」、「フレームレート」を「60fps」に設定して撮影したデータは、編集できない場合があります。

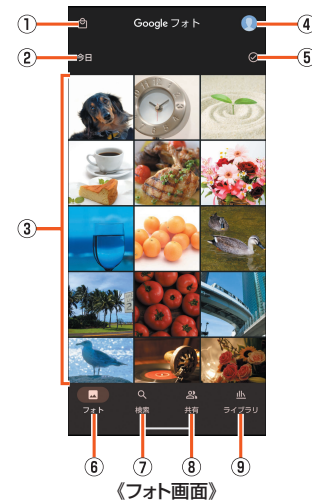
1件表示画面について

◎ 1件表示画面の各種メニュー、アイコンが表示されていない場合は画面をタップすると表示されます。

◎ データが本体メモリやmicroSDメモリカードに保存されていない場合、「フォーカス再生」などのメニューが表示されないことがあります。「ダウンロード」でデータを本体メモリに保存してください。

◎ 選択したデータによっては📷が表示されます。タップするとデータに応じた機能を利用できます。

■ 画面の見かた



《フォト画面》

1 写真プリント

プリントサービスについて確認できます。

2 保存日

データが保存された日付です。サムネイルの大きさによっては、保存された月でグループ分けされます。

3 データ一覧

データをロングタッチするとデータを複数選択できます。選択したデータは削除や共有などができます。

4 アカウント設定


「フォト」アプリで利用するGoogleアカウントなど、「フォト」アプリについて設定できます。

5 一括選択

保存日のグループごとにデータを一括選択できます。

- ⑥ **フォト**
静止画／動画を一覧表示します。
- ⑦ **検索**
キーワードを入力してデータを検索したり、カテゴリなどによるデータの絞り込みが利用できます。
- ⑧ **共有**
データの共有について設定できます。
- ⑨ **ライブラリ**
フォルダの選択やアルバムの作成／選択、お気に入りに登録したデータやゴミ箱の確認などができます。

構図補正した静止画を表示する


「カメラ」アプリで撮影した静止画が「インテリジェントフレーミング」により構図補正された場合、保存された静止画のサムネイルにはが表示されます。補正前と補正後の2枚の静止画を切り替えて確認できます。

1 ホーム画面→[🏠]

2 静止画を選択

- 画面下部のサムネイルを選択して補正前のオリジナル画像と補正後のおすすめ画像を切り替えることができます。
- ・静止画の削除や編集は、それぞれの静止画に対して行うことができます。
[🗑️]→[メインの写真に設定]で静止画／動画一覧画面のサムネイルに表示する画像を設定できます。
 - ・補正後のおすすめ画像を表示中に「おすすめ画像」をタップすると補正された内容を確認できます。

スロービデオを再生する

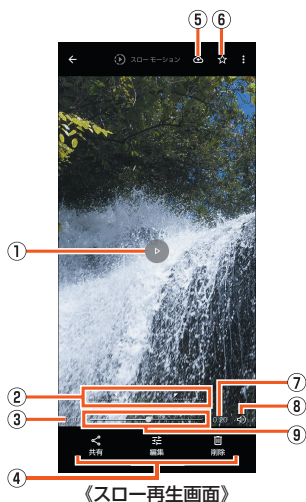
「スロービデオ」で撮影した動画のサムネイルにはが表示され、動画のスロー再生ができます。

- ・スロービデオで撮影した動画は、「フォト」アプリで再生してください。他のプレーヤーやパソコンなどを利用すると、正しく再生できない場合があります。



1 ホーム画面→[🏠]

2 スロービデオで撮影した動画を選択

スロー再生画面が表示されます。



《スロー再生画面》

- ① 再生／一時停止
- ② スロー再生範囲設定
「」/「」をドラッグしてスロー再生する範囲を設定します。
- ③ 再生時間
- ④ フォトツール
「フォト」アプリでデータの共有や編集、削除を行います。
- ⑤ バックアップ
データをGoogleのオンラインストレージにバックアップすることができます。
・バックアップ前のデータが本体メモリやmicroSDメモリカードに保存されている場合に表示されます。
- ⑥ お気に入り
データをお気に入りに登録／解除します。
・お気に入りに登録したデータは「ライブラリ」から確認できます。
- ⑦ 総再生時間
- ⑧ 音声ON/OFF
- ⑨ シークバー

動画をフォーカス再生する

撮影した動画をフォーカス再生すると、AIが人や動物などの被写体を認識し、自動でズーム・追尾(拡大表示)します。

1 ホーム画面→[🏠]

2 動画を選択→[フォーカス再生]

- 動画が再生され、自動で被写体をズーム・追尾(拡大表示)します。フォーカス再生時は親画面と子画面が表示されます。
- ・子画面をタップするたびに、全体表示／拡大表示が切り替わります。
 - ・全体表示時に被写体をダブルタップすると、選択した被写体を対象にフォーカス再生が行われます。

- ◎ 再生するタイミングによって、被写体やズーム倍率は異なります。
- ◎ 被写体の大きさや距離、スピードなどの条件によりAIが被写体を検出できない場合、被写体をダブルタップしても、対象を指定できません。
- ◎ 被写体がいなくても、ズームされる場合があります。
- ◎ ズーム倍率は、撮影サイズや被写体との距離などによって、最適な値が設定されます。手動でのズーム操作や倍率変更はできません。
- ◎ インカメラで撮影した動画は、フォーカス再生できません。

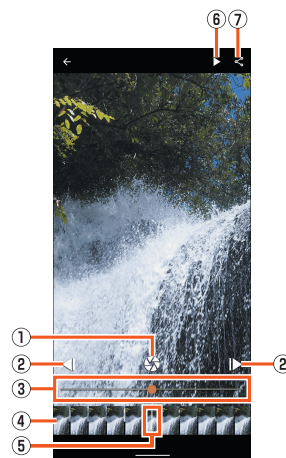
あとからキャプチャーを利用する

動画の中から静止画を切り出して保存することができます。

1 ホーム画面→[🏠]

2 動画を選択

3 [📷]→[あとからキャプチャー]で編集]



《あとからキャプチャー画面》

- ① 静止画切り出し
表示しているフレームを静止画として保存します。
- ② コマ戻し／コマ送り
1コマ前／先のフレームを表示します。
- ③ シークバー
シークバーをドラッグすると表示するフレームを変更できます。
- ④ サムネイル
サムネイルをドラッグすると表示するフレームを変更できます。
- ⑤ 表示位置
現在表示しているフレームの位置をサムネイル上で表します。
- ⑥ 再生／一時停止
- ⑦ 共有
静止画の切り出しが行われ、保存されたデータをBluetooth®やメール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスなどにアップロードしたりできます。

radiko+FM

radiko+FMを利用する

インターネット経由で今いるエリアで放送しているラジオ番組を聴くことができるアプリです。

また、インターネットラジオからアナログFMラジオに切り替えることもできます。

- アナログFMラジオを聴く場合は、市販のイヤホンをお製品のイヤホンマイク端子に接続する必要があります。イヤホンを接続すると、音声はイヤホン出力になります。
- プレミアム会員への登録(有料)を行うと、日本全国のラジオ番組を聞くことができます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「ツール」→「radiko+FM」

インターネットラジオの番組表画面が表示されます。

2 番組を選択

インターネットラジオの番組表画面で画面右端/左端から画面中央へ向けてスワイプすると、バックグラウンド再生へ切り替えたり、アプリを終了したりできます。

■ アナログFMラジオへ切り替える

アナログFMラジオを聴くには、市販のイヤホンをお製品のイヤホンマイク端子に接続してください。

1 インターネットラジオの番組表画面→[📶]→「FMチューナー」

2 [📻]→放送局を選択→本局または中継局を選択→[閉じる]

3 ▶▶▶

- インターネットラジオの詳細については、インターネットラジオの番組表画面→[📶]→「ヘルプ」と操作してご確認ください。
- アナログFMラジオではイヤホンマイク端子に接続した市販のイヤホンがアンテナとなります。
- 屋内や乗り物の中では電波を受信しにくいことがあります。できるだけ窓際で使用した方が受信しやすくなります。

NFC／おサイフケータイ®

おサイフケータイ®とは

おサイフケータイ®とは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。

NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCa®機能やリーダー/ライター(R/W)機能などが本製品でご利用いただけます。

おサイフケータイ®を利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービス提供会社のおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。おサイフケータイ®対応サービスのご利用にあたっては、au電話に搭載されたFeliCaチップへ、サービスのご利用に必要なデータを書き込む場合があります。

なお、ご利用にあたっては、auホームページをあわせてご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/osaifu/support/caution/>

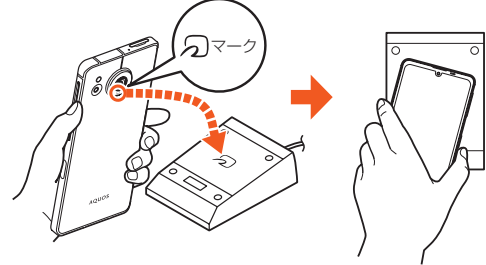
おサイフケータイ®のご利用にあたって

- 本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、おサイフケータイ®のロックをおすすめします。
- 紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客さまにて十分ご留意の上管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。NFC機能をOFFにしている場合はNFC機能をONにした上で電源をお切りください。
- おサイフケータイ®対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客さまにFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去により生じた、損害および逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FeliCaチップ内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。

- 電話がかかってきた場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ®対応アプリからFeliCaチップへのデータの読み書きが中断され、読み書きがされていない場合があります。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけない場合があります。
- おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー/ライターとのデータの読み書きができない場合があります。
- 次の場合は、おサイフケータイ®の一部機能を利用できません。
 - ・ 機内モードを有効に設定中
 - ・ SIMカードが挿入されていない場合

リーダー/ライターとデータをやりとりする

マークをリーダー/ライターにかざすだけでFeliCaチップ内のデータをやりとりできます。



- マークをリーダー/ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- マークはリーダー/ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- マークをリーダー/ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- マークとリーダー/ライターの間に金属物があると読み取れない場合があります。また、マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- マークを強い力で押さないでください。通信に障害が発生するおそれがあります。

- おサイフケータイ®対応アプリを起動せずに、リーダー/ライターとのデータの読み書きができます。
- 本製品の電源を切ってもご利用いただけます。ただし電池残量がない場合はご利用できません。その場合は充電後に一度本製品の電源を入れることでご利用いただけます。
- NFC機能がOFFの場合は、ご利用いただけません。

NFC機能を設定する

NFC機能をONにすると、おサイフケータイ®対応サービスが利用できます。NFC機能をOFFにすると、おサイフケータイ®対応サービスの利用を制限できます。これにより、おサイフケータイ®対応サービスの機能がロックされます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「設定」→「接続済みのデバイス」→「接続の設定」

2 [NFC／おサイフケータイ]

NFC／おサイフケータイ®設定画面が表示されます。

3 [NFC／おサイフケータイ]

※ タップするたびにON/OFFが切り替わります。

- 「おサイフケータイ」アプリの[🔒]→「NFC／おサイフケータイ」と操作してもNFC／おサイフケータイ®設定画面を表示することができます。
- NFC機能がOFFのときに電池が切れると、NFC機能をONにできなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後にNFC機能をONにしてください。

画面ロック連動機能を設定する

NFC機能がONの場合に画面ロック連動機能をONにすると、画面ロック時および画面消灯時にNFC機能が自動的にOFFになります。画面ロックを解除するとNFC機能は自動的にONに戻ります。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「設定」→「接続済みのデバイス」→「接続の設定」

2 [NFC／おサイフケータイ]

3 [画面ロック中はロック]

※ タップするたびにON/OFFが切り替わります。

FeliCa®に対応したサービスを利用する

「おサイフケータイ」アプリから対応サービスを利用できます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→「ツール」→「おサイフケータイ」

サービス一覧画面が表示されます。
初期設定画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 利用したいサービスを選択

サービスに対応したアプリをダウンロードしてから、またはサービス紹介サイトから、画面の指示に従って操作してください。

My au

My auを利用する

月々のご請求額やデータ通信量(ギガ)を簡単に確認できるほか、料金プランやオプションサービスなどの申し込み・変更手続きができます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[auサービス]→[My au]

My auのホーム画面が表示されます。
・初めて起動したときは画面の指示に従ってログインしてください。

2 確認する項目を選択

データ利用量、ご請求額、Pontaポイントやau PAY残高等の確認や、プラン変更など各種お手続きができます。

◎ 困ったときやご契約内容の確認・変更は、My auのホーム画面右上上の「☎」をタップし、メッセージサポート画面からお問い合わせください。
24時間いつでもお気軽にお問い合わせできます。

My UQ mobile

My UQ mobileを設定する

データ残量の確認や節約モードへの切り替え、データチャージができます。また、月々のご請求額の確認や料金プラン、オプションサービスの確認・変更もできます。

※本アプリはUQ mobileご契約者様専用です。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[auサービス]→[My UQ mobile]

My UQ mobileのトップ画面が表示されます。
・初めて起動した時は、画面の指示に従ってログインしてください。

2 確認する項目を選択

データ残量、ご請求額の確認や節約モードへの切り替えや各種お手続きが可能です。

◎ My UQ mobileの詳細については、UQ mobileホームページをご参照ください。
https://www.uqwimax.jp/mobile/plan/portal_app/
◎ 操作方法や画面表示は予告なく変更される場合があります。

あんしんフィルター for au

あんしんフィルター for auを利用する

お子さまにスマートフォンを安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブサイトへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングサービスです。

お子さまの年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」・「高校生プラス」の4段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブサイトやアプリの制限/許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。
また、保護者が夜間などスマートフォンの利用を制限したり、お子さまの居場所を確認したりすることもできます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[auサービス]→[あんしんフィルター for au]

初めて起動したときは、アクセス権限の同意画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

2 [この電話番号でログイン]

※ご利用になるお子さまの電話番号でログインしてください。

3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力

仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 フィルタリングの強度を選択

小学生	スマホを初めて使うお子さまや操作に少し慣れたお子さま向け [制限対象] ゲーム/動画/音楽、懸賞、成人娯楽、SNS/掲示板、出会い、アダルトなど
中学生	スマホの操作におおむね慣れたお子さま向け [制限対象] 懸賞、成人娯楽、SNS/掲示板、出会い、アダルトなど
高校生	スマホ利用のルールやマナー、危険性を理解したお子さま向け [制限対象] SNS/掲示板、出会い、アダルトなど
高校生プラス	SNS利用のルールやマナー、危険性を理解したお子さま向け [制限対象] 出会い、アダルトなど

5 [規約に同意してサービスを利用開始する]

利用規約を必ずご確認ください。

6 [「位置情報、利用情報の取得・利用について」の内容を確認→[はい]

「いいえ」を選択するとエリア検索など一部の機能が利用できません。

7 [「利用登録が完了しました」の表示を確認→[OK]

8 [このデバイス管理アプリを有効にする]

9 [「よく使うアプリの設定」で利用したいアプリを選択→[設定する]

事前に利用したいアプリを許可してください。

10 SNS利用の危険性について確認→[確認しました]

11 [同意して設定する]→[あんしんフィルター for au アプリ規制]→[あんしんフィルター for au アプリ規制の使用]をタップしてONに切り替える

12 [「あんしんフィルター for au アプリ規制 にデバイスのフルコントロールを許可しますか?」の内容を確認→[許可]

13 設定完了

ウェブサイトが表示されます。
以降は「あんしんフィルター for au」アプリをブラウザアプリとしてご利用ください。

管理者情報を登録する

お子さまのスマホで設定してください。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[auサービス]→[あんしんフィルター for au]

2 画面上の「ここをタップして、あんしんフィルター for auの管理者IDを登録してください。」をタップ

3 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]

4 管理者IDを入力→管理者ID(確認)を入力→[管理者ID確認へ進む]

管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 [申請する]

管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→[管理者登録を行う]→[OK]

◎ 管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

管理者ページを利用する

保護者の方のPCまたはスマホからご利用ください。保護者が遠隔で、お子さまのスマホの設定を行うことができます。

1 メールで受信した「管理者ページURLのご連絡」に記載している管理者ページのURLをタップ

<https://anshin-access.netstar-inc.com>

2 管理者IDとパスワードを入力→[ログイン]

3 管理者メニューを表示

主な機能
・フィルタリング強度の変更
・個別のウェブサイトやアプリの制限/許可設定
・利用時間帯の設定
・利用状況の確認
・エリア検索

◎ 詳しくは、auホームページをご参照ください。
<https://www.au.com/mobile/service/anshin-filter/>

Android アプリ

Google Playを利用する

Googleが提供するGoogle Playから便利なツールやゲームなどのさまざまなアプリケーションを、ダウンロード・インストールして利用できます。

- Google Playの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「初期設定を行う」(▶P.22)をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Google Play画面右上のアカウントアイコンをタップ→[ヘルプとフィードバック]と操作してヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[Playストア]

Google Play画面が表示されます。
利用規約などが表示された場合は、内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

アプリケーションを検索し、インストールする

アプリケーションが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。
- 有料のアプリケーションをダウンロードするには、お支払い方法を設定する必要があります。

1 Google Play画面→アプリケーションを選択

■無料のアプリケーションの場合

2 [インストール]

確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面に従って操作してください。
アプリケーションのダウンロード・インストールが開始されます。

■有料のアプリケーションの場合

2 価格をタップ→画面に従って操作

◎ インストールする前にアプリケーションの情報をご確認ください。インストールに承諾すると、アプリケーションの使用に関する責任を負うこととなります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。

アプリケーションを管理する

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする

提供元不明のアプリケーションをインストールする前に、本体の設定でインストールを許可する必要があります。

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[アプリ]

2 [特別なアプリアクセス]→[不明なアプリのインストール]

3 インストールを許可するアプリを選択→[この提供元のアプリを許可]をタップしてONに切り替える

モバイルライト

モバイルライトを利用する

1 お知らせ/ステータスパネルを表示→機能ボタンの「ライト」をタップ

モバイルライトが点灯します。
消灯するには、点灯中に再度機能ボタンの「ライト」をタップします。

◎ モバイルライトを目に近づけて点灯させないでください。また、モバイルライト点灯時は発光部を直射しないようにしてください。同様にモバイルライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいをおこす原因となります。

スクリーンショット

スクリーンショットを撮影する

[(Ⓜ)と[(←)を同時に押すと、表示している画面のスクリーンショットを撮影できます。

- アプリ使用履歴画面中央に撮影するアプリを表示し、「スクリーンショット」をタップしても撮影できます。
- スクリーンショットを撮影すると画面左下にサムネイルが表示され、撮影したデータは本体メモリに保存されます。
 - ・「[←]」をタップすると、データの共有ができます。
 - ・「[✓]」をタップすると、データの編集ができます。
 - ・「キャプチャ範囲を拡大」をタップすると、スクリーンショットの範囲を指定して保存や共有、編集ができます。
- Clip Nowを利用してもスクリーンショットを撮影することができます。詳しくは、「Clip Nowの設定をする」(▶P.72)をご参照ください。

◎ アプリケーションによっては全部または一部が保存できない場合や撮影時に効果音が鳴る場合があります。

キャプチャ範囲を拡大について

◎ スクロール可能な画面を撮影した場合などに表示されます。アプリケーションによっては表示されない場合があります。

画面を録画する

表示している画面を動画として録画することができます。

- 撮影した動画は本体メモリに保存され、「フォト」アプリなどで確認することができます。

1 ステータスパネルを表示→機能ボタンの「スクリーン レコード 開始」をタップ

2 録音	録画する動画に音声を含めるかどうかを設定します。 ・「録音」をタップすると、録音する音声について設定できます。
画面上のタップも記録する	録画中のタッチ操作を白い丸で記録するかどうかを設定します。

3 [開始]

ステータスバーにカウントダウンが表示され、録画を開始します。

4 お知らせパネルを表示→「停止」をタップ

機能ボタンの「スクリーン レコード 停止」をタップしても、録画を停止できません。

◎ アプリケーションによっては録画できない場合があります。

Google 検索

Google 検索を利用する

ウェブサイトの情報を検索できます。

- 利用方法などの詳細については、Googleのサイトをご参照ください。

■キーワードを入力して検索する場合

1 ホーム画面→Google検索バーの検索入力欄を選択

ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[Google]→[Google]→検索入力欄をタップしても同様に操作できます。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

2 キーワードを入力

3 項目を選択/[🔍]

■音声で入力して検索する場合

1 ホーム画面→Google検索バーの[🗨️]

2 送話口(マイク)に向かってキーワードを話す

カレンダー

カレンダーを表示する

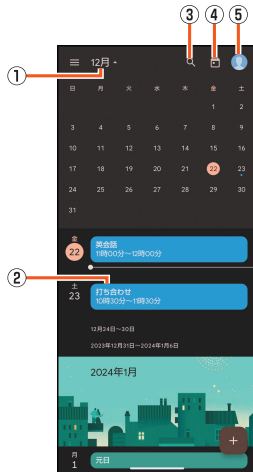
カレンダーをスケジュールや期間単位で表示することができます。

- ・カレンダーの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「初期設定を行う」(▶P.22)をご参照ください。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Google]→[カレンダー]

初回起動時は説明画面が表示されます。画面に従って操作してください。

■ カレンダー画面の見かた



《カレンダー画面(月表示カレンダー)》

- 1 月表示
タップすると月表示カレンダーの表示/非表示を切り替えます。
- 2 予定
登録されている予定が表示されます。
登録した予定の期間などによって表示は異なります。
- 3 検索
スケジュール内を検索します。
- 4 今日へ移動
タップすると今日の予定を表示します。
- 5 アカウント設定
カレンダーで利用するGoogleアカウントの設定などができます。

予定を新規登録する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Google]→[カレンダー]

2 [●]→[予定]

- ・「リマインダー」をタップすると、件名と日時、通知の繰り返しを「リマインダー」として登録できます。
- ・「タスク」をタップすると、件名と詳細情報、日時、通知の繰り返しを「ToDo リスト」として登録できます。

3 必要な項目を入力

4 [保存]

◎ 複数のアカウントを設定している場合、アカウント名をタップすると登録するアカウントを選択できます。

カレンダー画面のメニューを利用する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Google]→[カレンダー]

2 [☰]

3 スケジュール	カレンダーをスケジュール単位で表示します。
日	カレンダーを日単位で表示します。
3日間	カレンダーを3日単位で表示します。
週	カレンダーを週単位で表示します。
月	カレンダーを月単位で表示します。
更新	手動でサーバーのカレンダーと同期します。
設定	カレンダーの各項目を設定します。
ヘルプとフィードバック	カレンダーのヘルプを表示したり、フィードバックを送信します。

時計

時計を利用する

■ アラームで指定した時刻をお知らせする

指定した時刻にアラーム音やバイブレーションでお知らせします。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[時計]→[アラーム]

2 登録先の時刻をタップ

登録先を追加するには、「+」をタップしてください。

3 時刻を選択→[OK]

4 各項目を設定

- ◎ アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。
- ◎ 通話中にアラーム設定時刻になると、受話口(レシーバー)からアラーム音が鳴ります。通話を終了すると、スピーカーからアラーム音が鳴ります。バイブレーションを設定している場合はバイブレーションが振動します。

■ アラーム画面の見かた



《アラーム設定画面》

- 1 ラベルを追加
アラームの名称を入力します。
- 2 設定時間
- 3 アラーム音
- 4 バイブレーション
- 5 Google アシスタントのルーティン
アラーム停止後の動作について設定します。
- 6 削除
- 7 アラーム追加
- 8 アラームの有効/無効
- 9 繰り返し
アラームを繰り返す曜日を設定します。曜日を設定していない場合は、次の設定時間に一度だけ動作します。

■ アラームを止める

アラーム設定時刻になると、アラーム音やバイブレーションでお知らせします。

1 アラーム鳴動中に「●」から「ストップ」まで右にスワイプ

- ・画面点灯中(ロック画面表示中を除く)にアラームが鳴ったときは「ストップ」をタップします。

■ スヌーズを利用する

スヌーズを利用すると、再度アラームでお知らせします。

1 アラーム鳴動中に「●」から「スヌーズ」まで左にスワイプ

- ・画面点灯中(ロック画面表示中を除く)にアラームが鳴ったときは「スヌーズ」をタップします。

◎ スヌーズの間隔は、「[☰]→[設定]→[スヌーズの長さ]」で設定できます。

■ アラーム音量を設定する

1 アラーム画面→[☰]→[設定]

2 「アラームの音量」欄のバーを左右にスライドして音量を調節

■ 世界各地の都市の時刻を確認する

世界各地の時刻を表示できます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[時計]→[時計]

2 [●]

3 都市を検索→都市を選択

タイマーで時間を計る

設定した時間が経過したときに、アラーム音でお知らせします。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[時計]→[タイマー]

2 設定時間を入力→[+]

- ・「+1:00」をタップすると、時間を1分追加します。
- ・「-」をタップすると、カウントダウンを一時停止します。
- ・一時停止中に「+」をタップすると、カウントダウンを再開します。
- ・一時停止中に「リセット」をタップすると、カウントダウンをリセットします。
- ・設定した時間が経過すると、アラーム音でお知らせします。

タイマーの名称を変更する

1 タイマー画面→[ラベル]

2 名称を入力→[OK]

タイマーを追加する

1 タイマー画面→[+]

2 設定時間を入力→[+]

タイマーを削除する

1 タイマー画面で削除するタイマーを表示→[-]

◎ タイマーを追加した場合は、タイマー画面を上下にスライドしてタイマーを切り替えられます。

ストップウォッチで時間を計る

ストップウォッチを利用して、経過時間(ラップタイム)/合計経過時間(スプリットタイム)を計測できます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[時計]→[ストップウォッチ]

2 [●]

- ・「●」をタップすると、ラップタイム/スプリットタイムを計測します。

3 [●]

- ・「●」をタップすると、計測結果をリセットします。

◎ ラップタイム/スプリットタイムの履歴を99件まで記憶できます。

おやすみ時間モードを利用する

就寝時、起床時に最適な画面表示に自動で切り替えるなど、睡眠時に便利な機能を利用できます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[時計]→[おやすみ時間]

以降は画面の指示に従って操作してください。

◎ 「おやすみ時間」の設定は「Digital Wellbeing ツール」から行えます。ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[Digital Wellbeing と保護者による使用制限]→[おやすみ時間モード]と操作してください。

からだメイト

からだメイトを利用する

歩数や体重などを記録できます。歩数、体重の履歴をグラフで表示して、日別/月別で比較することもできます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[ツール]→[からだメイト]

2 [はい]

3 ユーザー情報の各項目を設定→[歩数計ON]→画面右端/左端から画面中央へ向けてスワイプして戻る

初期状態では、ユーザー情報に仮の数値が登録されています。ご利用の前に、ユーザー情報を正しく設定しておいてください。

- ・電源が入っている間は常に歩数がカウントされます。
- ・歩数計の表示は、午前0:00にリセットされます。

■ 累積データの引き継ぎかた

からだメイトに記録した歩数や体重などのデータは、Googleアカウントによってバックアップされ、機種変更しても引き継ぐことができます。からだメイトに対応した新しい端末の初回起動時に、初期設定で機種変更前と同じGoogleアカウントを設定し、データを復元してください。

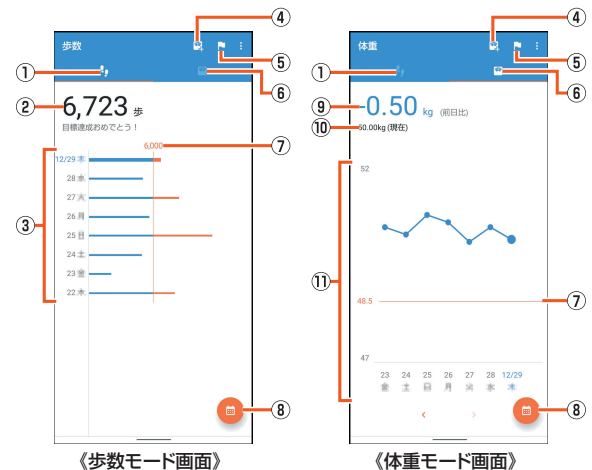
- ・Googleアカウントの設定について詳しくは、「初期設定を行う」(▶P.22)をご参照ください。

歩数測定時のご注意

次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。

- ◎ 本製品が不規則に動く場合
 - ・本製品を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
 - ・本製品を腰やかばんなどからぶら下げているとき
- ◎ 不規則な歩行をした場合
 - ・すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
 - ・混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
- ◎ 上下運動や振動の多いところで使用した場合
 - ・立ったり座ったりしたとき
 - ・スポーツを行ったとき
 - ・階段や急斜面を上ったり下ったりしたとき
 - ・乗り物(自転車、自動車、電車、バスなど)に乗って、上下振動や横揺れしているとき
 - ・スピーカーから音が出ているとき
 - ・バイブレータが振動しているとき
- ◎ 極端にゆっくり歩いた場合

■ からだメイト画面の見かた



① 歩数モード

② 今日の歩数

③ 歩数の履歴

日々/月々の歩数が棒グラフで表示されます。グラフをタップすると、選択した日/月の歩数や歩行距離、消費カロリーなど、詳細情報が表示されます。

④ 体重入力

タップすると、日々の体重を入力することができます。

- ・エモバーを利用すると、音声で体重を入力することもできます。詳しくは、「エモバーヘルスケアを利用する」(▶P.58)をご参照ください。

⑤ 目標設定

タップすると、歩数や体重の目標を設定することができます。

- ・からだメイト画面→[+]→[目標設定]と操作しても目標を設定できます。
- ・目標設定画面で「リセット」をタップすると、設定した目標の削除ができます。

⑥ 体重モード

⑦ 目標値(目標設定時のみ表示)

⑧ 表示切替

日別/月別の表示を切り替えます。

⑨ 前回との差

⑩ 最新の体重

⑪ 体重の履歴

日々/月々の体重が折れ線グラフで表示されます。グラフをタップすると、選択した日/月の体重やBMIなど、詳細情報が表示されます。
 ・「</>」をタップすると表示月や週を移動します。

■ ユーザー情報を変更する

1 からだメイト画面→[H]→[ユーザー情報]

2 各項目を設定

■ からだメイトを停止する

1 からだメイト画面→[H]→[歩数計設定]→[歩数計ON]

「歩数計ON」を無効にすると、からだメイトが停止します。

■ からだメイトの累積データをリセットする

歩行データや体重データをすべて削除します。

1 からだメイト画面→[H]→[データリセット]→[はい]

■ 用語の説明を確認する

1 からだメイト画面→[H]→[用語の説明]

2 用語を選択

電卓

電卓で計算する

利用方法などの詳細については、電卓画面→[H]→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[電卓]

2 計算する

エモパー

エモパーを設定する

あらかじめ登録したお客様の情報やお客様の日常の行動に基づき、エモパーはロック画面やエモパーアプリ画面でさまざまな情報を設定に基づいてお伝えします。エモパーを使っていくほどに、お客様の本製品の使用状況を理解し、より適切なタイミングで情報をお伝えするようになります。
 また、お客様の声*をエモパーが認識して応答することがあります。
 さらに、エモパーを使ったメモ機能(エモパーメモ)や、健康応援機能(エモパーヘルスケア)、エモパー連携に対応した家電(AIoT機器)との連携機能などが利用できます。

*「声でアクション」を有効にすると、エモパーが話してから画面が消灯するまでの間のみ音声を認識します。(音声が認識される時間は最大6秒間です。)

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[エモパー]

エモパーアプリ画面が表示されます。エモパーの状態やエモパーがお伝える話題、お客様についての情報、エモパーとの日常の記録などが確認できます。
 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
 ・初期設定完了後に「あなたについて」で職場・学校など、お客様の情報を設定することをおすすめします。設定した情報をもとにエモパーが話す内容のパーソナライズや機会が増えます。

2 [設定]

エモパー設定画面が表示されます。

3 エモパー設定	[ON/OFF] / [ON/OFF] をタップするたびにエモパーのOFF/ONを切り替えます。
COCORO ID	新規登録・ログインすると自動バックアップやAIoT機器との連携などの機能を利用できます。
エモパー選択	エモパーや名前を設定します。 ・「サイトからエモパーを追加する」をタップすると、サイトから別のエモパーを追加できます。

基本動作について	<p>ダークテーマ エモパーアプリでダークテーマを利用するかどうかを設定します。</p> <p>お話しする音量 エモパーのお話し時の音量を設定します。</p> <p>お話し中のBGM エモパーがお話し中にBGMを流すかどうかを設定します。</p> <p>マナーモードでも声でお話し マナーモード設定中でも音声でお伝えするかどうかを設定します。</p> <p>暗いときとお話し 本製品を暗い場所に置いているときに音声を小さくしてお伝えするかどうかを設定します。</p> <p>イヤホンしているときのお話し 外出中でもイヤホンをしているとお話しするかどうかを設定します。</p> <p>外でも通話スタイルでお話し 外出中でもバイブレータでお知らせして耳に当てるとお話しするかどうかを設定します。</p> <p>自宅の特定にWiFiも使用 位置情報の取得にWi-Fi®を利用するかどうかを設定します。</p>
あなたについて	ニックネームや自宅、職場・学校など、お客様の情報を設定します。
エモパーの話題	エモパーがお伝えする情報を設定します。
エモパーメモ	エモパーメモの利用について設定します。
声でアクション	エモパーに声をかけると、さらに詳細な情報をお話しするように設定します。
エモパーヘルスケア	エモパーヘルスケアの利用について設定します。
AIoT機器との連携	登録した家電の操作方法、家電からの提案や情報をお伝えする、AIoT機器との連携機能について設定します。
ホームにエモパーを貼り付け	ホーム画面に貼り付けるエモパーのウィジェットについて設定します。
エモパーへの話しかけ方	公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)の「エモパーへの話しかけ方」に接続します。 ・本製品は「声でエモパーを呼び出し」は非対応です。
おすすめ機能の紹介	エモパーの簡単な説明と使いかたのデモを確認できます。
エモパー使い方ガイド	公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)の「エモパー使い方ガイド」に接続します。
よくある質問(FAQ)	公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)の「よくある質問(FAQ)」に接続します。
エモパーの記憶	エモパーと過ごした思い出や生活習慣に関するデータのバックアップや初期化、復元をします。
注意事項	エモパーパーソナライズや利用規約・プライバシーポリシーなどを確認できます。

- ◎ エモパーをご利用になる場合は、データ通信料がかかります。
 - ◎ エモパーは日本語にのみ対応しています。
 - ◎ 海外で利用するときは、エモパーのお伝えする情報が制限されます。
 - ◎ エモパーがお伝えする情報は、本製品の使用状況と正確には合っていない場合があります。
 - ◎ エモパーの初期設定を行うと「からだメイト」アプリの「歩数計ON」が有効になります。
 - ◎ 自宅や周辺の施設情報などを認識するために、位置情報を取得する場合があります。位置情報の取得には、「位置情報を使用」をONに設定する必要があります。「位置情報を使用」がOFFのときは、位置情報が必要な情報をお伝えできません。
 - ◎ ディ스플레이を下にして本製品を置いている場合などはお話ししません。
 - ◎ エモパーが話しているときに[+] / [-] を押すと音量を調節できます。
- エモパーが話すタイミングについて**
- ◎ 「あなたについて」の「自宅」や「自宅のほかにお話しできる場所」に設定した場所で、画面消灯中やロック画面表示中に本製品を地面に対して水平に近い状態で置いたときなどに話します。
 - ◎ 午前2:00～午前5:00の間は話しません。
 - ◎ イヤホンを接続中は、「イヤホンしているときのお話し」の設定に従って動作します。
 - ◎ 選択したキャラクターによっては、ロック画面表示中に本製品を数回(2秒程度)振ると話します。
- 電車の遅延情報について**
- ◎ エモパーがお伝えする電車の遅延情報は、株式会社レスキューナウが提供する運行情報に基づいています。
 - ◎ 各路線の運行情報が提供される基準は、次のとおりです。
 - ・首都圏JR線は15分、その他の路線は30分以上の遅れ、運転見合わせ等が発生した場合の情報
- AIoT機器との連携について**
- ◎ AIoT機器との連携には、COCORO IDでログインの上、COCORO HOMEアプリなどで同じCOCORO IDに対して機器の登録が必要です。
 - ◎ エモパーとの連携ができる当社のAIoT機器は各種COCOROサービスに対応した特定の機種に限ります。詳しくは、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)などでご確認ください。

■ エモパーメモを利用する

エモパーに予定などメモしたい内容を話しかけるとエモパーが記憶し、予定にあわせてお伝えします。

- ロック画面をダブルタップしてから話しかけてください。
- ロック画面ではアイコンや情報などが表示されていないところをタップしてください。
- 外出先で話しかける場合は、電話をかけるように受話口を耳に当ててください。
- エモパーが記憶したメモは、カレンダーに登録されます。「明日」、「今週」、「そろそろ」のような時期を表す単語を含めて話しかけると、メモに合わせたタイミングでエモパーがお伝えします。

◎ 「エモパーメモ」の「登録するカレンダー」をタップすると、エモパーが記憶するメモの登録先を設定できます。

■ エモパーヘルスケアを利用する

お客様の体重や歩数を気にかけたり、応援したりすることで、健康維持やダイエットをサポートします。体重はエモパーメモと同じ手順で話しかけることで記憶できます。

- エモパーに体重を話しかける際は、「今日の体重 XX.Xキロ」のように話しかけてください。
- 記憶したお客様の体重や歩数は、からだメイトで管理されます。
- 株式会社タニタの一部の体組成計と連携することで、体重を覚えることもできます。
 - ・ 体組成計との連携については、エモパー設定画面→[エモパーヘルスケア]→[タニタ体組成計との連携]と操作し、画面に従って操作してください。
 - ・ エモパーが連携できる体組成計の機種については、「公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)」をご確認ください。

■ 公式エモパー情報サイト EMOPARK(エモパーク)について

エモパーは、使いかたの改善や変更、お話しするバリエーションの増加などを目的に、Google Playからアップデートすることがあります。

本書の内容から変更されることがありますので、エモパーに関する最新の情報については、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)をご覧ください。

<http://k-tai.sharp.co.jp/dash/emopa/>

ゲーミングメニュー

ゲーミングメニューを利用する

ゲーミングメニューを利用すると、ゲームプレイ中の通知のブロックなど便利な機能を使用できたり、ゲームの操作にかかわる表示の設定を行えます。

■ ゲーミングメニューの設定をする

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[AQUOSトリック]→[ゲーミングメニュー]

ゲーミングメニューの設定ページが表示されます。

2	ゲーム画質	ゲームに最適な画質にするかどうかを設定します。
	パフォーマンス	登録したアプリの表示解像度について設定します。
	メニューを表示	登録したアプリの起動中、ゲーミングメニューのフローティングアイコンを表示するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • フローティングアイコンをタップして表示されるメニューについて詳しくは、「フローティングアイコンから表示するメニューを利用する」(▶P.58)をご参照ください。
	使い方ガイド	フローティングアイコンから表示するメニューの使いかたを表示します。
	検索設定	フローティングアイコンから表示するメニューでゲームに関する情報を検索する際のキーワードについて設定します。
	インテリジェントチャージ	インテリジェントチャージについて設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 詳しくは、「バッテリーの設定をする」(▶P.70)をご参照ください。
	登録ゲーム設定	インストールされている対象アプリを一覧表示します。アプリ利用時にゲーミングメニューの設定を反映するかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 有効に設定したアプリは「ゲーム個別設定」欄に登録されます。
	インストール時に通知	アプリをインストールしたときに「登録ゲーム設定」を有効に設定する通知を表示するかどうかを設定します。
	よくあるご質問	サポートサイトに接続し、「よくあるご質問」を確認できます。

パフォーマンスについて

◎ 設定を適用すると、起動中のアプリが自動的に終了する場合があります。

■ 個別設定をする

「登録ゲーム設定」で有効に設定したアプリは「ゲーム個別設定」欄に登録され、アプリごとに個別設定を行うことができます。

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[AQUOSトリック]→[ゲーミングメニュー]

2 「ゲーム個別設定」欄からアプリを選ぶ

3	動作ブロック	意図しない様々な動作をまとめてブロックするかどうかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • 「動作ブロック」をタップすると、「ジェスチャー操作」(▶P.24)の「1つ前の画面に戻る」や「明るさの自動調節」(▶P.70)、「Clip Now」(▶P.72)などをそれぞれ無効にするかどうかを設定できます。
	ゲーム起動中の通知をブロック	登録したアプリの起動中に通知をブロックするかどうかを設定します。
	ゲーム起動中の電話着信をブロック	登録したアプリの起動中に着信をブロックするかどうかを設定します。
	エッジコントロール	タッチ操作に反応しない範囲を画面の上下左右に設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • タッチ操作に反応しない範囲はフローティングアイコンから表示するメニューで変更できます。

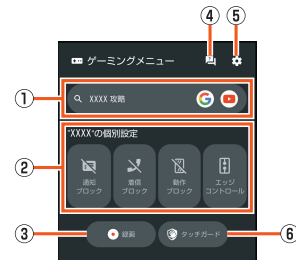
■ フローティングアイコンから表示するメニューを利用する

「登録ゲーム設定」で有効に設定したアプリを起動中に表示されるゲーミングメニューのフローティングアイコンをタップすると、ゲーム画面の録画や攻略サイトの検索などができるメニューが表示されます。

1 登録したアプリの画面で「」が重なったアプリアイコンをタップ

メニューが表示されます。

2 メニューを利用する



① 検索

ゲームに関する情報を検索する際のキーワードについて設定します。表示されているアプリアイコンをタップすると、選択したアプリで検索します。

② 個別設定

「個別設定をする」(▶P.58)で設定した内容が反映されます。各項目をタップすると、有効/無効を切り替えます。

- 「エッジコントロール」を有効にすると、タッチ操作に反応しない範囲を設定できます。

③ 録画

ゲーム画面を録画します。

④ FAQ

シャープのサイトに接続し、「よくあるご質問」内を「アプリの名称+不具合」のキーワードで検索します。

⑤ 設定

ゲーミングメニューの設定ページを表示します。

⑥ タッチガード

タッチパネルで操作できないように設定します。

- タッチガードを解除する場合は、「」を「」までドラッグしてください。

◎ パブル機能がOFFの場合は、登録したアプリを起動中でもゲーミングメニューのフローティングアイコンは表示されません。「パブル」(▶P.69)の「アプリにパブルの表示を許可」をONに設定してください。

ファイル管理

ファイル管理	60
本製品の保存領域について	60
microSDメモ리카ードを利用する	60
パソコンなどと接続する	60
USBホスト機能を利用する	61
ストレージに関する設定をする	61
Filesを利用する	61

ファイル管理

本製品の保存領域について

本製品は、本体メモリとmicroSDメモ리카ードにデータを保存することができます。

本体メモリ	アプリケーションや各アプリケーションが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
microSDメモ리카ード	メディアファイルなどを保存します。

- ◎ アプリケーションによってはmicroSDメモ리카ードに保存するメニューやメッセージが表示されても、本体メモリに保存される場合があります。
- ◎ 本体メモリやmicroSDメモ리카ード内のデータは、「ストレージ」(▶P.61)機能を利用したり、パソコンと「ファイル転送 / Android Auto」(▶P.60)で接続すると、確認や移動などを行うことができます。ただし、アプリケーションなど、一部のデータは確認や移動することはできません。

microSDメモ리카ードを利用する

microSDメモ리카ードについて

microSDメモ리카ード(microSDHCメモ리카ード、microSDXCメモ리카ードを含む)を本製品に取り付けることにより、データを保存 / 移動 / コピーすることができます。

- ◎ 他の機器でフォーマットしたmicroSDメモ리카ードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品でフォーマットしてください。フォーマットについて詳しくは、「microSDメモ리카ード / USBメモリをフォーマットする」(▶P.61)をご参照ください。
- ◎ microSDメモ리카ード内のデータは「Files」アプリなどで確認できます。詳しくは、「データを表示する」(▶P.61)をご参照ください。
- ◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモ리카ードへ移動 / コピーは行っても本製品で再生できない場合があります。
- ◎ microSDXCメモ리카ードは、SDXC対応機器でのみご使用いただけます。万一、SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモ리카ードを差し込んだ場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットはしないでください。SDXC非対応の機器でmicroSDXCメモ리카ードをフォーマットした場合、microSDXCメモ리카ードからデータが失われ、異なるファイルシステムに書き換えられます。また、microSDXCメモ리카ード本来の容量で使用できなくなることがあります。

取扱上のご注意

- ・ microSDメモ리카ードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えないでください。データが壊れるおそれがあります。
- ・ 本製品はmicroSD / microSDHC / microSDXCメモ리카ードに対応しています。対応のmicroSD / microSDHC / microSDXCメモ리카ードにつきましては、各microSDメモ리카ード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

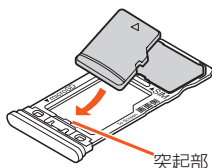
microSDメモ리카ードを取り付ける

microSDメモ리카ードの取り付けは、ディスプレイ面を上向きに行ってください。

- ・ SIMカード / microSDメモ리카ードトレイの着脱について詳しくは、「SIMカードを取り付ける」(▶P.19)をご参照ください。

- 1 ミゾに指先をかけて、SIMカード / microSDメモ리카ードトレイを引き出す**
- 2 microSDメモ리카ードの端子(金属)面を下向きにして、SIMカード / microSDメモ리카ードトレイの突起部に押し当てながら取り付ける**
microSDメモ리카ードの向きに注意して、確実にカードトレイに取り付けてください。
microSDメモ리카ードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。
浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。
- 3 SIMカード / microSDメモ리카ードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む**

- ◎ microSDメモ리카ードには、表裏 / 前後の区別があります。無理に取り付けると、破損するおそれがあります。
- ◎ microSDメモ리카ードの端子部には触れないでください。



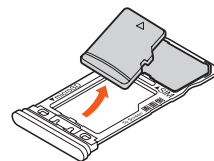
突起部

microSDメモ리카ードを取り外す

microSDメモ리카ードの取り外しは、ディスプレイ面を上向きに行ってください。

- ・ SIMカード / microSDメモ리카ードトレイの着脱について詳しくは、「SIMカードを取り付ける」(▶P.19)をご参照ください。

- 1 ミゾに指先をかけて、SIMカード / microSDメモ리카ードトレイを引き出す**
引き出すときに、microSDメモ리카ードがカードトレイから外れて、紛失したりしないようにご注意ください。
- 2 microSDメモ리카ードをSIMカード / microSDメモ리카ードトレイから取り外す**



- 3 SIMカード / microSDメモ리카ードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む**

- ◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモ리카ードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

パソコンなどと接続する

本製品とパソコンなどをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続して、本製品と接続した機器間の高速データ転送が利用できます。また、音楽 / 動画データの転送も可能です。

- ・ パソコンとの接続方法について詳しくは、「パソコンを使って充電する」(▶P.20)をご参照ください。

- 1 パソコンと本製品を接続**
- 2 USB の設定画面の「このデバイス」が有効になっていることを確認**
USB の設定画面が表示されない場合は、ステータスバーを下にスライドし、USB接続の通知をタップしてください。
- | | | |
|---|-----------------------|---|
| 3 | ファイル転送 / Android Auto | MTPIに対応したパソコンのデータと本体メモリやmicroSDメモ리카ードの間でデータを転送する場合や、Android Auto™に対応した自動車にUSB接続してAndroid Autoを起動する場合に設定します。 |
| | USB デザリング | USB デザリングを利用します。
・ 詳しくは、「USB デザリング機能を利用する」(▶P.66)をご参照ください。 |
| | MIDI | 本製品をMIDI入力に使用します。 |
| | 写真や動画の転送 (PTP) | MTPIに対応していないパソコンと接続する場合に設定します。
・ パソコンと本体メモリの間で画像などを転送することができます。 |
| | 充電 | 充電のみを行います。 |
| | 動画を AVC に変換 | 本製品に保存されたH.265動画をH.265非対応のパソコンへ転送する際に、自動でH.264動画に変換するかどうかを設定します。 |
- 4 充電や転送終了後、USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品から取り外す**
USB Type-Cケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜いてください。

- ◎ Windows 8.1 / Windows 10 / Windows 11以外のOSでの動作は、保証していません。
- ◎ USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- ◎ データの読み書きをしている間にUSB Type-Cケーブル(市販品)を取り外すと、データを破損するおそれがあります。取り外さないでください。

接続した機器がロールスワップ機能に対応している機器の場合
ロールスワップ機能に対応している機器同士で接続すると、データ通信のデバイスとホストの役割を入れ替えることができます。
◎ USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品に接続したときに表示されるUSBの設定画面で「接続済みのデバイス」を有効にすると、本製品がホストの役割となり接続した機器のファイル进行操作することができます。相手側の機器でファイル操作を許可するなどの操作が必要な場合は行ってください。

動画を AVC に変換について

- ◎ H.264動画に変換すると、画質が低下することがあります。
- ◎ 動画によっては変換できない場合があります。変換には次の条件が必要となりますので、変換できない場合はご確認ください。
 - ・ 再生時間が1分以内の、本製品で撮影された動画
 - ・ 動画の保存先が本体メモリであり、保存されたフォルダから移動していないデータ
 - ・ 変換時、Google Play システムアップデートが最新の状態

USBホスト機能を利用する

本製品にはUSBホスト機能が搭載されています。周辺機器接続用USBケーブル(市販品)を外部接続端子に接続することで、USB機器(市販品)を利用することができます。

- USBホスト機能を使用する前に本製品を充電してください。
- 消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、本製品の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に本製品の電源が切れることがあります。
- USBメモリを取り付けた場合の操作については、「ストレージを確認する」(▶P.61)をご参照ください。

- 1 **本製品の外部接続端子に周辺機器接続用USBケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグを差し込む**
- 2 **周辺機器接続用USBケーブル(市販品)にUSB機器を接続する**

- ◎ すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。
- ◎ USBホスト機能の利用中は本製品の動作が遅くなる場合があります。

ストレージに関する設定をする

ストレージを確認する

- 1 **ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ストレージ]**
ストレージ画面が表示されます。
本体メモリの使用容量/合計容量などが確認できます。
 - 2 **[このデバイス]→[SDカード]/USBメモリ名*を選択**
microSDメモリカード、USBメモリの使用容量/合計容量などが確認できます。
 - 「ファイル」をタップすると選択したストレージに保存されているデータの一覧が表示されます。
 - ※ USBメモリ(市販品)を接続している場合に表示されます。
- microSDメモリカードやUSBメモリのマウントを解除する**
- 1 **ストレージ画面→[このデバイス]→[SDカード]/USBメモリ名を選択**
 - 2 **[]→[取り出し]**
マウントを解除したmicroSDメモリカードやUSBメモリを再度マウントする場合は、ストレージ画面→[このデバイス]→[SDカード]/USBメモリ名を選択→[]→[マウント]と操作します。

メモリ容量について

- ◎ メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。

microSDメモリカードのマウント解除について

- ◎ データが壊れる(消去される)ことがありますので、microSDメモリカードにデータを保存中はマウント解除操作を行わないでください。

USBメモリの取り外しについて

- ◎ USBメモリをマウント解除してから行ってください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

microSDメモリカード/USBメモリをフォーマットする

フォーマットを行うと、microSDメモリカード/USBメモリに保存されているデータがすべて消去されます。

- 1 **ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ストレージ]**
- 2 **[このデバイス]→[SDカード]/USBメモリ名を選択**
- 3 **[]→[フォーマット]**
- 4 **[SDカードをフォーマット]/[USBドライブをフォーマット]**
- 5 **[完了]**

- ◎ フォーマットは、充電しながら行うか、電池残量が十分ある状態で行ってください。

Filesを利用する

データを表示する

本体メモリやmicroSDメモリカードの画像・動画・音声・ダウンロードしたデータなどのコンテンツを管理することができます。

- 1 **ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Google]→[Files]**
- 2 **カテゴリを選択**
- 3 **データを選択**

本体内のファイルをmicroSDメモリカードにコピーする

- 1 **ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[Google]→[Files]**
- 2 **[内部ストレージ]**
- 3 **コピーするフォルダ/ファイルをロングタッチ→[]→[コピー]→[SDカード]**
- 4 **コピー先の階層を表示→[ここにコピー]**

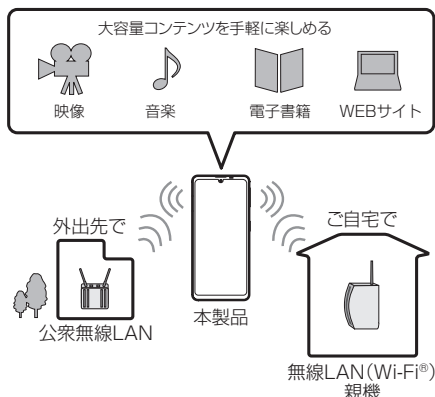
データ通信

無線LAN(Wi-Fi®)機能	64
無線LAN(Wi-Fi®)機能について	64
無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する	64
Wi-Fi Direct®を利用する	64
Bluetooth®機能	65
Bluetooth®機能の利用について	65
Bluetooth®を利用する	65
Bluetooth®でデータを送受信する	65
テザリング機能	66
テザリングについて	66
Wi-Fi®テザリング機能を利用する	66
USB テザリング機能を利用する	66
Bluetooth® テザリング機能を利用する	66
イーサネット テザリング機能を利用する	66

無線LAN(Wi-Fi®)機能

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。Wi-Fi®を利用してインターネットに接続するには、あらかじめ接続するアクセスポイントの登録が必要になります。



- ◎ ご自宅などご利用になる場合は、インターネット回線とアクセスポイント(無線LAN(Wi-Fi®)親機)をご用意ください。
- ◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のアクセスポイント設置状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- ◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客さまの判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。


無線LAN(Wi-Fi®)機能を利用する

無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする

- 1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi とモバイルネットワーク]
Wi-Fi とモバイルネットワーク設定画面が表示されます。
- 2 [Wi-Fi]をタップし、ONに切り替える
※タップするたびにON/OFFが切り替わります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

- 1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi とモバイルネットワーク]
Wi-Fi®機能がONの場合、Wi-Fi とモバイルネットワーク設定画面に接続可能なアクセスポイントが表示されます。
- 2 アクセスポイントを選択
保存済みのアクセスポイントを選択した場合は、接続が開始されます。接続するアクセスポイントがQRコード読み取り接続に対応している場合は、「QR」をタップし、QRコードを読み取って接続できます。
- 3 パスワードを入力→[接続]
[パスワードを表示する]を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

- ◎ アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
- ◎ お使いの環境によっては、通信速度が低下する場合やご利用にならない場合があります。
- ◎ インターネットへ接続されていないアクセスポイントに接続すると「」が表示されます。
- ◎ アクセスポイントを登録する場合は、アクセスポイント機器(無線LAN(Wi-Fi®)親機)側の取扱説明書や設定をご確認ください。

Wi-Fi®ネットワークに手動で接続する

- 1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi とモバイルネットワーク]
 - 2 [ネットワークを追加]
 - 3 ネットワークSSIDを入力→セキュリティを選択
- セキュリティを「なし」「Enhanced Open」に設定した場合
- 4 [保存]

■ セキュリティを「WEP」「WPA/WPA2-Personal」「WPA3-Personal」に設定した場合

- 4 パスワードを入力→[保存]
[パスワードを表示する]を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

■ セキュリティを「WPA/WPA2-Enterprise」「WPA3-Enterprise」「WPA3-Enterprise 192 ビット」に設定した場合

- 4 必要な項目を設定/入力→[保存]

- ◎ 「詳細設定」をタップすると、「非公開ネットワーク」「従量制」「プロキシ設定」「IP 設定」「プライバシー」に関する設定が行えます。
- ◎ 手動でアクセスポイントを登録する場合は、あらかじめアクセスポイント機器(無線LAN(Wi-Fi®)親機)のネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

アクセスポイントとの接続の設定を削除する

- 1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi とモバイルネットワーク]
- 2 接続中のアクセスポイントを選択→[削除]

アクセスポイントとの自動接続を設定する

アクセスポイントごとに自動接続するかどうかを設定できます。

- 1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi とモバイルネットワーク]
 - 2 [保存済みネットワーク]→設定を変更するアクセスポイントを選択
 - 3 「自動接続」をタップし、ON/OFFを切り替える
- 接続中のアクセスポイントに次回以降は自動接続しないように設定する

- 1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi とモバイルネットワーク]
- 2 接続中のアクセスポイントを選択→「自動接続」をタップし、OFFに切り替える



Wi-Fi とモバイルネットワーク設定画面のメニューを利用する

- 1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi とモバイルネットワーク]
- 2 [ネットワーク設定]

3	Wi-Fi を自動的にONにする	保存済みネットワークの検出時にWi-Fi®機能をONにするかどうかを設定します。
	利用可能なパブリックネットワークを通知する	パブリック ネットワーク(公衆無線LAN)を検出したとき、通知を表示するかどうかを設定します。
	証明書をインストール	Wi-Fi®の認証時に必要な証明書をインストールします。
	Wi-Fi Direct	▶P.64「Wi-Fi Direct®を利用する」
	構内IP電話設定	法人向けの内線通話用Wi-Fi®ハンドオーバーを利用するかどうかを設定します。

Wi-Fi Direct®を利用する

Wi-Fi Direct®を利用すると、アクセスポイントやインターネットを経由せずに、他のWi-Fi Direct®規格対応機器と、簡単にWi-Fi®接続することができます。

- 1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[Wi-Fi とモバイルネットワーク]
- 2 [ネットワーク設定]→[Wi-Fi Direct]
検出したWi-Fi Direct®規格対応機器が表示されます。目的の機器が表示されないときは、「」→[デバイスの検索]と操作し、再検索をしてください。
[]→[デバイス名を変更]→デバイス名を入力→[OK]と操作すると、他のWi-Fi Direct®規格対応機器から検索された場合に表示される名前を編集できます。
- 3 接続するWi-Fi Direct®規格対応機器を選択
- 4 画面に従って操作

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能の利用について

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®デバイスとワイヤレス接続できる技術です。

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
- ◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ◎ USB Type-Cケーブル(市販品)などが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

Bluetooth®を利用する

Bluetooth®を起動する

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[Bluetooth]
- 2 「Bluetooth を使用」をタップしてONに切り替える
「デバイス名」をタップすると他のBluetooth®機器から検索された場合に表示される名前を編集できます。


Bluetooth®機器と接続する

本製品からBluetooth®機器に接続する場合は、Bluetooth®機器とペア設定を行います。Bluetooth®機器との接続を解除しても、ペア設定は解除されません。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[Bluetooth]
- 2 [新しいデバイスとペア設定]
検出したBluetooth®機器一覧画面が表示されます。
Bluetooth®機器の種類に応じて、アイコンが表示されます。
- 3 接続するBluetooth®機器を選択
- 4 画面に従って操作し、Bluetooth®機器を認証
同じパスキー(ペア設定コード)が表示されていることを確認する旨のメッセージが表示された場合、接続するBluetooth®機器にも同じパスキーが表示されていることをご確認ください。
パスキー入力画面が表示された場合、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー(1~16桁の数字)を入力します。ペア設定が完了するとBluetooth®機器に接続されます。

- ◎ オーディオ出力とハンズフリー通話を同時に接続することができます。ただし、通話中はオーディオ出力の音が自動的に流れなくなります。
- ◎ ペア設定をしたBluetooth®機器がHSP、HFP、A2DP、HID、HOGPのいずれのプロファイルにも対応していない場合、接続が行われません。
- ◎ Bluetooth®機器が検索拒否する設定になっている場合は検出されません。設定の変更などについてはBluetooth®機器の取扱説明書などをご参照ください。
- ◎ パスキー入力は、セキュリティ確保のために制限時間が設けられています。

ペア設定したBluetooth®機器のメニューを利用する

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[接続済みのデバイス]
現在接続している機器やペア設定済みの機器がある場合は、名前が表示されます。
- 2 メニューを利用する機器の名前/[設定]をタップ
- 3 利用する機能をタップし、ON/OFFを切り替える
 - ・ [削除]→[このデバイスとのペア設定を解除]と操作すると、Bluetooth®機器とペア設定を解除します。
 - ・ 「接続を解除」/[接続]をタップするとBluetooth®機器との接続を解除/再接続します。
 - ・ 「」をタップすると、表示名を編集できます。

Bluetooth®でデータを送受信する

Bluetooth®でデータを受信する


本製品でデータを受信するには、Bluetooth®を起動後、相手機器(送信側)のデータ送信を待ちます。Bluetooth®の起動方法について詳しくは、「Bluetooth®を起動する」(▶P.65)をご参照ください。

- 1 相手機器からデータ送信
- 2 受信通知後、ステータスバーを下にスライド
- 3 ファイル着信の通知をタップ
- 4 [承諾]
- 5 受信完了後、ステータスバーを下にスライド
- 6 受信したファイルの通知をタップ
- 7 受信したデータを選択
再生/表示/登録するアプリケーションが複数存在する場合は、データを選択するとアプリケーションの選択画面が表示されます。画面に従って操作してください。

◎ 他のアプリがBluetooth®通信を行っている時、データ受信ができない場合があります。

Bluetooth®でデータを送信する

例: 静止画を送信する場合

- 1 ホーム画面→[
- 2 送信する静止画をロングタッチ→[共有]→[Bluetooth]
「Bluetooth」が表示されていない場合は、[その他]→[Bluetooth]と操作してください。
- 3 相手機器を選択

テザリング機能

テザリングについて

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をアクセスポイントとして使い、5G/4G(LTE/WiMAX 2+)データ通信や無線LAN(Wi-Fi®)通信、Bluetooth®通信を通じて無線LAN(Wi-Fi®)対応機器、USB対応機器、Bluetooth®対応機器をインターネットに接続させることをいいます。

◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。


Wi-Fi®テザリング機能を利用する

本製品をモバイルWi-Fi®ルーターとして利用できるよう設定します。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]

2 [Wi-Fiテザリング]

3 「Wi-Fiテザリングの使用」をタップしてONに切り替える
テザリングについての通知画面が表示された場合は内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

「」をタップすると、QRコード読み取り接続のQRコードを表示できます。

◎ Wi-Fi®テザリング機能利用中は、Wi-Fi®接続でインターネットに接続できません。

◎ Wi-Fi®テザリング機能利用中は、電池の消耗が激しくなります。充電しながらご利用になることをおすすめします。

Wi-Fi®テザリング機能の設定をする

無線LAN(Wi-Fi®)機能対応機器から本製品に接続するための設定を行います。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]

2 [Wi-Fiテザリング]

3 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

ネットワーク名	他の無線LAN(Wi-Fi®)機能対応機器から検索された場合に表示される名前(ネットワークSSID)を編集できます。
セキュリティ	セキュリティを設定します。
Wi-Fiテザリングのパスワード	セキュリティのパスワードを設定します。
Wi-Fiテザリングを自動的にOFFにする	他の機器から接続が無い状態が続くとWi-Fi®テザリングをOFFにするかどうかを設定します。

◎ 「セキュリティ」を「なし」に設定した場合、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。

USB テザリング機能を利用する

本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続し、本製品を介してパソコンをインターネットに接続することができます。

・あらかじめパソコンと本製品を接続しておいてください。パソコンとの接続方法について詳しくは、「パソコンを使って充電する」(▶P.20)をご参照ください。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]

2 [USB テザリング]

テザリングについての通知画面が表示された場合は内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

◎ Windows 8.1/Windows 10/Windows 11以外のOSでの動作は、保証していません。

Bluetooth® テザリング機能を利用する

本製品とパソコンなどをBluetooth®機能で接続し、本製品を介してパソコンなどをインターネットに接続することができます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]

2 [Bluetooth テザリング]

テザリングについての通知画面が表示された場合は内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

イーサネット テザリング機能を利用する

USB Type-C対応の有線LANアダプタ(市販品)を接続した本製品と、パソコンなどのEthernetポート搭載機器をEthernetケーブル(市販品)で接続して、インターネットに接続することができます。

・あらかじめパソコンなどと本製品を接続しておいてください。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[テザリング]

2 [イーサネット テザリング]

テザリングについての通知画面が表示された場合は内容をご確認の上、画面に従って操作してください。

端末設定

端末設定	68
設定メニューを表示する	68
ネットワークとインターネットに関する設定をする	68
接続済みのデバイスに関する設定をする	69
アプリの設定をする	69
通知の設定をする	69
バッテリーに関する設定をする	70
着信音とバイブレーションの設定をする	70
ディスプレイの設定をする	70
壁紙とスタイルの設定をする	71
AQUOSトリックに関する設定をする	71
ユーザー補助の設定をする	73
セキュリティに関する設定をする	73
位置情報の設定をする	74
パスワードとアカウントに関する設定をする	74
Digital Wellbeing と保護者による使用制限の設定をする	74
システムに関する設定をする	74
デバイス情報の設定をする	75
お困りのときは	75

端末設定

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]

項目	概要	参照先
電話番号	自分の電話番号が表示されます。	—
ネットワークとインターネット	Wi-Fi®や機内モード、テザリングなどネットワークについて設定します。	P.68
接続済みのデバイス	Bluetooth®やNFC、USBなど本製品と接続する機器について設定します。	P.69
アプリ	アプリの情報や利用した時間を確認したり、特別なアクセスをするアプリについて設定します。	P.69
通知	通知について設定します。	P.69
バッテリー	電池利用状況の確認や長エネスイッチの起動ができます。	P.70
ストレージ	本体メモリやmicroSDメモリーカード、USBメモリーの容量を確認したり、microSDメモリーカード/USBメモリーの初期化などを行います。	P.61
着信音とバイブレーション	本製品の音やバイブレーションなどについて設定します。	P.70
ディスプレイ	画面の明るさや文字フォントの切替などを行います。	P.70
壁紙とスタイル	ホーム画面/ロック画面の壁紙や、本製品のテーマなどについて設定します。	P.71
AQUOSトリック	本製品に搭載されている便利な機能の設定を行います。	P.71
ホーム切替	利用するホームアプリを切り替えることができます。 ・「AQUOSかんたんホーム」に設定することができます。	—
ユーザー補助	ユーザー補助サービスを設定します。	P.73
セキュリティ	本製品のセキュリティについて設定します。	P.73
プライバシー	権限やアカウントアクティビティ、個人データなどのプライバシーに関する設定を行うことができます。	—
位置情報	位置情報の測位について設定します。	P.74
緊急情報と緊急通報	緊急時情報の設定や緊急 SOS、緊急速報メールなどについて設定します。	—
パスワードとアカウント	利用するアカウントについて設定します。設定しているアカウントが「アカウントを追加」の上に表示されます。	P.74
Digital Wellbeingと保護者による使用制限	本製品の使用状況の確認や、使用制限を行います。	P.74
Google	Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。	—
システム	表示する言語や文字入力、日付と時刻について設定します。 また、データのバックアップや本製品の初期化などを行います。	P.74
デバイス情報	IMEIや電池の状態など、本製品の情報を確認できます。	P.75
お困りのときは	よくあるご質問、使いこなしガイド、セルフチェックなど困ったときの確認ができます。	P.75

◎「設定を検索」欄をタップすると、設定メニューの内容を検索できます。検索結果をタップすると、設定画面が表示されます。

ネットワークとインターネットに関する設定をする

ネットワークとインターネットの設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]

Wi-Fi とモバイルネットワーク	▶P.64「無線LAN(Wi-Fi®)機能をONにする」
通話とSMS*1	音声通話の発信、SMSの送信に使用するSIMについて設定します。

SIM	<p>SIM を使用 選択したSIMの有効/無効を切り替えます。</p> <p>通話の設定*1 音声通話の発信に使用するSIMについて設定します。</p> <p>SMS の設定*1 SMSの送信に使用するSIMについて設定します。</p> <p>モバイルデータ モバイル ネットワーク経由でデータにアクセスするかどうかを設定します。</p> <p>ローミング ▶P.84「データ通信を設定する」</p> <p>アプリのデータ使用量 データ使用量の確認やアプリごとのデータの使用量を確認できます。</p> <p>データ使用量の警告と制限 モバイル ネットワーク経由のデータ使用量について、月単位の測定開始日や警告を発するデータ使用量を設定します。</p> <p>MMS メッセージ*2 「モバイルデータ」がOFFの場合にMMSを送受信するかどうかを設定します。</p> <p>通話時のみデータ*3 通話時にモバイルネットワーク経由のデータ通信を許可するかどうかを設定します。</p> <p>優先ネットワークの種類 ▶P.84「海外でVoLTEを利用する」</p> <p>5G SA を使用*5 5G SAを使用するかどうかを設定します。</p> <p>ネットワークを自動的に選択 利用するネットワークを自動的に設定します。 ・タップして利用するネットワークを選択すると、自動選択機能は無効になります。</p> <p>ネットワークを選択 利用するネットワークを選択します。</p> <p>アクセス ポイント名 利用するアクセスポイントについて設定します。</p> <p>SIM を消去*4 eSIMの情報を削除します。</p>
機内モード	▶P.69「機内モードを有効に設定する」
テザリング	<p>Wi-Fiテザリング ▶P.66「Wi-Fi®テザリング機能を利用する」</p> <p>USB テザリング ▶P.66「USB テザリング機能を利用する」</p> <p>Bluetooth テザリング ▶P.66「Bluetooth® テザリング機能を利用する」</p> <p>イーサネット テザリング ▶P.66「イーサネット テザリング機能を利用する」</p>
データセーバー	<p>一部のアプリによるバックグラウンドでのデータ送受信を停止することで、データ使用量を抑制します。</p> <p>・データセーバー中もデータ通信を制限しないアプリについては、「モバイルデータの無制限利用」から設定することができます。</p>
VPN	<p>VPNの設定や管理を行います。</p> <p>・VPN(Virtual Private Network)とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。</p> <p>・VPNを追加する場合は、[+]→必要な項目を設定/入力→[保存]と操作します。</p> <p>・VPNに接続する場合は、VPN名を選択→ユーザー名とパスワードを入力→[接続]と操作します。</p> <p>・VPNを編集/削除する場合は、[⚙️]をタップします。</p>
プライベート DNS	プライベート DNSの設定をします。
プロキシ設定	プロキシについて設定します。

*1 SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合に操作できます。

*2 「モバイルデータ」がOFFの場合に表示されます。

*3 SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合、モバイルデータ通信に使用しないSIMの設定時に表示されます。

*4 eSIMのモバイル ネットワーク設定時に表示されます。

*5 表示される内容は、利用するSIMの種類などによって、異なる場合があります。また、5G SAサービスについて、詳しくはauホームページをご参照ください。
<https://www.au.com/mobile/service/5gsa/>

SIMについて

◎ [] をタップするとeSIMの追加設定を行うことができます。eSIMの追加設定につきましては、eSIMの提供元までお問い合わせください。

◎ [] をタップすると本製品に表示するSIMの名称や色を編集することができます。名称は初期設定では通信事業者名が登録されています。

◎ SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合は、設定するSIMを選択してください。

機内モードを有効に設定する

機内モードを有効に設定すると、ワイヤレス機能(電話、データ通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能など)がOFFになります。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]
- 2 「機内モード」をタップして有効に切り替える
 - ・お知らせ/ステータスパネルの機能ボタンからでも設定できます。(▶P.27)

- ◎ 航空機内や病院などをご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。
- ◎ 「機内モード」を有効に設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的に無効に設定されます。
- ◎ 「機内モード」を有効に設定すると、電話やメールの送受信ができなくなります。また、無線LAN(Wi-Fi®)、Bluetooth®機能がOFFになります。「機内モード」を有効にしているときに無線LAN(Wi-Fi®)、Bluetooth®を利用したい場合は、それぞれをONに設定し直してください。
 - ・Bluetooth®機器と接続中の場合は、Bluetooth®機能はOFFになりません。
- ◎ 「機内モード」を有効に設定すると、FMラジオの受信が停止します。航空機内でのFMラジオ機能のご利用はお控えください。

接続済みのデバイスに関する設定をする

接続済みのデバイスの設定をする

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[接続済みのデバイス]

現在接続している機器やペア設定済みの機器がある場合は、名前が表示されます。表示された機器の設定について詳しくは、「ペア設定したBluetooth®機器のメニューを利用する」(▶P.65)をご参照ください。
- 2

USB*	本製品とパソコンなどをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続したときの動作を設定します。 ・詳しくは、「パソコンなどと接続する」(▶P.60)をご参照ください。
新しいデバイスとペア設定	使用可能なBluetooth®機器とペア設定を行います。 ・詳しくは、「Bluetooth®機器と接続する」(▶P.65)をご参照ください。
接続の設定	▶P.69「接続の設定をする」
Bluetoothコーデック設定	Bluetooth®接続のコーデックについて設定します。

* 本製品にパソコンやUSB機器(市販品)を接続している場合にのみ表示されます。

接続の設定をする

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]
- 2

Bluetooth	▶P.65「Bluetooth®を起動する」
NFC/おサイフケータイ	▶P.52「NFC機能を設定する」
キャスト	本端末の画面と音声をキャストする機器を選択します。
印刷	▶P.69「印刷の設定をする」
Chromebook	Chromebook™との接続用の項目が表示されます。
ニアバイシエア	ニアバイシエアを使用して付近のデバイスとファイル共有する方法について設定します。
Android Auto	カーナビなどと接続し、自動車の画面でアプリを使用するAndroid Autoについて設定します。

キャストについて

- ◎ キャスト機能を利用する機器を設定すると、対応するアプリでキャストアイコン(📺)などが表示される場合があります。
- ◎ Miracast®機器との接続には対応していません。

印刷の設定をする

印刷用アプリ(プラグイン)をインストールすると、印刷機能に対応するアプリで印刷することができます。
・あらかじめ、利用するプリンタに対応した印刷用アプリ(プラグイン)をインストールしておく必要があります。
以下の操作で、印刷用アプリ(プラグイン)の設定が変更できます。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[接続済みのデバイス]→[接続の設定]→[印刷]
- 2 印刷サービスを選択→プリンタを選択→画面の指示に従って操作

- ◎ 対応するアプリケーションから印刷する場合に、表示内容と実際の印刷内容が異なる場合があります。
- ◎ 対応するアプリケーションから印刷する場合に、「PDF形式で保存」を選択すると、表示内容をPDFとして保存することができます。保存したPDFは「Files」アプリなどから確認できます。

アプリの設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[アプリ]

- 2

最近開いたアプリ	選択したアプリの詳細画面が表示され、アプリのアンインストールなどができます。表示される項目はアプリによって異なります。 ・Google Playなどからインストールしたアプリを選択すると「アンインストール」が表示されます。アンインストールを実行するとアプリは削除されます。 ・アプリによっては削除できないものもあります。 ・「XX 個のアプリをすべて表示」をタップすると、インストールされているアプリの一覧が表示されます。
デフォルトのアプリ	<p>デジタル アシスタント アプリ アシスタントアプリとして起動するアプリについて設定します。</p> <p>ブラウザアプリ Webページを開く際に使用するアプリを設定します。</p> <p>ホームアプリ 利用するホームアプリを切り替えることができます。 ・「AQUOSかんたんホーム」に設定することができます。</p> <p>電話アプリ 電話を行う際に使用するアプリを設定します。</p> <p>発信者番号 / 迷惑電話アプリ 迷惑電話などを着信した場合に自動検知するアプリを設定します。</p> <p>SMS アプリ SMSを行う際に使用するアプリを設定します。</p> <p>リンクを開く 他のアプリなどからの連携について設定します。</p>
利用時間	アプリの利用時間を確認したり、アプリごとに、使用できる1日の最大時間などを設定できます。
使用されていないアプリ	しばらく使用していないアプリを表示します。表示されたアプリは権限が削除され通知が停止されます。アプリの詳細画面で機能の設定ができます。
特別なアプリアクセス	デバイス管理アプリや、不明なアプリのインストールの設定など、特別なアクセスをするアプリについて設定します。

通知の設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[通知]

- 2
 - ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

アプリの設定	通知を許可するアプリを設定します。
通知履歴	通知を表示したアプリの確認ができます。
会話	優先度の高い会話や設定を変更した会話を表示します。
バブル	利用中のアプリに重ねて会話を表示するバブル機能について設定します。
ロック画面の通知を整理	ロック画面で一度見た通知を非表示にして、新しい通知を見やすくするかどうかを設定します。ただし、削除できない通知は表示されます。
デバイスとアプリの通知	通知を読み取れるアプリとデバイスについて設定できます。
ロック画面上の通知	ロック画面に表示する通知について設定します。
機密性の高い通知	・利用するには「画面ロック」(▶P.73)を「なし」/「スワイプ」以外に設定する必要があります。 ロック画面に表示する通知について、詳細を表示するかどうかを設定します。
サイレントモード	特定の連絡先からの着信、設定した時間帯での通知動作などについて設定します。 ・詳しくは、「サイレントモードを設定する」(▶P.28)をご参照ください。
緊急速報メール	緊急速報メール(緊急地震速報、津波警報、特別警報、災害・避難情報)の受信設定や受信音の音量など、受信に関する設定ができます。
ステータスバーにサイレント通知を表示しない	ステータスバーにサイレント通知のお知らせアイコンを表示するかどうかを設定します。
通知のスヌーズを許可	通知のスヌーズを許可するかどうかを設定します。
アプリアイコン上の通知ドット	通知がある場合に、アプリアイコンの上に通知ドットを表示するかどうかを設定します。
拡張通知	通知を表示したアプリの種類や利用状況などに応じて、通知を減らしたりサイレント通知にするかどうかを設定します。

バブルについて

- ◎ バブル機能は対応したアプリのみ利用することができます。

バッテリーに関する設定をする

バッテリーの設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[バッテリー]

健康度 (health level)	内蔵電池の充電能力がお買い上げ時に対してどのくらい残っているか、電池の状態 (健康度) を確認できます。
バッテリー使用量	電池使用量の確認やアプリごとの電池の使用状況を確認できます。
長エネスイッチ	▶P.70「長エネスイッチを利用する」
自動調整バッテリー	アプリの使用状況によって電池使用量を自動調整するかどうかを設定します。
インテリジェントチャージ	最大充電量を変更 充電中に電池残量が90%付近に達したとき、充電を停止してダイレクト給電に切り替えるか設定します。 画面消灯中のみ充電 充電機器を接続中に画面が点灯しているときは、充電を停止してダイレクト給電にするかどうかを設定します。 • 電池残量がかなり減っている場合、画面表示中でも一定量まで充電します。 電池の健康度 内蔵電池の充電能力がお買い上げ時に対してどのくらい残っているか、電池の状態 (健康度) を確認できます。
バッテリー残量	電池残量のパーセント表示をステータスバーに表示するかどうかを設定します。

インテリジェントチャージについて

- ◎ ダイレクト給電中は、充電を停止して充電器から直接電力を供給します。
- ◎ ダイレクト給電中も通常通り本端末をご利用いただけます。

長エネスイッチを利用する

長エネスイッチをONに設定することで本製品の機能を制限して、電池の消費を抑えることができます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[バッテリー]→[長エネスイッチ]

「長エネスイッチの使用」をタップすると、電池残量にかかわらず長エネスイッチのON/OFFを切り替えられます。

スケジュールの設定	設定した電池残量以下になった場合に、長エネスイッチを自動でONにするかどうかを設定します。
充電時に OFF にする	充電中に電池残量が90%になった場合に、充電後も長エネスイッチを自動でOFFにするかどうかを設定します。
画面の明るさを最小にする	長エネスイッチがONの場合に画面の明るさを最小値にするかどうかを設定します。

- ◎ 充電を開始すると長エネスイッチはOFFになります。

着信音とバイブレーションの設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[着信音とバイブレーション]

2	メディアの音量	メディア音 (音楽や動画など) の音量を設定します。
	通話の音量	通話時の音量を設定します。
	着信音と通知の音量	着信音・通知音の音量を設定します。
	アラームの音量	アラームの音量を設定します。
	イコライザー	音楽や動画などの音を調整します。
	サイレントモード	特定の連絡先からの着信、設定した時間帯での通知動作などについて設定します。 • 詳しくは、「サイレントモードを設定する」 (▶P.28) をご参照ください。
	着信音	電話の着信音に設定するデータを選択して登録します。
	自動字幕起こし	動画などの映像や音声を再生時の字幕表示機能について設定します。 • [(+) / (-)] を押して音量バーを表示させた後、「[]」 / 「[]」をタップして機能の有効 / 無効を切り替えることができます。
	メディア	音楽などを停止したときに、ステータスパネルに表示されるコントローラーを非表示にするかどうかを設定します。
	バイブレーションとハプティクス	着信時や通知時、タップ操作時などのバイブレーションの動作について設定します。
	着信音ミュート用のショートカット	「ジェスチャー」 (▶P.74) の「電源ボタン長押しでアプリ起動」を無効に設定している場合、[(+) と [(+) を同時に押して、「マナーモード (バイブ)」や「マナーモード (ミュート)」を設定できるようにします。
	デフォルトの通知音	デフォルトの通知音に設定するデータを選択して登録します。
	デフォルトのアラーム音	デフォルトのアラーム音に設定するデータを選択して登録します。
	ダイヤルパッドの操作音	電話番号やプッシュ信号入力時の操作音を有効にするかどうかを設定します。
	画面ロックの音	画面ロック / ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
	充電時の音とバイブレーション	充電開始時に音とバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。
	タッチ操作音	メニューやアイコン選択時の操作音を有効にするかどうかを設定します。
	バイブレーションモードのときにアイコンを常に表示	ステータスバーに「マナーモード (バイブ)」のステータスアイコンを表示するかどうかを設定します。

ディスプレイの設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ディスプレイ]

2	明るさのレベル	画面の明るさを設定します。
	明るさの自動調節	周囲の明るさに合わせて画面の明るさを自動的に調節するかどうかを設定します。
	ロック画面	プライバシー ロック画面に表示する通知について設定します。 ロック画面の通知を整理 ロック画面で一度見た通知を非表示にして、新しい通知を見やすくするかどうかを設定します。ただし、削除できない通知は表示されます。 ロック画面にテキストを追加 ロック画面に表示するテキストを設定します。 ウォレットを表示 「画面ロック」 (▶P.73) を「なし」 / 「スワイプ」以外に設定している場合に、ロックを解除しないでウォレットを表示するかどうかを設定します。 デバイスコントロールを表示 「画面ロック」 (▶P.73) を「なし」 / 「スワイプ」以外に設定している場合に、ロックを解除しないでデバイスコントロールを表示できるようにするかどうかを設定します。 ロックされたデバイスから操作する 「デバイスコントロールを表示」が有効の場合に、ロックを解除しないでデバイスコントロールの操作ができるようにするかどうかを設定します。 大きな時計表示 ロック画面に表示する通知がない場合に、時計を大きく表示するかどうかを設定します。 時計と情報を表示 画面消灯中に、日時や通知アイコンなどの情報を一定時間表示するかどうかを設定します。 タップで時計を表示 画面消灯中に、画面をタップして日時や通知アイコンなどの情報を表示するかどうかを設定します。 通知時にスリープ状態から復帰 通知を受信したときに画面を点灯させるかどうかを設定します。

画面消灯(スリープ)	画面が消灯するまでの時間を設定します。
画面消灯中の充電表示	充電中に画面消灯しているときに、電池残量や充電情報を画面に表示するかどうかを設定します。
ダークモード	黒基調の画面になるダークモードを利用するかどうかを設定します。 ・「ダークモード」をタップすると、ON/OFFが自動的に切り替わるスケジュールを設定できます。
表示サイズとテキスト	フォントサイズ 文字の大きさを設定します。 表示サイズ 文字やアイコンなどの大きさを設定します。 テキストを太字にする 文字を太字にして、視認性を向上させるかどうかを設定します。 高コントラスト テキスト 文字を黒または白で表示して、視認性を向上させるかどうかを設定します。 設定をリセット 表示サイズとテキストの各設定を初期化します。
文字フォント切替	文字のフォントを設定します。 ・「ダウンロードフォントを検索」をタップするとGoogle Playでフォントを検索します。Google Playの利用方法について詳しくは、「Google Playを利用する」(▶P.54)をご参照ください。
AQUOS Homeのカスタマイズ	AQUOS Homeについて設定します。 ・詳しくは、「ホーム画面を設定する」(▶P.26)をご参照ください。
コンテンツ表示設定	画面上部の拡張領域にもコンテンツを表示するかどうかを設定します。
基本設定	画質モードを設定します。
バーチャルHDR	標準動画をHDR動画のように表示するかどうかを設定します。
リラククスビュー	目に優しい画質(リラククスビュー)に関する設定を行います。有効にした場合の黄味の強さや、自動で有効にする時間帯を設定します。
アウトドアビュー	明るい日差しの下で見やすい画質にするかどうかを設定します。
画面の色温度	画面の色合いを調整します。
はっきりビュー	はっきり表示される画質に設定します。
画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示/横表示を切り替えるかどうかを設定します。
グローブモード	手袋をしたままで画面をタップして操作できるようにするかどうかを設定します。
スクリーンセーバー	スクリーンセーバーに表示する内容や、起動するタイミングを設定します。

リラククスビューについて

◎リラククスビューを有効にしても、カメラ利用時は画面が通常の画質で表示されます。
ただし、撮影画面からフォトの起動や直前に撮影したデータの表示を行った場合、画面はリラククスビューの画質で表示されます。

グローブモードについて

◎手袋の素材によってはタッチ操作ができない場合があります。
◎手袋をしていないときは、「グローブモード」をOFFにしてご利用ください。

壁紙とスタイルの設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[壁紙とスタイル]

2 画像を選択	ロック画面・ホーム画面の壁紙を設定します。表示された画像やアプリから壁紙を選択して、画面の指示に従って操作してください。
壁紙の色/基本の色	画面上のアイコンやボタン、背景などのテーマとなる色調を選択します。「壁紙の色」もしくは「基本の色」を選択し、表示される候補からテーマを選択してください。
テーマアイコン	ホームアプリのアプリアイコンを単色で表示するかどうかを設定します。単色の色調は選択したテーマが適用されます。
ダークモード	黒基調の画面になるダークモードを利用するかどうかを設定します。 ・詳しくは、「ディスプレイの設定をする」(▶P.70)をご参照ください。
文字フォント切替	文字のフォントを設定します。 ・詳しくは、「ディスプレイの設定をする」(▶P.70)をご参照ください。
ロック・ホームフォトシャッフル	ロック画面/ホーム画面の壁紙をランダムで切り替えます。 ・詳しくは、「ロック・ホームフォトシャッフルを設定する」(▶P.72)をご参照ください。
ロック画面表示	ロック画面の表示について設定します。 ・詳しくは、「ディスプレイの設定をする」(▶P.70)の「ロック画面」をご参照ください。

AQUOS Homeのカスタマイズ	AQUOS Homeについて設定します。 ・詳しくは、「ホーム画面を設定する」(▶P.26)をご参照ください。
-------------------	--

テーマアイコンについて

◎単色表示機能は対応したホームアプリ・アプリでのみ適用されます。

AQUOSトリックに関する設定をする

AQUOSトリックの設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[AQUOSトリック]

2 リッチカラーテクノロジーモバイル	基本設定 画質モードを設定します。 アウトドアビュー 明るい日差しの下で見やすい画質にするかどうかを設定します。 リラククスビュー 目に優しい画質(リラククスビュー)に関する設定を行います。有効にした場合の黄味の強さや、自動で有効にする時間帯を設定します。 バーチャルHDR 標準動画をHDR動画のように表示するかどうかを設定します。 はっきりビュー はっきり表示される画質に設定します。
ロック・ホームフォトシャッフル	▶P.72「ロック・ホームフォトシャッフルを設定する」
指紋センサーとPayトリガー	指紋登録 指紋の追加や登録名の変更、削除を行います。 ・詳しくは、「指紋を登録する」(▶P.24)をご参照ください。 Payトリガー ▶P.72「Payトリガーの設定をする」
スクロールオート	▶P.72「スクロールオートの設定をする」
Clip Now	▶P.72「Clip Nowの設定をする」
ゲーミングメニュー	▶P.58「ゲーミングメニューを利用する」
クイック操作	長押しでアプリ起動 ①(㊟)を長押しして設定したアプリを起動させるかどうかを設定します。 ・「長押しでアプリ起動」をタップすると、起動するアプリを設定できます。 ・機能を無効にした場合は、①(㊟)を長押しすると「電源メニュー」が表示されます。 2回押しでカメラの起動 ①(㊟)を2回押しして「カメラ」アプリを起動するかどうかを設定します。 システム ナビゲーション 本製品の操作方法を設定します。 ・システム ナビゲーションについて詳しくは、「システム ナビゲーションを変更する」(▶P.75)をご参照ください。
AQUOS Home	AQUOS Homeを使ってみる ホームアプリをAQUOS Homeに切り替えることができます。 ・AQUOS Homeについて詳しくは、「AQUOS Homeを利用する」(▶P.25)をご参照ください。 AQUOS Homeの設定 AQUOS Homeについて設定します。 ・詳しくは、「ホーム画面を設定する」(▶P.26)をご参照ください。
S-Shoin	ソフトウェアキーボードを「S-Shoin」に切り替えます。 ・ご利用になる場合は、あらかじめインストールしておく必要があります。「S-Shoinをダウンロード」をタップし、画面の指示に従って操作してください。

かんたんモード	<p>まとめてONにする かんたんモードの各設定を一括でONにします。</p> <p>かんたんホーム かんたんで見やすい「AQUOSかんたんホーム」に切り替えます。</p> <p>フォントサイズ(特大) 文字を大きく読みやすくします。</p> <p>3ボタンナビゲーション 本製品の操作方法を「3 ボタン ナビゲーション」に設定します。 ・3 ボタン ナビゲーションについて詳しくは、「タッチキーの使いかた」(▶P.75)をご参照ください。</p> <p>はっきりビュー はっきり表示される画質に設定します。</p> <p>S-Shoin一括シンプル切替 ソフトウェアキーボードを「S-Shoin」に切り替えます。S-Shoinは見やすいデザインに設定されます。 ・あらかじめS-Shoinをインストールしておく必要があります。詳しくは、「S-Shoin」(▶P.71)をご参照ください。</p> <p>長押しする時間(長め) 「タイミングの調節」(▶P.73)の「長押しする時間」を「長め」に設定します。</p>
Bright Keep	<p>持つと画面点灯 画面消灯中、本製品を持ち上げて静止したときに画面を点灯させるかどうかを設定します。 ・詳しくは、「持つと画面点灯について」(▶P.21)をご参照ください。</p> <p>持っている間は表示をキープ 本製品を手を持っている間、画面の点灯を維持するかどうかを設定します。</p> <p>ホーム画面では早めに暗くなる ホーム画面を表示したまま本製品を水平に一定時間置いて画面を微点灯させるかどうかを設定します。微点灯中に本製品を持ち上げると画面は点灯します。</p> <p>ホーム画面以外では表示をキープ ホーム画面以外の画面を表示したまま本製品を水平に置いている間は、操作を行わなくても画面の点灯を約15分間維持するかどうかを設定します。</p>
デザリングオート	▶P.73「デザリングオートの設定をする」
インテリジェントチャージ	インテリジェントチャージについて設定します。 ・詳しくは、「バッテリーの設定をする」(▶P.70)をご参照ください。
ロボクル設定	<p>ロボクルの動作 本製品をロボクル(別売)で充電しているときに、ロボクル(別売)を動作させるかどうかを設定します。</p> <p>ロボクルの詳しい情報はこちら シャープのサイトに接続し、ロボクル(別売)についての詳しい情報を確認できます。</p>

Bright Keepについて

◎ お使いの状況によっては正しく動作しない場合があります。

ロック・ホームフォトシャッフルを設定する

ロック画面／ホーム画面の壁紙をランダムで切り替えます。
・初期状態では、「ロックフォトシャッフル」はONに設定されています。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[AQUOSトリック]→[ロック・ホームフォトシャッフル]

2 ロックフォトシャッフル	ロック画面の壁紙をランダムに切り替えるかどうかを設定します。
ホームフォトシャッフル	ホーム画面の壁紙をランダムに切り替えるかどうかを設定します。
シャッフル間隔の設定	壁紙が切り替わる間隔を設定します。
選択した画像を確認	壁紙として表示される画像の一覧が表示され、壁紙に使用する画像を個別に設定できます。
画像を選択	壁紙に使用できる画像が保存されたフォルダを表示します。各フォルダをタッチすると、フォルダ毎／画像毎に壁紙として使用する画像を選択できます。

Payトリガーの設定をする

指紋でロックを解除時に、解除後も指紋センサーを押し続けて設定したアプリを起動させるかどうかを設定します。

・ホーム画面表示中／アプリ一覧画面表示中にも設定したアプリを起動させることができます。詳しくは、「起動するアプリを設定する」(▶P.72)をご参照ください。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[AQUOSトリック]→[指紋センサーとPayトリガー]

2 「Payトリガー」をONに切り替える

「」/「」をタップするたびに機能のON/OFFが切り替わります。

起動するアプリを設定する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[AQUOSトリック]→[指紋センサーとPayトリガー]→[Payトリガー]

2 起動アプリ	Payトリガーで起動するアプリを設定します。
Payトリガーフォルダ	Payトリガーでアプリを起動した後に切り替えるアプリを設定します。
起動時にPayトリガーフォルダも開く	Payトリガーでアプリを起動する際にPayトリガーフォルダを表示するかどうかを設定します。 ・あらかじめ「Payトリガーフォルダ」にアプリを複数設定しておいてください。
ホーム画面でいつでもPayトリガー	ホーム画面表示中／アプリ一覧画面表示中に指紋センサーを長押しすることで設定したアプリを起動させるかどうかを設定します。

スクロールオートの設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[AQUOSトリック]→[スクロールオート]

2 スクロールオート	スクロールオートを利用するかどうかを設定します。
対象アプリ設定	スクロールオートを動作させるアプリを設定します。
2本指でもスクロールオート	2本の指でスクロールオートを動作させるかどうかを設定します。

◎ スクロールオートは上下方向のみに対応しています。

画面の自動スクロールを利用する

1 スクロールする方向に画面をドラッグ→「」/「」までドラッグし指を離す

画面をドラッグした方向にスクロールを開始します。

- ・「2本指でもスクロールオート」がONの場合は、2本の指でスクロールする方向に「」/「」が表示されるまで画面をドラッグしても、スクロールオートが動作します。
- ・約5分間動作するとスクロールを停止します。
- ・スクロール速度を調整するには「」/「」をタップします。
- ・スクロールを一時停止、再開するには「」/「」をタップします。
- ・スクロールを停止するには画面をタップします。
- ・画面の自動スクロール利用中にスクロールオートの設定を確認／変更するには「」をタップします。

◎ 画面をドラッグする速度が速すぎると、動作しない場合があります。

◎ 画面の位置によっては、指を離しても自動スクロールしない場合があります。

Clip Nowの設定をする

画面右上／左上をロングタッチすることで表示中の画面を画像(スクリーンショット)として撮影できます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[AQUOSトリック]→[Clip Now]

2 Clip Now	Clip Nowを利用するかどうかを設定します。
使い方ガイド	Clip Nowについての説明を表示します。

◎ アプリケーションによっては全部または一部が保存できない場合があります。

Clip Nowでスクリーンショットを撮影する

1 保存したい画面をディスプレイに表示→画面右上／左上をロングタッチ
バイプレータが動作し、画面右上／左上を中心に円が表示されます。

2 2回目のバイプレータが動作したら指を離す

撮影したデータについて詳しくは、「スクリーンショットを撮影する」(▶P.54)をご参照ください。

テザリングオートの設定をする

位置情報に基づき、Wi-Fi®テザリングのON/OFFを自動で切り替える事ができます。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[AQUOSトリック]→[テザリングオート]

2	テザリングオート	テザリングオートを利用するかどうかを設定します。
	場所の設定	Wi-Fi®テザリングのON/OFFを切り替える場所を設定します。 ・場所は5件まで登録できます。
	テザリングがONになる時	設定した場所にいる時のみ 設定した位置情報の周囲にいるときはWi-Fi®テザリングを自動でONに、離れたときはOFFに切り替えます。 設定した場所以外にいる時のみ 設定した位置情報から離れているときはWi-Fi®テザリングを自動でONに、周囲にいるときはOFFに切り替えます。
	充電中のみON	本製品を充電している間のみテザリングオートを動作させるかどうかを設定します。
	自動OFF	位置情報にかかわらず、設定した電池残量以下になった場合に、Wi-Fi®テザリングをOFFにするかどうかを設定します。 ・「自動OFF」をタップすると、Wi-Fi®テザリングをOFFにする電池残量を設定できます。
	Wi-Fi®テザリングの詳細設定	Wi-Fi®テザリングの設定を行います。 ・詳しくは、「Wi-Fi®テザリング機能の設定をする」(▶P.66)をご参照ください。

ユーザー補助の設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ユーザー補助]

2		・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
	表示サイズとテキスト	文字や表示の大きさなどを設定します。 ・詳しくは、「ディスプレイの設定をする」(▶P.70)をご参照ください。
	色と動き	色味やアニメーションに関する設定を行います。
	さらに輝度を下げる	設定できる最低限の明るさよりも画面を暗くするかどうかを設定します。 ・「さらに輝度を下げる」をタップすると、輝度やショートカットに関する設定ができます。
	拡大	画面の拡大表示に関する設定を行います。
	スイッチ アクセス	Bluetooth®や外部接続端子に接続したスイッチもしくは、本製品のインカメラで検出した顔の動きを用いた本製品の操作に関する設定を行います。
	ユーザー補助機能メニュー	ユーザー補助機能メニューへのショートカットについて設定します。
	タイミングの調節	ロングタッチを検出する間隔やメッセージの表示時間など操作のタイミングに関する設定を行います。
	システム操作	システム ナビゲーションや(○)を押して通話を終了するかどうかなど、システムに関する設定を行います。
	バイブレーションとハプティクス	着信時や通知時、タップ操作時などのバイブレーションの動作について設定します。
	自動字幕起こし	動画などの映像や音声を再生時の字幕表示機能について設定します。 ・詳しくは、「着信音とバイブレーションの設定をする」(▶P.70)をご参照ください。
	字幕の設定	字幕について設定します。
	音声による説明	対応するサービスを利用中に、画面の表示内容の説明を音声で読み上げるかどうかを設定します。
	音声の調整	ステレオ音声の統合や左右の音量のバランス調整など、音声に関する設定を行います。
	ユーザー補助機能のショートカット	ユーザー補助機能へアクセスするショートカットに関する設定を行います。
	テキスト読み上げの設定	使用するエンジンや言語などテキスト読み上げに関する設定を行います。


◎ 上記以外にダウンロードしたアプリのユーザー補助機能が表示される場合があります。

セキュリティに関する設定をする

セキュリティの設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[セキュリティ]

2 ・メニューの項目は、ご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

Google Play プロテクト	Google Playのアプリケーションをインストールするときや、インストール済みのアプリケーションに不正な動作がないかスキャンする機能について設定します。
デバイスを探す	Googleアカウントによる遠隔操作で、本製品の位置情報を検出したり、画面のロックやデータの消去などを実行できるようにするかどうかを設定します。またデバイスを探す方法を確認できます。
セキュリティアップデート	ソフトウェア更新について確認します。 ・詳しくは、「ソフトウェアを更新する」(▶P.88)をご参照ください。
Google Play システム アップデート	Googleのシステムアップデートを確認します。
画面ロック	ロック画面の解除方法を設定します。 ・「  」をタップすると、画面消灯した後に解除方法が必要になるまでの時間など、画面ロックに関する設定を行います。
顔認証	▶P.25「顔を登録する」
指紋	▶P.24「指紋を登録する」
セキュリティの詳細設定	▶P.73「セキュリティの詳細設定をする」

画面ロックについて

- ◎ ロック画面を解除していない状態で「緊急通報」をタップして、110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)への電話はかけられます。
- ◎ 画面ロックを「パターン」/「PIN」/「パスワード」に設定している場合、各種設定を行うときにロック解除の画面が表示される場合があります。ロック解除の画面が表示された場合は、設定している方法でロックを解除してください。
- ◎ 画面ロックの解除方法として設定した「パターン」/「PIN」/「パスワード」をお忘れになった場合は、お客さまセンターにご連絡ください。なお、解除の際に設定やデータはすべて初期化されてしまう場合がありますので、ご了承ください。

セキュリティの詳細設定をする

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[セキュリティ]

2 [セキュリティの詳細設定]

3	Smart Lock	・利用するには「画面ロック」(▶P.73)を「なし」/「スワイプ」以外に設定する必要があります。 「信頼できる場所」の付近に本製品があるときや、「信頼できるデバイス」に接続しているときなど、特定の条件で自動的に画面ロックが解除されるように設定します。
	デバイス管理アプリ	アプリのデバイス管理機能を設定します。アプリによっては、デバイス管理機能を有効にしないと利用できないものがあります。
	SIM カードロック	・SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合、画面上部のタブで設定するSIMを選択します。 SIM カードをロック 起動時にPINコードを入力するかどうかを設定します。 SIM PINの変更 PINコードを変更します。 ・SIM PINを変更する場合は、「SIM カードをロック」を有効に設定してください。 ・画面に従って設定されているPINコードを入力し、新しいPINコードを登録します。
	暗号化と認証情報	スマートフォンの暗号化 本製品が暗号化されていることを確認できます。 信頼できる認証情報 安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスを許可します。 ユーザー認証情報 認証情報の確認やアンインストールができます。 証明書のインストール 暗号化された証明書を認証情報ストレージにインストールします。 ・画面に従って証明書のパスワードを入力し、証明書名を指定してください。 認証情報の消去 認証情報ストレージの内容を消去します。 証明書管理アプリ 証明書管理アプリについて設定します。
	信頼エージェント	画面ロックを解除するアプリ(エージェント)について設定します。
	アプリ固定	アプリ固定機能を利用するかどうかを設定します。アプリ固定機能を利用すると、固定を解除するまで選択したアプリを表示したままにすることができます。
	SIM の削除の確認	eSIMの情報を消去する前に本人確認を行うかどうかを設定します。

位置情報の設定をする

■ アプリケーションの位置情報リクエストを許可する

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[位置情報]
- 2 「位置情報を使用」をタップしてONに切り替える
 - ・お知らせ/ステータスパネルの機能ボタンからでも設定できます。(▶P.27)

■ 位置情報について設定する

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[位置情報]
- 2

最近のアクセス	位置情報を取得したアプリを表示します。表示されたアプリをタップするとアプリの詳細画面で機能の設定ができます。
アプリへの位置情報の利用許可	位置情報にアクセスできるアプリを設定します。
位置情報サービス	Googleのロケーション履歴や現在地の共有機能などについて設定します。 Googleのロケーション履歴や現在地の共有機能を設定する場合は、Googleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「初期設定を行う」(▶P.22)をご参照ください。

GPS機能について

◎ 電波が良好な場所でご利用ください。

パスワードとアカウントに関する設定をする

■ アカウントを追加する

利用するアカウントを追加します。追加したアカウントで保存したパスワードを管理したり、Googleの自動入力サービスを使用することもできます。

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[パスワードとアカウント]→[アカウントを追加]
 - 2 追加するアカウントの種類を選択
 - 3 画面に従って操作
- ### ■ データを同期する
- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[パスワードとアカウント]→アカウントを選択
 - 2 [アカウントの同期]
 - 3 同期する項目をタップし、ONに切り替える

◎ 「アプリデータを自動的に同期する」をONにすると各アカウントで設定された項目を自動的に同期することができます。

■ アカウントを削除する

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[パスワードとアカウント]→アカウントを選択
- 2 [アカウントを削除]→[アカウントを削除]

Digital Wellbeing と保護者による使用制限の設定をする

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[Digital Wellbeing と保護者による使用制限]
本製品の使用制限について設定する場合は、「保護者による使用制限を設定する」をタップし、画面の指示に従って操作してください。
- 2

ダッシュボード	本製品の利用時間や受信した通知の数などを確認できます。また、アプリの利用時間に制限を設けることができます。
おやすみ時間モード	設定した時間帯に画面をグレースケールにしたり、サイレントモードをONに設定します。
フォーカスモード	アプリを一時停止できます。
通知を管理	通知を表示するアプリが表示されます。アプリごとに通知を許可するかどうかを設定します。
サイレントモード	サイレントモードを設定します。 ・詳しくは、「サイレントモードを設定する」(▶P.28)をご参照ください。
前方注意	歩きながらのスマートフォンの使用をやめるよう促す通知を許可するかどうかを設定します。
アプリの一覧にアイコンを表示	Digital Wellbeingをアプリとしてアプリ一覧画面に表示するかどうかを設定します。

システムに関する設定をする






■ システムの設定をする

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]

2	言語と入力	▶P.74「使用する言語や文字入力の設定をする」
	ジェスチャー	カメラをすばやく起動 ①(Ⓞ)を2回押して「カメラ」アプリを起動するかどうかを設定します。 システム ナビゲーション ▶P.75「システム ナビゲーションを変更する」 片手モード ジェスチャー操作やユーザー補助機能ボタンなどを利用して画面を下方向に縮小したり、通知を表示したりできます。 タップで時計を表示 画面消灯中に、画面をタップして日時や通知アイコンなどの情報を表示するかどうかを設定します。 電源ボタン長押しでアプリ起動 ①(Ⓞ)を長押ししたときに起動するアプリを設定します。 ・無効に設定すると、電源メニューの表示方法が①(Ⓞ)の長押しに変更されます。 着信音のミュート 「電源ボタン長押しでアプリ起動」を無効に設定している場合、①(Ⓞ)と①(+))を同時に押して、「マナーモード(バイブ)」や「マナーモード(ミュート)」を設定できるようにします。
	日付と時刻	▶P.75「日付と時刻の設定をする」
	バックアップ	Googleアカウントを利用して、アプリのデータや通話履歴などを自動的にバックアップするかどうかを設定します。
	システム アップデート	▶P.88「ソフトウェアを更新する」
	データ引継	▶P.22「データを引き継ぐ」
	リセット オプション	Wi-Fi、モバイル、Bluetooth をリセット ネットワークに関する設定をすべてリセットします。 アプリの設定をリセット アプリケーションの各種設定をすべてリセットします。 ダウンロードされた eSIM を消去 eSIMの情報を削除します。 全データを消去(出荷時リセット) ▶P.75「本製品を初期化する」
	ハードウェアに関するフィードバック	ハードウェアに関するフィードバックを行うかどうかを設定します。
	電源メニュー	電源メニューを表示します。 ・詳しくは、「電源を入れる/切る」(▶P.21)をご参照ください。

■ 使用する言語や文字入力の設定をする

- 1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[システム]→[言語と入力]

2	言語	言語の表示を切り替えます。 ・言語を追加する場合は、「言語を追加」をタップし、言語を選択します。 表示する言語の優先順位は、「  」をドラッグして設定できます。 ・利用しない言語を削除する場合は、「  」→[削除]→削除する言語を選択→「  」→[削除]と操作します。
	アプリの言語	アプリごとに表示する言語を切り替えます。
	画面キーボード	ソフトウェアキーボードの設定や、有効/無効の切り替えを行います。
	物理キーボード	Bluetooth®や外部接続端子に接続したキーボードを利用する場合の設定をします。
	音声入力	音声入力に使用するエンジンについて設定します。
	テキスト読み上げの設定	使用するエンジンや言語などテキスト読み上げに関する設定をします。
	スペルチェック	Gboard利用時に入力された文字列のスペルをチェックするかどうかを設定します。
	単語リスト	Gboard利用時に使用する単語リストを表示します。 ・  をタップして単語などを入力すると、単語を登録できます。 ・登録した単語をタップすると編集できます。「  」をタップすると削除できます。
	ポインタの速度	ポインタの速度を調整できます。

言語について

◎ アプリや機能によっては、設定した言語では表示されない場合があります。

アプリの言語について

◎ アプリごとの言語切り替え機能は対応したアプリのみ利用することができます。

Gboardの設定をする

- 1 ホーム画面→「**アプリ一覧画面**」を表示→[設定]→[システム]→[言語と入力]→[画面キーボード]→[Gboard]

2	言語	入力言語を設定します。
	設定	Gboardの文字入力について詳細設定を行います。
	テーマ	キーボードのテーマを変更できます。
	テキストの修正	テキスト入力時に入力候補の予測や自動修正などをするかどうかを設定します。
	グライド入力	文字間をスライドして単語を入力するグライド入力について設定します。
	音声入力	Gboard利用時の音声入力について設定します。
	クリップボード	コピーした履歴をツールバーに表示するかどうかなど、クリップボードの機能について設定します。
	単語リスト	Gboard利用時に使用する単語リストについて設定します。
	絵文字、ステッカー、GIF	絵文字、ステッカー、GIFについて設定します。
	Gboard を共有	Bluetooth®やメールなどでGboardを共有します。
	詳細設定	その他の詳細設定を行います。
	評価のお願い	Gboardのフィードバックを行います。

◎ 機能によっては日本語キーボードでは使用できないものがあります。

システム ナビゲーションを変更する

「システム ナビゲーション」を「3 ボタン ナビゲーション」に設定すると、画面下部にナビゲーションバーが表示され、ナビゲーションバーに表示されるタッチキーなどを使用して本製品の操作を行います。
 ・ジェスチャー操作は無効になります。

- 1 ホーム画面→「**アプリ一覧画面**」を表示→[設定]→[システム]→[ジェスチャー]→[システム ナビゲーション]
 ホーム画面→「**アプリ一覧画面**」を表示→[設定]→[AQUOSトリック]→[クイック操作]→[システム ナビゲーション]と操作してもシステム ナビゲーションの設定や変更を行えます。

2 [3 ボタン ナビゲーション]

◎ 初期状態では「ジェスチャー ナビゲーション」に設定されています。「ジェスチャー ナビゲーション」に設定した場合の操作方法については、「ジェスチャー操作」(▶P.24)をご参照ください。

タッチキーの使いかた

表示されている画面によっては、次のアイコン以外のタッチキーが表示される場合があります。

アイコン	概要
	1つ前の画面に戻ります。
	表示中のソフトウェアキーボードを閉じます。
	ホーム画面を表示します。 ロングタッチするとアシスタントアプリが起動します。
	アプリ使用履歴画面を表示します。 アプリ使用履歴画面でタップすると1つ前に使用していたアプリに切り替わります。

◎ 次の操作で「」をロングタッチしたときにアシスタントアプリを起動するかどうかを設定できます。
 ホーム画面→「**アプリ一覧画面**」を表示→[設定]→[システム]→[ジェスチャー]→[システム ナビゲーション]→[3 ボタン ナビゲーション]の「」をタップ→[ホームボタンを長押ししてアシスタントを起動]
 ※「ホームボタンを長押ししてアシスタントを起動」をタップするたびに有効/無効が切り替わります。

日付と時刻の設定をする

- 1 ホーム画面→「**アプリ一覧画面**」を表示→[設定]→[システム]→[日付と時刻]

2	日時を自動的に設定	ネットワークから提供される日付・時刻情報をもとに自動で補正するかどうかを設定します。
	日付	日付を設定します。
	時刻	時刻を設定します。
	タイムゾーンを自動的に設定	ネットワークから提供されるタイムゾーンを使用するかどうかを設定します。
	タイムゾーンの設定に位置情報を使用	位置情報に基づいてタイムゾーンを自動で補正するかどうかを設定します。
	タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
	言語 / 地域で一般的な形式を使用する	時刻の表示方法を、ユーザーの言語 / 地域の標準に合わせて自動的に切り替えるかどうかを設定します。
	24時間表示	時刻の表示方法を、24時間表示にするかどうかを設定します。

本製品を初期化する

本体メモリをOSアップデート直後の状態に戻します(出荷時リセット)。

- 1 ホーム画面→「**アプリ一覧画面**」を表示→[設定]→[システム]→[リセット オプション]→[全データを消去(出荷時リセット)]

2 [すべてのデータを消去]

「SDカード内データを消去」をタップするとmicroSDメモ리카ード内のデータも消去できます。
 「ダウンロードされた eSIM を消去」をタップするとeSIMの情報も消去できます。

3 [すべてのデータを消去]

- ◎ 出荷時リセットを実行する前に本製品のデータをバックアップすることをおすすめします。
- ◎ 著作権保護されたデータによっては出荷時リセットを実行すると、利用できなくなる場合があります。
- ◎ 「SIM カードロック」は、出荷時リセットを実行してもリセットされません。
- ◎ 電池残量が少ないときは出荷時リセットできません。
- ◎ 次のデータは消去される例です。
 - ・撮影した写真
 - ・画像、動画、音楽など
 - ・システム、アプリのデータ、設定値
 - ・ダウンロードしたアプリ
 - ・Googleアカウント

デバイス情報の設定をする

- 1 ホーム画面→「**アプリ一覧画面**」を表示→[設定]→[デバイス情報]

- 2 ・下記以外に「AQUOS UX バージョン」や「IP アドレス」、「デバイスの Wi-Fi MAC アドレス」、「Bluetoothアドレス」、「稼働時間」、「ビルド番号」が確認できます。

デバイス名	本製品のデバイス名を変更できます。
電話番号(SIM スロット 1) / (SIM スロット 2)	自分の電話番号が表示されます。
法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。
規制ラベル	本製品に固有の認定および準拠マークに関する詳細(認証・認定番号を含む)を表示します。
電池の状態	内蔵電池の充電能力がお買い上げ時に対してどのくらい残っているか、電池の状態(健康度)を確認できます。
SIM ステータス(SIM スロット 1) / (SIM スロット 2)	SIMの情報を確認できます。
モデル	モデル名やシリアル番号を確認できます。
IMEI(SIM スロット 1) / (SIM スロット 2)	IMEI情報を確認できます。
Android バージョン	ソフトウェアのバージョンやAndroidセキュリティパッチの配信日、ビルド番号などが確認できます。
Wi-Fi MAC アドレス	保存済みネットワークを確認できます。

お困りのときは

- 1 ホーム画面→「**アプリ一覧画面**」を表示→[設定]→[お困りのときは]

2	よくあるご質問	サポートサイトに接続し、「よくあるご質問」を確認できます。
	設定項目を検索	どこにあるかわからない設定項目を検索できます。
	使いこなしガイド	本製品を使いこなすための各種情報やコンテンツを確認できます。
	セルフチェック	診断する 項目を選択して本製品の状態を診断できます。 ・「診断したい箇所を選ぶ」を選択した場合は、各項目の「」をタップすると、ヘルプが表示されます。 診断履歴 セルフチェックの履歴が表示されます。履歴を選択すると、詳細結果が表示されます。
	電源メニュー	電源メニューを表示します。 ・詳しくは、「電源を入れる/切る」(▶P.21)をご参照ください。

auネットワークサービス

auネットワークサービス.....	78
auのネットワークサービスについて	78
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)	78
着信転送サービスを利用する(標準サービス)	78
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)	78
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)	79
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)	79
三者通話サービスを利用する(オプションサービス)	80
割込通話サービスを利用する(オプションサービス)	81
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)	81
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)	81

auネットワークサービス

auのネットワークサービスについて

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

標準サービス	+メッセージ(SMS) (▶P.40) 着信お知らせサービス (▶P.78) 着信転送サービス (▶P.78) 発信番号表示サービス (▶P.78) 番号通知リクエストサービス (▶P.79)
有料オプションサービス*	お留守番サービスEX (▶P.79) 三者通話サービス (▶P.80) 割込通話サービス (▶P.81) 迷惑電話撃退サービス (▶P.81) 通話明細分計サービス (▶P.81)

* 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、au Style/auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ(<https://www.au.com/>)でご確認ください。

○ au以外の通信事業者のSIMから発信した場合は、auのネットワークサービスが利用できないことがあります。
発信に使用するSIMは、「通話とSMS」(▶P.68)で変更できます。

着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)

着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、電波の届かない場所にいた場合など、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。
電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

- 「着信お知らせサービス」を利用するには、あらかじめお留守番サービスEXの無応答・話中転送を設定してください。(▶P.79)
※ 有料オプションサービスをご契約していない場合も設定を行ってください。
- 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が19桁以上の場合にはお知らせしません。
- お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大100件です。
- 着信があってから約168時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
- ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービス総合案内(▶P.79)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
- 通話中などですぐにお知らせできない場合はお留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

着信転送サービスについて

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を選択できます。

- 緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)など一般に転送先として望ましくないとされる番号には転送できません。
- 着信転送サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.79)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
- au国際電話サービスでの転送はご利用いただけません。また、一部の国際電話事業者でも転送できない場合があります。

ご利用料金について

月額使用料	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ・電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ・お客さまのご負担となります。 ・海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する(無応答・話中転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

- 1 ホーム画面→[📞]→[📱]→「1422」を入力→[音声通話]
- 2 ガイダンスに従って転送先電話番号を入力
- 3 ガイダンスに従って操作

○ 無応答・話中転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 1 ホーム画面→[📞]→[📱]→「1424」を入力→[音声通話]
- 2 ガイダンスに従って転送先電話番号を入力
- 3 ガイダンスに従って操作

○ フル転送を設定している場合は、本製品は呼び出されません。

着信転送サービスを停止する

- 1 ホーム画面→[📞]→[📱]→「1420」を入力→[音声通話]

○ 着信転送サービスを停止すると、お留守番サービスも停止します。お留守番サービスを再度ご利用する場合は「お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)」(▶P.79)をご参照ください。

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

発信番号表示サービスについて

電話をかけた相手の方の電話機にお客さまの電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号をお客さまの端末のディスプレイに表示したりするサービスです。

■ お客さまの電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客さまの電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

- 発信者番号(お客さまの電話番号)はお客さまの大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気を付けてください。
- 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客さまの電話番号が表示されないことがあります。
- 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されます。

相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」(Private number)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」(Payphone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」(Unknown)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

電話番号を通知する

- 1 ホーム画面→[📞]→[📱]→[設定]
- 2 [通話アカウント]→通話アカウントを選択→[その他の設定]→[発信者番号]
- 3 [番号を通知]

- 電話をかけるとき、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
- 発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号」を「番号を通知」に設定していても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、お客さまセンターまでお問い合わせください。
- 「発信者番号」を「番号を非通知」に設定しても、緊急通報番号(110、119、118)への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

番号通知リクエストサービスについて

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

- ◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
- ◎ お留守番サービス(▶P.79)、着信転送サービス(▶P.78)、割込通話サービス(▶P.81)、三者通話サービス(▶P.80)のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.81)を同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

- 1 ホーム画面→[📞]→[📞]→「1481」を入力→[音声通話]
- 2 ガイダンスを確認する→[👉]

- ◎ 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「お客さまの電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎ 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・ 公衆電話、国際電話
 - ・ SMS
 - ・ その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

- 1 ホーム画面→[📞]→[📞]→「1480」を入力→[音声通話]
- 2 ガイダンスを確認する→[👉]

お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)

お留守番サービスEXについて

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード(▶P.69)を有効にしているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- ・ 本製品ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- ・ お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.79)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	7日間まで※1
お預かりできる件数	100件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。

※2 件数は伝言とボイスメール(▶P.79)の合計です。101件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわらず、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 <ul style="list-style-type: none">・ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

お留守番サービスEXに加入中の場合、総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更、英語ガイダンスの設定/日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定/解除、着信お知らせの開始/停止ができます。

- 1 ホーム画面→[📞]→[📞]→「141」を入力→[音声通話]
- 2 ガイダンスに従って操作

応答できない電話を転送する(無応答・話中転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を留守番電話サービスに転送します。

- 1 ホーム画面→[📞]→[📞]→「1411」を入力→[音声通話]

- ◎ 無応答・話中転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

- 1 ホーム画面→[📞]→[📞]→「1412」を入力→[音声通話]

- ◎ フル転送を設定している場合は、本製品は呼び出されません。

お留守番サービスを停止する

- 1 ホーム画面→[📞]→[📞]→「1420」を入力→[音声通話]

- ◎ お留守番サービスを停止すると、着信転送サービスも停止します。着信転送サービスを再度ご利用する場合は「着信転送サービスを利用する(標準サービス)」(▶P.78)をご参照ください。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客さまが設定された応答メッセージで応答します(▶P.80「応答メッセージの録音/確認/変更をする」)。
電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)手順2に進むことができます。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。
伝言を録音した後、手順3へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次の操作ができます。
「1」:録音した伝言を再生して、内容を確認する
「9」:録音した伝言を消去して、取り消す
「*」:録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

- ◎ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

- 1 ホーム画面→[📞]→[📞]→「1612」+相手の方のau電話番号を入力→[音声通話]
- 2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことをSMS(「伝言お知らせ」と表示)でお知らせします。

- ◎ お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は100件です。
- ◎ 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
- ◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

- 1 ホーム画面→[📶]→[📞]→[設定]→[通話アカウント]→通話アカウントを選択→[留守伝言再生]→[はい]
ホーム画面→[📶]→[📞]と操作し、「1417」を入力→[音声通話]もしくは、「1」をロングタッチ*しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。
*SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合は、発信に使用するSIMを選択してください。
- 2 ガイダンスに従ってキー操作
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。
「1」:同じ伝言をもう一度聞く
「7」:再生済みの伝言を全て消去
「9」:伝言を消去
「0」:伝言再生中の操作方法を聞く
「#」:次の伝言を聞く
「*」:前の伝言を聞く
- 3 [📶]

○ 留守番サービスの留守応答でお待ちした伝言も、ボイスメール(▶P.79)も同じものとして扱われます。

応答メッセージの録音/確認/変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定されている応答メッセージの内容を確認/変更などの設定を行うことができます。

- 1 ホーム画面→[📶]→[📞]→[1414]を入力→[音声通話]
- すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(個人メッセージ)
- 2 「1」を入力→「1」を入力→3分以内で応答メッセージを録音→「#」を入力→「#」を入力→[📶]
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。
- 電話番号の代わりに読み上げるお客様のお名前を録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(名前指定メッセージ)
- 2 「1」を入力→「2」を入力→10秒以内で名前を録音→「#」を入力→「#」を入力→[📶]
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。
- 設定/保存されている応答メッセージを確認する場合
- 2 「3」を入力→応答メッセージを確認→[📶]
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。
- 蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合(不在通知)
- 2 「1」を入力→「3」を入力→3分以内で応答メッセージを録音→「#」を入力→「#」を入力→[📶]
画面にキーパッドが表示されていない場合は、「キーパッド」をタップして表示します。

- 録音できる応答メッセージは、各1件です。
- ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
- 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「2」→「1」と入力すると標準メッセージに戻すことができます。
- 録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイダンスに従って「1」→「4」と入力すると標準メッセージに戻すことができます。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。

あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておく、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
詳しくは、「応答メッセージの録音/確認/変更をする」(▶P.80)をご参照ください。

- 1 ホーム画面→[📶]→[📞]→[1610]を入力→[音声通話]
- 2 ガイダンスを確認→[📶]

- 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
- 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止/開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

伝言の蓄積停止を解除する

- 1 ホーム画面→[📶]→[📞]→[1611]を入力→[音声通話]
- 2 ガイダンスを確認→[📶]

○ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止/開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

本製品以外のau電話、他社の携帯電話、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始/停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音/確認/変更などができます。

- 1 090-444-XXXXに電話をかける
上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
留守番転送設定(無条件)開始	1418
留守番転送設定(無条件)停止	1419
留守番再生	1415
留守番総合案内	1416

- 2 本製品の電話番号を入力

- 3 暗証番号(4桁)を入力
暗証番号については「各種暗証番号について」(▶P.15)をご参照ください。

- 4 ガイダンスに従って操作

- 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
- 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

- 1 ホーム画面→[📶]→[📞]→[14191]を入力→[音声通話]
英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。
 - 2 [📶]
- ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。

日本語ガイダンスへ切り替える

- 1 ホーム画面→[📶]→[📞]→[14190]を入力→[音声通話]
日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。
- 2 [📶]

三者通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例: Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

- 1 Aさんと通話中に[通話を追加]→Bさんの電話番号を入力
通話中に連絡帳や通話履歴から電話番号を呼び出すこともできます。
- 2 [音声通話]
通話中のAさんと通話が保留になり、Bさん呼び出します。
- 3 Bさんと通話
Bさんが電話に出ないときは、「📶」をタップするとAさんとの通話に戻ります。
「切り替え」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。また、「📶」をタップすると、通話中の相手の方との通話が終了し、保留中の相手の方との通話に切り替わります。
- 4 [統合]
3人で通話できます。
「管理」をタップすると三者通話を行っている相手の方を確認できます。
「📶」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

- 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
- 三者通話を開始したお客様が電話を切って、AさんとBさんの通話にすることはできません。
- 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
- 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
- 三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料がかかります)

割込通話サービスを利用する(オプションサービス)

割込通話サービスについて

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

- ◎ 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、修理からの返却時またはSIMカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかりません)

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面→[📞]→[☎]→「1451」を入力→[音声通話]

- ◎ 割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.79)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
- ◎ 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.81)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

割込通話サービスを停止する

1 ホーム画面→[📞]→[☎]→「1450」を入力→[音声通話]

割込通話を受ける

例: Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 「●」を上へスワイプ

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。「切り替え」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。また、「📞」をタップすると、通話中の相手の方との通話が終了し、保留中の相手の方との通話に切り替わります。

- ◎ 通話中に相手の方が電話を切ったときは、「📞」をタップすると、保留中の相手の方と通話できます。
- ◎ 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知/非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス)

迷惑電話撃退サービスについて

迷惑電話やいたずら電話がかかってきた後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
番号登録「1442」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

撃退する電話番号を登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 ホーム画面→[📞]→[☎]→「1442」を入力→[音声通話]

- ◎ 登録できる電話番号は30件までです。
- ◎ 電話番号の通知のない着信についても、登録できます。
- ◎ 登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「おかけになった電話番号への通話は、お客さまのご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
- ◎ 登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
- ◎ 登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
 - ・SMS

登録した電話番号を全件削除する

1 ホーム画面→[📞]→[☎]→「1449」を入力→[音声通話]

通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス)

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」などが記載されます。

1 ホーム画面→[📞]→[☎]→「131」+相手先電話番号を入力→[音声通話]

2 [📞]

- ◎ 分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
- ◎ 発信者番号を通知する/しないを設定する場合は、「186」/「184」を最初にダイヤルしてください。
- ◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
-------	----

海外利用

海外利用	84
au世界サービスについて	84
海外利用に関する設定を行う	84
渡航先で電話をかける	84
渡航先で電話を受ける	84
お問い合わせ方法	85
海外でのご利用上のご注意	85

海外利用

au世界サービスについて

au世界サービスとは、日本国内でご利用の本製品をそのまま海外でご利用いただけるサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM/UMTS/LTEネットワークでご利用いただけます。

- ・いつもの電話番号のまま、海外で通話・SMS・データ通信がご利用いただけます。
- ・特別な申し込み手続きや月額料金は不要で、ご利用料金は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。
※新規ご加入の場合、翌日から海外でのご利用が可能です。
ただし、オンラインショップでご加入の場合、日本国内で通話(発信)した翌々日よりご利用が可能です。
- ・ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

■ 対象エリア・料金を知る

<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/area-charge/>

■ 海外でのデータ通信ご利用方法と適用データ通信料金について

<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/check/>

■ 海外でご利用のお客さま ※渡航前に必ずご確認ください

https://www.au.com/information/notice_mobile/global/

- ◎ 日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額/割引サービスの対象となりません。
- ◎ 海外で着信した場合でも着信通話料がかかります。
- ◎ 発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
- ◎ 各国際サービスのご利用料金には消費税相当額は加算されません。

海外利用に関する設定を行う

本製品は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。

- ・海外で電源をオンにすると、海外の事業者のネットワークで通話とSMSがご利用いただけます。
- ・データ通信を行う場合は「ローミング」(▶P.84)を有効に設定します。

データ通信を設定する

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIM]

SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合は、設定するSIMを選択してください。

2 [ローミング]

※タップするたびに有効/無効が切り替わります。

- ◎ 5G NETまたは5G NET for DATAにご加入されていない場合は、海外でデータ通信を利用できません。
- ◎ サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細はauホームページにてご確認ください。
■ 世界データ定額
<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/sekai-data/>
■ 海外ダブル定額
<https://www.au.com/mobile/charge/data-option/kaigai-double-teigaku-lte/>

海外でVoLTEを利用する

海外でVoLTEを利用できるように設定します。

1 ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[ネットワークとインターネット]→[SIM]

SIMカード/eSIMの2種類をご使用の場合は、設定するSIMを選択してください。

2 [優先ネットワークの種類]→[5G(推奨)]/[4G]のどちらかを選択

※初期状態では「5G(推奨)」に設定されています。

- ◎ 5G NETにご加入されていない場合は、VoLTEを利用できません。
- ◎ VoLTEが利用できる国・地域についてはauホームページをご確認ください。
- ◎ 海外で通話やデータ通信の品質が悪い場合は、「優先ネットワークの種類」を「3G」にすると改善されることがあります。ただし、日本国内では「優先ネットワークの種類」を「5G(推奨)」で利用してください。
- ◎ サービス内容、料金、ご利用方法などの詳細はauホームページにてご確認ください。
<https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/volte/>

渡航先で電話をかける

au世界サービスを利用して、渡航先で電話をかけることができます。

1 ホーム画面→[☎]→[R]

2 「0」をロングタッチ

「+」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 相手先の国番号を入力

4 地域番号(市外局番)を入力

地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部例外もあります)。

5 相手の方の電話番号を入力→[音声通話]

例: 渡航先から日本の「03-1234-XXXX」にかける場合

+81(国番号)3(市外局番)1234XXXX(相手の方の電話番号)

例: 渡航先(アメリカ)からアメリカの「123-456-XXXX」にかける場合

+1(国番号)123(市外局番)456XXXX(相手の方の電話番号)

◎ 電話をかける相手の方が日本の携帯電話の場合は、相手の方の渡航先にかかわらず国番号として「81」(日本)を入力してください。

◎ 渡航先では、一部特番などかけられない電話番号があります。

◎ 国番号についてはauホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/global/call/country-code/>

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で、電話を受けることができます。

◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からであっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかります、着信側には着信通話料がかかります。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ 本製品からのお問い合わせ方法(通話料無料)

受付時間 24時間

1 ホーム画面→[☎]→[📞]

2 「0」をロングタッチ

「+」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 「81366706944」を入力→[音声通話]

■ 一般電話からのお問い合わせ方法

詳しい情報はauホームページの「海外からのお問い合わせ番号」をご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/global/inquiry/>

◎ 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をオフ/オン(再起動)することでご利用可能となる場合があります。

海外でのご利用上のご注意

■ 本製品を盗難・紛失したら

- 海外で本製品もしくはSIMカードを盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。詳しくは、「海外からのお問い合わせ」(▶P.85)をご参照ください。盗難・紛失された後に発生した通話料・データ通信料もお客さまの負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されているSIMカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします。SIMカードロックについては、「SIM カードロック」(▶P.73)をご参照ください。

■ auネットワークサービス(▶P.78)に関するご注意

- 以下のサービスは、au世界サービス「VoLTE」利用中以外はご利用いただけません。「VoLTE」利用中であっても、渡航先の通信事情によりご利用いただけない場合があります。
 - 着信転送サービス(標準サービス)の無応答転送・話中転送
 - お留守番サービスEX(オプションサービス)
 - 三者通話サービス(オプションサービス)*
 - 割込通話サービス(オプションサービス)
 - 通話明細分計サービス(オプションサービス)
 - 発信番号表示サービス(標準サービス)は、海外では電話番号が通知されない場合があります。海外では発信者番号通知の機能は無効になります。
 - 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
 - 渡航先で着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
 - 迷惑電話撃退サービス(オプションサービス)は、au世界サービス「VoLTE」利用中以外は受信拒否リストへの登録ができません。また、日本で登録した番号でも海外では迷惑電話撃退サービスが動作せず通常の接続となる場合があります。
- * au世界サービス「VoLTE」利用中であっても、グラム、サイバンではご利用いただけません。

付録・索引

付録.....	88
ソフトウェアを更新する.....	88
故障とお考えになる前に.....	88
アフターサービスについて.....	89
遠隔操作サポートを利用する.....	90
位置検索サポートを利用する.....	90
SIMロック解除について.....	90
周辺機器.....	90
主な仕様.....	90
携帯電話機の比吸収率(SAR)について.....	91
Regulatory information.....	91
FCC Notice.....	92
輸出管理規制.....	92
知的財産権について.....	93
索引.....	95

ソフトウェアを更新する

本製品は、ソフトウェア更新に対応しています。最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスやセキュリティ向上を実現し、最新の拡張機能を手に入れます。

- OSアップデートを含まないソフトウェア更新が必要な場合にWi-Fi®ネットワークに接続しているときは、自動的にソフトウェア更新用データをダウンロードし、深夜時間帯にソフトウェア更新を実行する場合があります。

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[システム]→[システム アップデート]

ソフトウェア更新が必要かどうかの確認を開始します。「アップデートをチェック」をタップして確認します。ソフトウェア更新が必要な場合は、ソフトウェア更新用データをダウンロードし、インストールすることができます。以降は画面の指示に従って操作してください。

OSアップデートを行う


OSアップデートとは、本製品のOSのバージョンアップを含むソフトウェア更新です。OSアップデートも、ソフトウェア更新の機能を利用して行うことが可能です。

1 ホーム画面→[アプリ一覧画面]を表示→[設定]→[システム]→[システム アップデート]

ソフトウェア更新が必要かどうかの確認を開始します。「アップデートをチェック」をタップして確認します。ソフトウェア更新が必要な場合は、ソフトウェア更新用データをダウンロードし、インストールすることができます。

2 [ダウンロードとインストール]

以降は画面の指示に従って操作してください。

- ステータスバーにが表示されている場合は、ステータスバーを下にスライドし、通知をタップして画面に従って操作してください。
- ソフトウェア更新中も他の機能をご使用いただけます。ただし、ソフトウェア更新の通知後10日間は、ソフトウェア更新中に他の機能を使用していると、インストールが一時的に停止されます。「再開」をタップすると、インストールが再開され、他の機能も使用可能になります。
- ご利用のWi-Fi®回線の状態によっては、利用可能なネットワークの自動検索を行い、Wi-Fi®からモバイルデータ通信に切り替わることがあります。この場合、当初意図したものと異なるデータ通信料が発生することがありますのでご注意ください。

ご利用上のご注意

- モバイルデータ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、ご利用の回線のご契約内容に応じたデータ通信料が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生しますので、ご自宅等のWi-Fi®環境がご利用可能な場合はWi-Fi®回線へ接続した上で、ソフトウェア更新することをお勧めします。
 - ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客さまにご案内させていただきます。詳細内容につきましては、au Style/auショップもしくはお客さまセンター(157/通話料無料)までお問い合わせください。また、SHG10をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要なSHG10をご利用のお客さまに、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
 - 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
 - ソフトウェア更新を完了するには本製品の再起動が必要です。
 - ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
 - ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、au Style/auショップもしくはトヨタau取扱店(一部ショップを除く)にお持ちください。
 - 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
 - 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
 - ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ(連絡帳、メール、静止画、音楽データなど)や設定情報は変更されません。ただし、本製品の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
 - 海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
 - OSアップデートを行うと、以前のバージョンへ戻すことはできません。
- ソフトウェア更新実行中は、次のことは行わないでください
- ソフトウェアの更新中は、移動しないでください。




故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に、「使い方サポート」アプリのかんたん診断をお試しください。

- かんたん診断は「使い方サポート」アプリから無料でご利用可能です。
- 診断結果に応じた解決方法もご確認いただけます。
- 「使い方サポート」アプリのダウンロードはこちらから。
<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.kddi.newsupport&hl=ja>



※「使い方サポート」アプリの[診断]→[かんたん診断]と操作してください。

こんなときは	ご確認ください
電池を利用できる時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> ■(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか? (▶P.27) • 内蔵電池が寿命になっていませんか? 電池の状態を確認してください。(▶P.20) • 十分に充電されていますか? (▶P.20)
電話がかかけられない	<ul style="list-style-type: none"> • 正しいSIMカードが挿入されていますか? (▶P.19) • eSIMのご利用には設定が必要です。eSIMの追加設定につきましては、eSIMの提供元までお問い合わせください。 • 電話番号が間違っていないですか? (市外局番から入力していますか?) (▶P.32) • 「機内モード」が有効に設定されていませんか? (▶P.69) • 「優先ネットワークの種類」が間違っていないですか? (▶P.84) • 電源は入っていますか? (▶P.21) • 電話番号入力後、「音声通話」をタップしていますか? (▶P.32)
電話がかかかってこない	<ul style="list-style-type: none"> • 電波は十分に届いていますか? (▶P.27) • サービスエリア外にいませんか? (▶P.27) • 「機内モード」が有効に設定されていませんか? (▶P.69) • 「優先ネットワークの種類」が間違っていないですか? (▶P.84) • 着信転送サービスが設定されていませんか? (▶P.78) • 電源は入っていますか? (▶P.21) • 正しいSIMカードが挿入されていますか? (▶P.19) • eSIMのご利用には設定が必要です。eSIMの追加設定につきましては、eSIMの提供元までお問い合わせください。 • 着信拒否が設定されていませんか? (▶P.35)
Wi-Fi®がつかまらない	<ul style="list-style-type: none"> • Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか? (▶P.27) • Wi-Fi®の設定をしましたか? (▶P.64)
ディスプレイの照明が暗い	<ul style="list-style-type: none"> • 「明るさのレベル」が暗く設定されていませんか? (▶P.70)
相手の方の声が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> • 通話音量が最小に設定されていませんか? (▶P.32) • 受話口を耳でふさいでいませんか? 受話口が耳の穴に当たるようにしてください。
カメラが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> • カメラの利用についてご確認ください。(▶P.47)
microSDメモリーカードを認識しない/目的のデータが見つからない	<ul style="list-style-type: none"> • microSDメモリーカードは正しく取り付けられていますか? (▶P.60) • microSDメモリーカードのマウントが解除されていませんか? (▶P.61) • 本体メモリーにデータを保存していませんか? microSDメモリーカード以外に本体メモリーにもデータを保存できます。(▶P.61)
キー/タッチパネルの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> • 「画面ロック」が設定されていませんか? (▶P.73) • 電源を切り、電源を入れ直してみてください。 • 電源は入っていますか? (▶P.21)
充電ができない	<ul style="list-style-type: none"> • 指定の充電用機器(別売)の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか? (▶P.20)
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> • 内蔵電池は充電されていますか? (▶P.20) • を長押ししていますか? (▶P.21)
操作できない/画面が動かない/電源が切れない	<ul style="list-style-type: none"> • とを同時に8秒以上長押しし、画面が消灯した後、指を離すと強制的に電源を切ることができます。しばらくしてから電源を入れ直してください。(▶P.21)
タッチパネルで意図した通りに操作できない	<ul style="list-style-type: none"> • 手袋などをしたままで操作していませんか? 手袋をしたまま操作する場合は「グローブモード」をONにしてください。(▶P.71) • 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか? • タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。(▶P.24) • 再起動してください。(▶P.21)

こんなときは	ご確認ください
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	・本製品に大量のデータが保存されているときや、本体メモリとmicroSDメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
SIMカードエラーや挿入されていない旨のメッセージが表示される	・正しいSIMカードが挿入されていますか？ (▶P.19) ・eSIMのご利用には設定が必要です。eSIMの追加設定につきましては、eSIMの提供元までお問い合わせください。
おサイフケータイ®が使えない	・電池が切れていませんか？ (▶P.20) ・おサイフケータイ®をロックしていませんか？ (▶P.52) ・本製品のマークがある位置を読み機にかざしていますか？ (▶P.52)
電源が勝手に切れる	・電池が切れていませんか？ (▶P.20)
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	・電池が切れていませんか？ (▶P.20)
<input checked="" type="checkbox"/> (圏外)が表示される	・電波は十分に届いていますか？ (▶P.27) ・サービスエリア外にいませんか？ (▶P.27) ・5G/4G/UMTSのアンテナ付近を手でおおっていませんか？ (▶P.18) ・正しいSIMカードが挿入されていますか？ (▶P.19) ・「優先ネットワークの種類」が間違っていないですか？ (▶P.84)
ディスプレイは点灯するが着信音が鳴らない	・マナーモードに設定されていませんか？ (▶P.28)
充電していたださいなどと表示された	・電池残量がほとんどありません。(▶P.20)
電話が勝手に応答する	・簡易留守録が設定されていませんか？ (▶P.35) ・マナーモードが設定されていませんか？ (▶P.28)
電話をかけたときに受話口から「ブーッ、ブーッ、ブーッ…」と音がしてつながらない	・電波は十分に届いていますか？ (▶P.27) ・サービスエリア外にいませんか？ (▶P.27) ・無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。
ディスプレイの照明がすぐに消える	・「画面消灯(スリープ)」が短く設定されていませんか？ (▶P.71)
イヤホンマイクのマイクが使えない	・イヤホンプラグが正しく挿入されていますか？ 奥までしっかり挿入してください。
連絡帳の個別の設定が動作しない	・相手の方から電話番号の通知はありますか？ 通知がない場合は、連絡帳の設定は有効になりません。 ・同じ電話番号が2件以上連絡帳に登録されていますか？ (▶P.36)
パソコンから本体メモリのデータを認識できない	・本体メモリを使用する場合は「ファイル転送 / Android Auto」で接続してください。(▶P.60)
パソコンからmicroSDメモリカードを認識できない	・microSDXCメモリカードを使用する場合は「ファイル転送 / Android Auto」で接続してください。(▶P.60)

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客さまのご要望により、有償修理いたします。

※保証期間は、本製品をお客さまが新規ご購入された日より1年間です。

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益に関して、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いの端末は、再生修理した上で交換用端末として再利用します。また、アフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客さまへ返却することはできません。
- ◎ 本製品を加工、改造、解析(ソフトウェアの改造、解析(ルート化などを含む)、リバーエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む)されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- ◎ 本体内蔵の電池は消耗品のため、保証対象外となります。
- ◎ 本製品の本体以外の付属品や試供品は無償修理保証の対象外です。

■ 補修性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 無償修理規定

1. 修理受付時は、製造番号(IMEI番号)の情報をお知らせください。製造番号(IMEI番号)は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
2. 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
3. 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。(または、修理ができません場合があります。)
① 取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
② 不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
③ 当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
④ 使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
⑤ 地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
4. 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
5. 製品の機器が故障したことにより、発生した損害および逸失利益に関しては負担いたしません。
6. 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
7. 出張による修理対応はお受けできません。
8. 本規定は、日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

※本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

■ 故障紛失サポート with Cloudについて

au/ UQ mobileの端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート with Cloud」をご用意しています。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。月額利用料およびサービスの詳細については、au/ UQ mobileホームページをご確認ください。

- ・ auをご契約のお客さま
<https://www.au.com/mobile/service/kosho-funshitsu-cloud/>
- ・ UQ mobileをご契約のお客さま
<https://www.uqwimax.jp/mobile/plan/option/repair-cloud/>

※ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au ICカード(SIMカード)について

au ICカード(SIMカード)は、auからお客さまにお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、au Style/auショップもしくはトヨタ au取扱店までお問い合わせください。

遠隔操作サポートを利用する

スマートフォンの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレーターがお客さまのスマートフォンの画面を共有し、お客さまの操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

※ご利用にあたっては使い方サポートまたは、auスマートサポート、auスマートパスプレミアム、auスマートパス、故障紛失サポート/故障紛失サポート with Cloudなどのいずれかにご加入いただくことでご利用いただけます。

詳しくはauホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/mobile/service/support-enkaku/>

1 お客さまセンター、使い方サポートセンター、auスマートサポートセンターまでお問い合わせ

auスマートパスプレミアム・auスマートパス会員は局番なしの157番（au電話から/通話料無料）、☎0077-7-1111（一般電話から/通話料無料）までご連絡ください。

使い方サポート会員は、専用アプリからご予約、または☎0120-984-955（一般電話から/通話料無料）までご連絡ください。
auスマートサポート会員は、auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。

2 オペレーターの指示に従って操作

位置検索サポートを利用する

本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターやお客さまのパソコンから本製品を遠隔操作で位置検索することができます。

※本製品を遠隔操作で位置検索する場合は、auスマートサポートまたはauスマートパス、auスマートパスプレミアム、故障紛失サポート/故障紛失サポート with Cloud、使い方サポート、安心サポートパックなどのいずれかへの加入が必要です。

位置検索をご利用いただくにあたって

位置検索をご利用いただくにあたって当社では、提供した位置情報に起因する損害および逸失利益に関して、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

また、サービスエリア内でも地下街などの電波の受信状態が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。

SIMロック解除について

本製品にはSIMロックはされていません。

他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

詳しくは、auホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/>

周辺機器

■ auキャリングケースGブラック(0106FCA) (別売)

■ TypeC共通ACアダプタ02(0602PQA) (別売)

◎ 周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。商品によってはお取り扱いを終了している場合がございます。

<https://onlineshop.au.com/>

主な仕様

■ 本体(SHG10)

ディスプレイ	約6.1インチ、約10億色、有機EL、2,432×1,080(FHD+)
重量	約158g(内蔵電池含む)
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約70mm×152mm×8.0mm(最厚部:約10.4mm)
メモリ(内蔵)	RAM:約6GB Internal Storage:約128GB
連続通話時間(国内)	約3,520分
連続待受時間(国内)	約820時間
Wi-Fi®デザリング最大接続数	10台
充電時間	TypeC共通ACアダプタ02(別売)使用時:約140分
撮影素子	標準カメラ、広角カメラ、インカメラ CMOSイメージセンサー
有効画素数	標準カメラ 約5,030万画素 広角カメラ 約800万画素 インカメラ 約800万画素
Bluetooth®機能	通信方式:Bluetooth®標準規格Ver.5.1 出力:Bluetooth®標準規格 BR/EDR; Power Class 1、LE; Power Class 1.5 通信距離*1:見通しの良い状態で10m以内 対応Bluetooth®プロファイル*2:HSP、HFP、A2DP、AVRCP、OPP、SPP、PBAP*3、HID、PAN(PAN-NAP)、PAN(PANU)、HOGP*4 使用周波数帯:2.4GHz帯
ネットワーク環境	IEEE802.11a/b/g/n(2.4GHz/5GHz)*5/ac*5*6準拠
インターフェース	USB Type-C端子、3.5φ(4極)イヤホンマイク端子(対応イヤホン:3極ヘッドホン(Lch/Rch/GND)、4極マイク付きイヤホン(Lch/Rch/GND/MIC))

※1 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

※2 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のごとで、Bluetooth®標準規格で定められています。

※3 連絡帳データの内容によっては、相手側の機器で正しく表示されない場合があります。

※4 Bluetooth®標準規格Ver.4.0に対応したプロファイルとなります。

※5 MIMOは未対応です。

※6 MU-MIMO(Clientモード)に対応しています。

(対応商品については各社ホームページをご覧ください。)

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

■ クイックスイッチアダプター(試供品)

サイズ(幅×高さ×厚さ)	約15mm×32mm×7.2mm
※縦置き時	
重量	約4.6g

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種【SHG10】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は1.365W/kg^(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.373W/kg^(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリーをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用を原因とするいかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones>
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ:

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

○一般社団法人電波産業会のホームページ:

<https://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>

○シャープのホームページ:

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

○auのホームページ:

<https://www.au.com/mobile/product/sar-list/>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

Regulatory information

In some countries/regions including Europe^{※1}, there are restrictions on the use of 5GHz WLAN that may limit the use to indoors only. Please check the local laws and regulations beforehand.

※1 Belgium [BE], Bulgaria [BG], Czech Republic [CZ], Denmark [DK], Germany [DE], Estonia [EE], Ireland [IE], Greece [EL], Spain [ES], France [FR], Croatia [HR], Italy [IT], Cyprus [CY], Latvia [LV], Lithuania [LT], Luxembourg [LU], Hungary [HU], Malta [MT], Netherlands [NL], Austria [AT], Poland [PL], Portugal [PT], Romania [RO], Slovenia [SI], Slovakia [SK], Finland [FI], Sweden [SE] and United Kingdom (Northern Ireland) [UK (NI)], Switzerland [CH], Liechtenstein [LI], Iceland [IS], Norway [NO].

Norway: Use of this radio equipment is not allowed in the geographical area within a radius of 20 km from the centre of Ny-Alesund, Svalbard.

Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SHG10 is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:
<https://jp.sharp/k-tai/>

Manufacturer's Address:

SHARP CORPORATION,
1 Takumi-cho, Sakai-ku, Sakai-shi, Osaka 590-8522, Japan

• Description of accessories

Headset, Handsfree	To receive FM broadcasting, connect the headset cable to the ϕ 3.5 audio jack
--------------------	--

• Frequency range of supported bands in EU

GSM 900	Tx 880.2 to 914.8 MHz Rx 925.2 to 959.8 MHz
DCS 1800	Tx 1710.2 to 1784.8 MHz Rx 1805.2 to 1879.8 MHz
WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6 MHz Rx 2112.4 to 2167.6 MHz
WCDMA FDD VIII	Tx 882.4 to 912.6 MHz Rx 927.4 to 957.6 MHz
LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5 MHz Rx 2112.5 to 2167.5 MHz
LTE Band 3	Tx 1710.7 to 1784.3 MHz Rx 1805.7 to 1879.3 MHz
LTE Band 8	Tx 880.7 to 914.3 MHz Rx 925.7 to 959.3 MHz
LTE Band 38	Tx 2572.5 to 2617.5 MHz Rx 2572.5 to 2617.5 MHz
Bluetooth	Tx 2402 to 2480 MHz Rx 2402 to 2480 MHz
WLAN 2.4GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (BW:20 MHz) Tx/Rx 2422 to 2462 MHz (BW:40 MHz)
WLAN 5GHz	W52(U-NII 1): Tx/Rx 5180 to 5240 MHz (BW:20 MHz) Tx/Rx 5190 to 5230 MHz (BW:40 MHz) Tx/Rx 5210 MHz (BW:80 MHz) W53(U-NII 2A): Tx/Rx 5260 to 5320 MHz (BW:20 MHz) Tx/Rx 5270 to 5310 MHz (BW:40 MHz) Tx/Rx 5290 MHz (BW:80 MHz) W56(U-NII 2C): Tx/Rx 5500 to 5700 MHz (BW:20 MHz) Tx/Rx 5510 to 5670 MHz (BW:40 MHz) Tx/Rx 5530 to 5610 MHz (BW:80 MHz)
NFC	Tx/Rx 13.56 MHz
GNSS	GPS: Rx L1 (1575.42 MHz) GLONASS: Rx G1 (1598.0625 to 1605.375 MHz) Galileo: Rx E1 (1575.42 MHz) BeiDou: Rx B1 (1561.098 MHz)

• Maximum transmit power

GSM 900	+33 dBm (Power Class4)
DCS 1800	+30 dBm (Power Class1)
WCDMA FDD I	+24 dBm (Power Class3)
WCDMA FDD VIII	+24 dBm (Power Class3)
LTE Band 1	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 3	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 8	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 38	+23 dBm (Power Class3)
Bluetooth	+12.0 dBm (Power Class1)
WLAN 2.4GHz	+15.0 dBm
WLAN 5GHz	+12.0 dBm
NFC	0 dBm/μm at 10 m

■ Mobile Light

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.

Be especially careful not to shoot small children from a very close distance. Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

■ Battery - CAUTION

Use specified Charger only.

Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

The battery is embedded inside the product. Avoid removing the embedded battery since this may cause overheating or bursting.

Do not dispose of the product with ordinary refuse. Take the product to an au Shop, or follow the local disposal regulations.

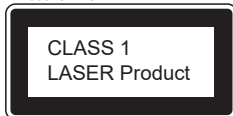
Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

■ Laser (proximity sensor)

Do not stare into proximity sensor.

May temporarily affect eyesight, leading to accidents.

EN60825-1:2014



■ Volume Level Caution



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

■ European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.34 W/kg^{※2} and when worn on the body is 0.91 W/kg^{※2}.

For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the device's highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

※2 The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.
- The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed via the About phone & the Regulatory labels under the Settings menu.

■ Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

■ FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

Highest SAR value:

Model	SHG10
FCC ID	APYHRO00319
At the Ear	0.64 W/kg
On the Body	0.40 W/kg

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at <https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid> under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table above).

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客さまの責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C、LLCの商標です。



- USB Type-C®はUSB Implementers Forumの登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、シャープ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。



- Wi-Fi®, Wi-Fi CERTIFIED®ロゴ、Wi-Fi Protected Access® (WPA)、Wi-Fi Direct®, Miracast®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。



- Wi-Fi CERTIFIED™、WPA2™、WPA3™、Wi-Fi Enhanced Open™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.
- +メッセージは、株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社の登録商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です。
- ㊤は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはMeta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。
- MessengerおよびMessengerロゴはMeta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。
- InstagramおよびInstagramロゴはMeta Platforms, Inc.の商標または登録商標です。
- TikTokおよびTikTokロゴは、ByteDance Ltd.(バイトダンス エルティエーディー)またはその関連会社の商標または登録商標です。
- Google™、Google ロゴ、Android™、Android ロゴ、Google Play™、Google Play ロゴ、Gmail™、Gmail ロゴ、Google カレンダー™、GBOARD™、Google マップ™、Google マップ ロゴ、Google Chrome™、Google Chrome ロゴ、Chromebook™、Google 音声検索™、YouTube™、YouTube ロゴ、YouTube Music ロゴ、Google ドライブ™、Google ドライブ ロゴ、Google™ 検索、Google 検索 ロゴ、Google Lens™、Google Lens ロゴ、Google フォト™、Google フォト ロゴ、Google アシスタント™、Google アシスタント ロゴ、Google TV™、Google TV ロゴ、Google Pay™、Google Pay ロゴ、Google One™、Google One ロゴ、Google ニュース™、Google ニュース ロゴ、Google Podcast™、Google Podcast ロゴ、Google Home™、Google Home ロゴ、Google Meet™、Google Meet ロゴ、Android Auto™およびFiles ロゴは、Google LLCの商標です。
- ラジコ/radikoおよびradikoロゴは株式会社radikoの登録商標です。
- Amazon、Amazon.co.jp、Prime Videoおよび関連するすべてのロゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- NETFLIXおよびNETFLIXロゴは、Netflix, Inc.の登録商標です。
- TELASAおよびTELASAロゴは、TELASA株式会社の商標または登録商標です。
- CosmoSialは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。



- Apple、Appleロゴ、Apple MusicおよびiPhoneは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。TM and © 2023 Apple Inc. All rights reserved.

- 「AQUOS/アクオス」「AQUOS」ロゴ「AQUOS Home」「AQUOSかんたんホーム」「AQUOSトリック」「My AQUOS」「Bright Keep」「あとからキャプチャー」「インテリジェントフレーミング」「AIライブシャッター」「ロボクル/ROBOQUL」「エモバー/emopa」「エモバーメモ」「エモバーヘルスケア」「エモパーク/emopark」「バーチャルHDR」「エスジョイン/S-Shoin」「クリップナウ/Clip Now」「ロックフォトシャッフル」「長エネスイッチ」「リッチカラーテック/ロジモバイル/Rich color technology Mobile」「リラックスビュー/Relax View」「はつきりビュー」「アウトドアビュー」「からだメイト」「楽ともリンク」「Payトリガー」「インテリジェントチャージ」はシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ R、新ゴ Mを搭載しています。「新ゴ」は、株式会社モリサワの登録商標です。
- Qualcomm® aptX™ is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries. Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.
- LDAC™およびLDACロゴはソニー株式会社の商標です。



- 本製品の音声合成ソフトウェアにはHOYA株式会社のVoiceTextを使用しています。VoiceTextは、Voiceware社の登録商標です。
- 本製品で使用しているクラウド音声認識技術は、フェアリーデバイス株式会社mimi® powered by NICTを使用しています。
- mimi®はフェアリーデバイス株式会社の登録商標です。



- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面→「アプリ一覧画面」を表示→[設定]→[デバイス情報]→[法的情報]→[サードパーティ ライセンス]をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License (MPL)に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>

■ License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2009 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ Windowsの表記について

本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。

- Windows 10は、Microsoft® Windows® 10 (Home, Pro, Enterprise, Education)の略です。
- Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1, Microsoft® Windows® 8.1 Pro, Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
- Windows 11は、Microsoft® Windows® 11 (Home, Pro, Enterprise, Education)の略です。

■ その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

索引

数字／アルファベット

2本指でもスクロールオート	72
5G／4G／GPSアンテナ	18
5G／4G／UMTS／GSMアンテナ	18
5G／4G／UMTSアンテナ	18
5G／4Gアンテナ	18
24時間表示	75
AIoT機器との連携	57
AIライブシャッター	50
Android バージョン	75
AQUOS Home	
AQUOS Home	25
AQUOSトリック設定	71
AQUOS Homeのカスタマイズ	
壁紙とスタイル設定	71
ディスプレイ設定	71
AQUOSトリック	71
au国際電話サービス	34
au世界サービス	84
auメール	38
Bluetooth	65
Bluetoothコーデック設定	69
Bluetooth テザリング	66
Bright Keep	72
Chrome	44
Chromebook	69
Clip Now	72
COCORO ID	57
Digital Wellbeing と保護者による使用制限	74
FCC Notice	92
Files	61
FMチューナー	52
Gboard	
Gboard設定	75
Gboard利用	30
Gboard を共有	75
Gmail	41
Google Play システム アップデート	73
Google Play プロテクト	73
Google アプリの表示	26
Google検索の表示	26
Google コンタクトの同期設定	36
IMEI	75
microSDメモ리카ード	60
MIDI	60
My au	53
My UQ mobile	53
NFC／おサイフケータイ	52
Payトリガー	72
Payトリガーフォルダ	72
PC 版サイト	44
PINコード	15
Play ストア	54
QRコードで追加	40
QRコード・バーコード認識	49
radiko+FM	52
SIM	68
SIMカード	19
SIMカード／microSDメモ리카ードトレイ	18
SIM カードロック	73
SIM ステータス	75
SIM の削除の確認	73
SIMロック解除	90
Smart Lock	73
S-Shoin	71
UQ mobile メール	39
USB	69
USB テザリング	
USB テザリング機能	66
パソコン接続	60
USBホスト機能	61
VPN	68
Wi-Fi®	64
Wi-Fi®／Bluetooth®アンテナ	18
Wi-Fi Direct	64
Wi-Fi MAC アドレス	75
Wi-Fiテザリング	66
Wi-Fiテザリングの詳細設定	73
Wi-Fiテザリングのパスワード	66
Wi-Fiテザリングを自動的に OFF にする	66
Wi-Fi とモバイルネットワーク	64
Wi-Fi を自動的に ON にする	64

あ

アイコン	27
アウトドアビュー	71
アカウント	36
アカウントの同期	74
アカウントを削除	74
アカウントを追加	74
明るさセンサー	18
明るさの自動調節	70
明るさのレベル	70
空き容量確認	35
新しいグループメッセージ	40
新しいシークレット タブ	44
新しいタブ	44
新しいデバイスとペア設定	
Bluetooth®機器接続	65
接続済みデバイスの設定	69
新しいメッセージ	40
新しい連絡先	40
新しい連絡先のデフォルト アカウント	36
あとからキャプチャー で編集	51
あなたについて	57
アプリ	
アプリ設定	69
サイレント モード設定	28
アプリアイコン上の通知ドット	69
アプリ固定	73
アプリ使用履歴	28
アプリの一覧にアイコンを表示	74
アプリの言語	74
アプリの設定	69
アプリへの位置情報の利用許可	74
アラーム	55
アラームとその他の割り込み	28
アラームの音量	
アラーム	55
着信音とバイブレーション設定	70
暗号化と認証情報	73
暗証番号	15
あんしんフィルター for au	53
イーサネット テザリング	66
イコライザー	70
位置検索サポート	90
位置情報	74
位置情報サービス	74
位置情報付加	50
イヤホンマイク端子	18
色と動き	73
インカメラ	18
印刷	69
インストール時に通知	58
インテリジェントチャージ	
AQUOSトリック設定	72
ゲーミングメニュー設定	58
バッテリー設定	70
インテリジェントフレーミング	49
ウィジェット	26
上に分割	28
英語ガイドンス	80
エッジコントロール	58
絵文字、ステッカー、GIF	75
エモバー	57
エモバー設定	57
エモバー選択	57
エモバー使い方ガイド	57
エモバーの記憶	57
エモバーの話題	57
エモバーへの話しかけ方	57
エモバーヘルスケア	57
エモバーメモ	57
遠隔操作サービス	80
遠隔操作サポート	90
応答	34
応答時間設定	35
応答メッセージ確認	35
オートHDR	49
お気に入り	33
お困りのときは	75
おサイフケータイ®	52
お知らせパネル	27
おすすめ機能の紹介	57
おススメ設定をする	
auメール	38
UQ mobileメール	39
おすすめのアプリを表示	26

オススメの設定はこちら	
auメール	38
UQ mobileメール	39
音とバイブレーション	35
おやすみ時間	56
おやすみ時間モード	74
お留守番サービスEX	79
お留守番サービス総合案内	79
音声入力	
Gboard設定	75
使用言語や文字入力設定	74
音声による説明	73
音声の調整	73
音声の録音	50
音量DOWNキー	18
音量UPキー	18

か

ガイド線	49
外部接続端子	18
会話	69
顔データの削除	25
顔データの登録	25
顔認証	25
風切り音低減	50
拡大	73
拡張通知	69
画質とデータ量	50
画像を選択	71
壁紙とスタイル	
壁紙設定	26
壁紙とスタイル設定	71
壁紙の色	71
カメラ	47
カメラスタンバイ	50
カメラモード保持	50
画面キーボード	74
画面消灯(スリープ)	71
画面消灯中の充電表示	71
画面のタップも記録する	54
画面の明るさを最小にする	70
画面の色温度	71
画面の自動回転	71
画面の表示(時計や通知など)を見てから	25
画面ロック	73
画面ロック中はロック	52
画面ロックの音	70
画像を選択	72
からだメイト	56
カレンダー	55
簡易留守録	
簡易留守録	35
簡易留守録/通話音声メモ再生	35
かんたんモード	72
管理	32
キーパッド	32
規制ラベル	75
起動アプリ	72
起動時にPayトリガーフォルダも開く	72
機内モード	69
基本設定	71
基本動作について	57
基本の色	71
機密性の高い通知	69
キャスト	69
強制的に電源を切る	21
共有	36
共有	44
拒否する	34
拒否リストに登録する	
auメール	38
UQ mobileメール	39
切り替え	32
緊急速報メール	69
近接センサー	18
クイック設定の持続時間	28
クイック操作	71
クイック返信	
着信を拒否してメッセージ(SMS)送信	34
通話設定	35
ガイド入力	75
クリップボード	75
グローブモード	71
携帯/PHS以外からのメールを拒否する	
auメール	38
UQ mobileメール	39

ゲーミングメニュー	58
ゲーム画質	58
ゲーム起動中の通知をブロック	58
ゲーム起動中の電話着信をブロック	58
言語	
Gboard設定	75
使用言語や文字入力設定	74
健康度(health level)	70
言語 / 地域で一般的な形式を使用する	75
言語と入力	74
検索設定	58
広角カメラ	18
高校生	53
高校生プラス	53
公式アカウント	40
更新	55
構内IP電話設定	64
声でアクション	57
コンテンツ表示設定	71

さ

再起動	21
最近使ったタブ	44
最近のアクセス	74
最近開いたアプリ	69
サイレントモード	
Digital Wellbeing と保護者による使用制限の設定	74
サイレントモード設定	28
着信音とバイブレーション設定	70
通知設定	69
マナーモード	28
削除	
アクセスポイント接続設定削除	64
連絡帳詳細画面のメニュー	36
サブマイク	18
さらに輝度を下げる	73
三者通話サービス	80
ジェスチャー	74
時刻	75
システム	74
システムアップデート	88
システム操作	73
システムナビゲーション	75
自動OFF	73
自動字幕起こし	
着信音とバイブレーション設定	70
ユーザー補助設定	73
自動接続	64
自動調整バッテリー	70
自分の情報	36
字幕の設定	73
指紋	24
指紋センサー	18
指紋センサーとPayトリガー	71
指紋を追加	25
写真	49
写真サイズ	49
写真や動画	40
写真や動画の転送(PTP)	60
シャッフル間隔の設定	72
周辺のスポット	35
充電	60
充電時にOFFにする	70
充電時の音とバイブレーション	70
充電中のみON	73
従来の携帯電話	22
受信リストに登録/アドレス帳受信設定をする	38
受信リストに登録する	39
出荷時リセット	75
受話口	18
省エネファインダー	50
小学生	53
詳細設定	75
使用されていないアプリ	69
証明書をインストール	64
白とび・黒つぶれ表示	49
人物	28
信頼エージェント	73
スイッチアクセス	73
スクリーンショット	54
スクリーンセーバー	71
スクリーンレコード開始	54
スクロールオート	72
スケジュール	
カレンダー画面のメニュー	55
サイレントモード設定	28

スケジュールの設定	70
ステータスバーにサイレント通知を表示しない	69
ステータスパネル	27
ストップウォッチ	56
ストレージ	61
すばやく起動	50
スピーカー	
各部の名称と機能	18
通話中画面の操作	32
全ての設定を一括解除する	
auメール	38
UQ mobileメール	39
スペルチェック	74
スマートフォン	22
スライド	24
スロービデオ	49
スワイプ	24
スワイプしてアシスタントを起動	24
セーフモード	21
セキュリティ	
Wi-Fi®テザリング機能の設定	66
セキュリティ設定	73
セキュリティ アップデート	73
セキュリティの詳細設定	73
接続	64
接続済みのデバイス	69
接続の設定	69
設定	
Chrome画面のメニュー	44
Gboard設定	75
カレンダー画面のメニュー	55
設定メニュー表示	68
通話設定	35
通話履歴一覧画面のメニュー	33
+メッセージ設定	40
連絡帳設定	36
設定項目を検索	75
設定リセット	50
セルフタイマー表示	50
セルフチェック	75
選択した画像を確認	72
全データを消去(出荷時リセット)	75
前方注意	74
送話口	18
その他	40
その他の設定	35
その他の詳細設定をする	
auメール	38
UQ mobileメール	39

た

ダークモード	
壁紙とスタイル設定	71
ディスプレイ設定	71
対象アプリ設定	72
タイマー	56
タイミングの調節	73
タイムゾーン	75
タイムゾーンの設定に位置情報を使用	75
タイムゾーンを自動的に設定	75
タイムラプス	49
ダイヤル アシスト	35
ダイヤルパッドの操作音	70
ダウンロード	44
ダッシュボード	74
タッチ操作音	70
タッチパネル	18
タップ	24
ダブルタップ	24
単語リスト	
Gboard設定	75
使用言語や文字入力設定	74
着信お知らせサービス	78
着信音	70
着信音と通知の音量	70
着信音とバイブレーション	70
着信音ミュート用のショートカット	70
着信音を設定	36
着信拒否	34
着信転送	35
着信転送サービス	78
注意事項	57
中学生	53
長エネスイッチ	70
通知	
通知設定	69

+メッセージ設定	40
通知ドット	26
通知ドットに件数表示	26
通知のスヌーズを許可	69
通知の表示オプション	28
通知履歴	69
通知を管理	74
通話アカウント	35
通話 SIM を設定	36
通話音声メモ	35
通話と SMS	68
通話の音量	70
通話明細分計サービス	81
通話履歴	33
通話を追加	32
使い方ガイド	
Clip Now設定	72
ゲーミングメニュー設定	58
使いこなしガイド	75
ディスプレイ	
各部の名称と機能	18
ディスプレイ設定	70
データセーバー	68
データ引継	22
データリセット	57
テーマ	75
テーマアイコン	71
テーマカラー・背景	40
テキストの修正	75
テキスト読み上げの設定	
使用言語や文字入力設定	74
ユーザー補助設定	73
テザリング	
テザリング	66
ネットワークとインターネット設定	68
テザリングオート	73
テザリングがONになる時	73
デバイス管理アプリ	73
デバイス情報	75
デバイスとアプリの通知	69
デバイス名	75
デバイスを探す	73
デフォルトのアプリ	69
デフォルトのアラーム音	70
デフォルトの通知音	70
手ブレ補正	50
電源キー	18
電源メニュー	
お困りのときは	75
システム設定	74
電源を入れる	21
電源を切る	21
伝言お知らせ	79
電卓	57
電池の状態	75
電話	
通話中画面の操作	32
電話をかける	32
電話番号	75
電話番号をブロック	36
動画サイズ	50
動画を AVC に変換	60
統合	32
動作ブロック	58
登録ゲーム設定	58
特別なアプリアクセス	69
時計	55
ドラッグ	24

な

ナイト	49
日時を自動的に設定	75
日本語ガイド	80
ネットワーク設定	64
ネットワークとインターネット	68
ネットワーク名	66
ネットワークを追加	64

は

バーチャルHDR	71
ハードウェアに関するフィードバック	74
バイブ	28
バイブレーションとハプティクス	
着信音とバイブレーション設定	70
ユーザー補助設定	73

バイブレーション モードのときにアイコンを常に表示	70
場所の設定	73
はっきりビュー	71
バックアップ	74
発信者番号	78
発信者番号の通知	35
発信番号表示サービス	78
発信情報 / 迷惑電話	35
バッテリー	70
バッテリー残量	70
バッテリー使用量	70
パフォーマンス	58
バブル	69
番号通知リクエストサービス	79
番号を追加	35
左の端	24
日付	75
日付と時刻	75
ビデオ	49
ヒストグラム表示	49
評価のお願い	75
表示オプション	35
表示サイズとテキスト	
ディスプレイ設定	71
ユーザー補助設定	73
標準カメラ	18
ピンチ	24
ファイル転送 / Android Auto	60
フォーカス再生	51
フォーカス モード	74
フォーマット	61
フォト	50
複数の電話番号のブロックを解除	36
不在通知	80
ふせるだけでサイレント モード	35
ブックマーク	44
物理キーボード	74
不明な発信者	35
プライバシー	40
プライベート DNS	68
+メッセージ	40
フラッシュ表示	50
フリック	24
フル転送	
お留守番サービスEX	79
着信転送サービス	78
フレームレート	50
ブロック設定	68
ブロック中の電話番号	35
ブロックリスト	41
ページ内検索	44
別のアカウントに移動	36
ヘルプ	
+メッセージ利用方法確認	40
迷惑メールフィルター設定	38, 39
ヘルプとフィードバック	
Chrome画面のメニュー	44
カレンダー画面のメニュー	55
通話履歴一覧画面のメニュー	33
連絡帳詳細画面のメニュー	36
変更を元に戻す	36
ボイスメール	79
ポインタの速度	74
法的情報	75
ポートレート	49
ホーム画面グリッド	26
ホーム画面でいつでもPayトリガー	72
ホーム画面にアプリのアイコンを追加	26
ホーム画面に追加	
Chrome画面のメニュー	44
連絡帳詳細画面のメニュー	36
ホーム画面の回転を許可	26
ホームにエモバーを貼り付け	57
ホームの設定	26
ホームフォトシャッフル	72
保存先設定	50
保留	32
翻訳	44

ま

マイク	18
マスクをしたままでも顔認証	25
マニュアル写真	49
マニュアルビデオ	49
マルチフォーカス表示	49
右の端	24

ミュート	
通話中画面の操作	32
マナーモード	28
見るだけですぐ	25
無応答・話中転送	
お留守番サービスEX	79
着信転送サービス	78
迷惑電話撃退サービス	81
迷惑メールフィルターの設定 / 確認へ	
auメール	38
UQ mobileメール	39
メール (CS)	39
メッセージ	40
メディア	70
メディアの音量	70
メニューを表示	58
モード	36
文字フォント切替	
壁紙とスタイル設定	71
ディスプレイ設定	71
持つと画面点灯	21
モデル	75
モバイルライト	18

や

ユーザー情報	57
ユーザー補助	73
ユーザー補助機能のショートカット	73
ユーザー補助機能メニュー	73
優先ネットワークの種類	84
用語の説明	57
よくあるご質問	
お困りのときは	75
ゲーミングメニュー設定	58
よくある質問 (FAQ)	57
よみがな	36

ら

ライト	54
リセット オプション	74
リッチカラーテクノロジーモバイル	71
利用可能なパブリック ネットワークを通知する	64
利用時間	69
リラクセスビュー	71
履歴	
ブックマーク / 履歴を利用	44
履歴利用電話	33
留守伝言再生	80
留守番電話	35
レシーバー	18
連写撮影	49
レンズ部	
インカメラ	18
広角カメラ	18
標準カメラ	18
連絡先	34
連絡帳	36
ローミング	84
録音	54
ロック画面	70
ロック画面上の通知	69
ロック画面の通知を整理	69
ロック画面表示	71
ロックフォトシャッフル	72
ロック・ホームフォトシャッフル	
壁紙とスタイル設定	71
ロック・ホームフォトシャッフル設定	72
ロボクル設定	72
ロングタッチ	24

わ

割込通話	
割込通話開始	81
割込通話停止	81
割込通話サービス	81

【お客さま各位】

このたびは、AQUOS sense7 SHG10をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
AQUOS sense7 SHG10 取扱説明書詳細版の記載内容に変更がございましたので、お知らせさせていただきます。

■ 第1.1版の変更内容 (2023年5月時)

- 「基本操作」 - 「基本操作」 - 「本製品の状態を知る」 - 「アイコンについて」 - 「主なステータスアイコン」(27ページ)

変更前) 記載なし

変更後)

アイコン	概要
	音声サービス利用不可能

- 「端末設定」 - 「端末設定」 - 「ネットワークとインターネットに関する設定をする」 - 「ネットワークとインターネットの設定をする」の
手順②(68ページ)

変更前) 記載なし

変更後)

SIM	5G SAを使用 ^{※5}
	5G SAを使用するかどうかを設定します。

※5 表示される内容は、利用するSIMの種類などによって、異なる場合があります。
また、5G SAサービスについて、詳しくはauホームページをご参照ください。
<https://www.au.com/mobile/service/5gsa/>

- 「付録・索引」 - 「付録」 - 「知的財産権について」(93ページ)

変更前) 記載なし

変更後)



auサポート

アプリ・Web サイト

■ My auアプリ

ご利用料金、ポイント、ご契約内容などの確認や、各種お手続きができます。

※povoをご利用のお客さまは、povo2.0 アプリ /povo1.0 アプリでのご確認になります。



ダウンロードは
コチラ



■ auサポート (web)

困ったときに役に立つ各種サポート情報をご案内しています。

URL <http://kddi-l.jp/GF9>



メッセージ

ご相談はいつでもどこでもチャットでかんたん！

AIが24時間素早く回答、アドバイザーが詳しくお応えします。

URL <http://kddi-l.jp/Bz6>



電話

お問い合わせ内容ごとの直通番号を au ホームページでご案内しています。

URL <http://kddi-l.jp/NuR>



UQ mobileサポート

アプリ・Web サイト

■ My UQ mobile (アプリ)

データ残量、ご請求額、各種サービスの加入状況を確認できます。通信モードの切り替えもワンタッチです。



ダウンロードは
コチラ



■ UQ mobileサポート (web)

困ったときに役に立つ各種サポート情報をご案内しています。

URL <http://kddi-l.jp/jQX>



チャット

ご相談はいつでもどこでもチャットでかんたん！

AIが24時間素早く回答、アドバイザーが詳しくお応えします。

URL <http://kddi-l.jp/j9z>



電話

お客さまに最適なお問い合わせ先を UQ mobile ホームページでご案内しています。

URL <http://kddi-l.jp/aIt>




故障紛失サポート / 故障紛失サポート with Cloud 会員向けサービス

故障紛失サポートセンター (年中無休 / 通話料無料)

au携帯電話 / UQ mobile / 一般電話から

故障相談・交換用電話機お届けサービス受付
(受付 9:00~20:00)

 0120-925-919



やめましょう、
歩きスマホ。



有害サイトから
子供を守る！




キケン！
水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



モバイル・リサイクルネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず、マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。



あぶない！
電池への衝撃

衝撃や過度な外圧を加えると、電池の破損・変形等により発煙・発火等の原因となり大変危険です。